

ISSN 1344-7920

名古屋大学医学部保健学科

教 育 ・ 研 究 年 報

第 7 卷



*Annual Report
of
Nagoya University School of Health Sciences*

2004

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第7巻の刊行によせて

名古屋大学医学部保健学科長

古池保雄

平成16年度は名古屋大学医学部保健学科にとって、大学院博士課程後期課程のスタートという念願の年でした。この年、8月には5名の先生をお招きし、外部評価委員会を開催しました(12月に「外部評価報告書—名古屋大学医学部保健学科の現状と課題」作成配布)。また、10月には多数の皆様の御臨席を賜り、「名古屋大学大学院医学系研究科博士課程後期課程記念式典・講演会及び記念交歓会」を開催することができました。改めて関係各位の御指導、御尽力に深く感謝申し上げます。

外部評価委員会開催は平成14年5月、自己点検・外部評価委員会保健学科部会の活動開始から足掛け3年、委員会の精力的な準備の総括であり、また、記念式典も昨年度主任会による多忙な準備の結果でした。

平成16年度は名古屋大学医学部保健学科の「外枠」が完成した年であり、このことを広く知って頂いた年でもありました。これからは名古屋大学医学部保健学科にとって、その「内容」を創っていくという最も大切で、永く続く努力のスタートを宣言した年でもありました。

また、平成16年度は国立大学が「国立大学法人」へと大きな変革を迎えた年でした。制度上の変革がどうあれ、大学の使命・役割の基本は何ら変化するものではありません。

名古屋大学医学部保健学科は1000名をこえる学生とともに保健学の教育・研究を日々の活動とし、日本の一あるいは世界を目指した一医学・医療の発展に寄与すべく努力を重ねています。この努力が一層促進され、発展していくよう計画されるのが制度改革の目指すべき方向であろうと思います。

「国立大学法人へは機関補助を可能なかぎり縮減し、受益者負担を徹底する必要がある」とする財政方針に基づく「国立大学法人」化が日本の大学制度に何をもたらすかは将来の評価に委ねたいと思います。しかし、「国立大学法人」がスタートした今日、名古屋大学医学部保健学科は構成員が目指す方向に改革を進めなくてはなりません。このためには社会の負託に応えられるよう、厳しく自己点検・評価を行ない大学の持つ責任を果たしていく必要があります。年報がその客観的資料として利用されれば、年報作成の努力もその一部は達成される事と思います。

目 次

1. 各専攻の教育・研究活動	1
2. 公開講座	21
3. 業績	27
看護学専攻	29
放射線技術科学専攻	51
検査技術科学専攻	73
理学療法学専攻	99
作業療法学専攻	113

1. 各専攻の教育・研究活動
(平成15年度)

看護学専攻

わが国の看護職者の育成は、長期にわたり、専門学校において行われてきた。本格的な大学・大学院等の教育機関における人材育成は、平成4年の看護師等人材確保の促進に関する法律に基づく施策の実効に見る段階になってからといっても過言ではない。現在、看護学の学士課程は増設され、入学定員は、看護師養成の1割に及んでいる。当大学においては平成10年度より4年制化が実現している。

看護学専攻は今年度、①平成16年度看護学博士課程設置に向けた研究活動の充実、②教育内容の充実をはかるためのカリキュラム検討、の2点を中心課題として活動をしている。

1. 運営

1) 教員の構成

本専攻は基礎看護学講座10名、臨床看護学講座9名、発達看護学講座9名、地域・在宅看護学講座8名の36名により構成されている。看護学専攻会議（通常、教授と助教授による）は月1～2回開催している。各講座の代表者（講座長）会議は月1回開催し、各講座では助手を含む全員で毎月講座会議がもたれている。また、主任は各種委員から毎月進行状況などを聞き、必要に応じて直接ワーキングに参加して専攻会議にかける等で、問題の遅延や情報の漏れを防ぐシステムをとり他専攻や名大病院との運営調整を行っている。

効果的な実習を行うために、名大病院看護部との専門委員会を年2回、また、地域看護学領域、在宅看護学領域、助産学領域においても各実習施設との委員会を適宜開催、運営を行っている。

2) 教官の転任、辞職等

基礎看護学講座：安田道子教授の辞職後後任として遠藤淑美助教授が就任、森島恒雄教授が岡山大学医学部へ10月1日付転任、大宮絵里子助手が辞職

臨床看護学講座：長谷川純子助手が就任

発達看護学講座：玉里八重子教授が滋賀医科大学へ10月1日付転任

2. 教育活動

1) 学生について

平成15年3月、保健学科第2期生の卒業式が行われ看護学専攻卒業生87名が社会人として巣立っていき、同年4月、希望に胸を膨らませた新入生78名と編入生10名が入学している。更に、医学系研究科修士課程18名（基礎看護学分野7名、臨床看護学分野5名、発達看護学分野6名）が入学し、平成15年3月には16名の修了生を送り出した。同時に平成16年度博士課程設置に向けて準備し、看護学専攻6名定員として認可を受けるに至っている。

2) ガイダンスについて

4月7日 編入3年生、2年生：カリキュラム、実習、学生生活等について

3年生：特論、実習について

4年生：研究法（卒論）、進路・就職関係、国家試験対策等について

4月19日（土）、20日（日） 新入生研修合宿：愛知県青年の家（岡崎市）にて開催、上級生（20名）、教官（36名）出席。講座及び担当教官の紹介、レクレーションを通して新入生間、上級生、教官との交流を図っている。

3) 国家試験状況について

国家試験合格については保健師97.7%、助産師71.4%、看護師98.6%

4) 修士課程について

修士課程完成年次を迎え、3月16日16名の修士論文発表会を行った。以下発表論文の題目と学生名及び主たる指導教授及び助教授名の紹介をする。

《基礎看護学分野発表》3題

「療養高齢者のおむつ着用が自尊感情に及ぼす影響と要因の分析」

世古美恵子（松村悠子教授）

「減量教室による中年期肥満女性のライフサイクルの変容と減量効果について」

野坂久美子（河津芳子教授）

「呼吸器・循環器のフィジカル・アセスメントに焦点をおいた教育プログラムの効果とその効果に影響する要因」

三苫里香（山内豊明教授）

《臨床看護学分野発表》5題

「終末期がん患者と家族への訪問看護師の意思決定支援プロセス」

繁沢弘子（安藤詳子助教授）

「アルツハイマー型痴呆高齢者の尿失禁に対する介入研究」

藤井優子（前川厚子教授）

「糖尿病性下腿潰瘍患者の創傷状況と感情負担度に関する研究」

吉川由利子（前川厚子教授）

「精神疾患患者を抱える家族の経験と援助ニーズ」

近藤かおり（水溪雅子教授）

「快場面のイメージによる生理的・主観的反応の効果」

高橋千恵（片岡秋子助教授）

《発達看護学分野発表》8題

「NICU入院児をもつ母親の産褥早期の疲労感の変化とその影響要因を考える—正常新生児の母親との比較—」

赤川里美（石黒彩子教授）

「NICU退院後の児と母親への継続ケアに関する研究—NICUナースの継続看護の可能性—」

田中美樹（浅野みどり助教授）

「日本語版 Asthma Compliance Instrument（ACT）の開発

山田知子（石黒彩子教授）

「妊娠期の入院が夫婦関係の満足度に及ぼす影響」

安藤末香（森田せつ子教授）

「保健師の母性観・性差観に関する検討」

中村友美（森田せつ子教授）

「地域高齢者における骨折・転倒経験と社会参加との関連」

郷内直子（梶田悦子教授）

「一人暮らし高齢者のQOLと社会支援について」

高野美代子（榊原久孝教授、梶田悦子教授）

「男性労働者における肥満と食行動および職場ストレスとの関連について」

西谷直子（榊原久孝教授、梶田悦子教授）

5) カリキュラム検討について

平成14年3月文部科学省からの看護学の在り方に関する検討会報告「大学における看護実践能力の育成の充実に向けて」を参考にカリキュラム検討を行っている。

コア・カリキュラム委員会と基盤委員会の2つの委員会を中心に、毎週委員会活動が活発に行われている。

- (1) コア・カリキュラム委員会（河津教授、浅野助教授、安藤助教授、吉田助教授）における活動として、看護ケア基本技術13項目と学習を支える知識（各教科目）との関連性の検討及び卒業時技術達成度の調査を行っている。
- (2) 基盤委員会（渡邊教授、松村教授、前川教授、神里助教授、濱松助教授、渡邊助手、西川助手、井口助手）における活動として、実習理念・目的・目標、実習における形成評価を行っている。
- (3) FD研修として、教官各々の教育能力の向上をはかるために、大阪府立看護大学カリキュラム検討委員長上原ます子教授を講師として迎え、研修会を行っている。

6) 博士課程設置に向けて

修士課程から博士課程へと一貫した看護学の追求、看護学の学問的自立をはかるべく看護学博士課程設置に向け、専攻内ワーキンググループ(石黒教授を委員長に、梶田教授、前川教授、森田専攻主任)を中心に準備を行ってきた。途中、紆余曲折があったが、文部科学省、本部、学科内からの強い支援もあり、平成16年4月より学生受け入れの許可を受けることができた。

博士課程設置の評価として、11月28日において、「今後における中・長期計画アクションプラン」を作成し専攻内における共有化をはかった。そのプランとしては、①看護学専攻における重点課題(COE等)の明確化、②看護学研究課題の共有化・明確化・独自性の確保、研究プロジェクトマップの作成、③他専攻、他分野との合同研究を視野に入れた新たな研究プロジェクトの立ち上げ等である。

3. 研究活動

各講座において現在取り組んでいる研究テーマを紹介する。

《基礎看護学》

- 後藤節子 教授：絨毛性疾患診断と治療法の確立と発展途上国への技術移転、周産期女性のうつ状態に対する精神神経内分泌学的アプローチ、月経前後の不定愁訴に対する精神神経内分泌学的アプローチ
- 山内豊明 教授：フィジカルアセスメントに関する総合的研究、「看護必要度」に関する開発・応用研究、EBP/EBNについての適用・普及活動に関する探索的研究
- 河津芳子 教授：教育効果の定着性に関する研究—ヒューマニステイック・アプローチを中心に—
- 渡邊順子 助教授：ベッドレストによる身体侵襲を緩和するポジショニング看護介入の開発
- 神里みどり 助教授：がん患者の症状アセスメントとマネージメントに関する研究、終末期がん患者のスピリチュアルペイントとその癒し過程について、IBD患者の保健・医療・福祉ニーズについて
- 遠藤淑美 助教授：統合失調症を有する人の看護援助による自我発達の支援に関する研究、統合失調症を有する人の終末期に関する研究

《臨床看護学》

- 松村悠子 教授：意識障害患者の食行動への看護—味覚刺激による脳波反応の研究—
- 渡邊憲子 教授：学生の臨地実習における倫理的判断について、臨床看護における倫理的判断に関する研究
- 水溪雅子 教授：臨床看護師の患者に対する不快感情の経験、家族面接の事例検討
- 安藤詳子 助教授：緩和ケア病棟・緩和チーム・在宅ホスピスに関連する研究、がんの集学的治療及び高度先端医療における看護に関連する研究
- 片岡秋子 助教授：足部マッサージ・腹式呼吸の看護介入が患者の心身に及ぼす効果

《発達看護学》

- 石黒彩子 教授：喘息学童のQOL評価とQOL低下要因の検討
- 森田せつ子 教授：少子化時代における育児期間にある二世世代間関係に関する研究、親移行期における「ネットワークする家族」支援システムの検討
- 浅野みどり 助教授：発達障害・慢性疾患の子どもをもつ家族のQOLに関する研究
- 濱松加寸子 助教授：市民主導型の地域づくりにむけての総合的な調査・研究—地域医療・看護、地域福祉を含むまちづくりの構築—、医療技術の進歩とヒューマンバースの有機的連携—利用者からみた「自然出産」と助産所出産の変容から—

《地域・在宅看護学》

- 梶田悦子 教授：地域高齢者の大腿骨頸部骨折予防のための地域看護モデルの構築、エビデンスに基づく地域保健における骨折予防ガイドラインの作成と評価
- 榊原久孝 教授：生活習慣病の予防に関する研究、産業労働者の肥満と食行動・産業ストレスとの関連についての研究
- 前川厚子 教授：ストーマ保有者を対象とした研究、炎症性腸疾患、ストーマと骨盤内パOUCH保有者のQOL研究

平井眞理 教授：循環器疾患を中心とした高度先進医療における在宅医療支援システムに関する研究、遺伝子環境交互作用に関する無料遺伝子多型検査付有料簡易人間ドック参加者を対象としたコホート研究
吉田久美子 助教授：子どもの健康づくりにおける地域・学校保健連携支援モデル事業「子どもの虐待予防ネットワークの構築」

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

- 1) 名大病院看護部との教育交流：実習委員会を中心に多数の教官が臨床指導者研修講師を担当し、有機的な連携を図っている。
- 2) 昨年にひきつづき国際的交流を活発にするために、山内教授はアメリカ及びカナダ等の大学との関連を強化し10大学との交渉を進めている。
- 3) 当看護学専攻で立ち上げた「日本看護医療学会」は順調に発展し、本年は第5回学術集會が行われている。

〈今後に向けての課題〉

- 1) 博士課程設置審査の結果を真摯に受けとめ、名古屋大学の一員としての責任と自覚を新たにする。
- 2) 看護学博士課程の開設という、新たな時代にふさわしい人材の育成と名古屋大学ブランドにおける新規性、独自性に富む研究成果を生み出していきたい。
- 3) そのためには、看護学専攻全体が志を一つとして教育研究体制の大幅な改善を図っていきたい。

(主任：森田せつ子)

放射線技術科学専攻

放射線技術科学専攻における教育と研究の目標は、医療現場で放射線を利用した新しい医療機器を操作することができる幅広い知識と専門知識ばかりでなく、豊かな人間性を合わせ持つ人材の育成、またこれらの人々を指導していく人材の育成である。いっぽう研究活動を通しては、将来、医療技術者、研究者、教育者として、日進月歩する医療分野の進歩を理解し、適応し、応用できるばかりでなく、開発にも参画することが出来る医療人の育成を教育・研究の目標としている。

1. 運営

基礎放射線技術学講座と医用放射線技術学講座の2つの講座より構成されている。教育・研究の目標の達成のためには、専攻の運営が必要であるが、教育上の問題、機器の維持のための費用の捻出、教育研究費の予算配分等の運営は、専攻を単位に毎月1回専攻会議・専攻教授会の合議に基づいて行われている。

2. 教育活動

学部教育：

平成15年度の新入学学生の新1年生は40名で、3年次編入者は5名であった。おおむね進級し、卒業する学生が大部分であるが、平成15年度入学学生の内1人(2.5%)、平成14年度入学学生の内1人(2.5%)は進路変更のために中途退学した。また平成12年度入学学生の内3人(6.7%)が4年生として卒業せずに留年した。診療放射線技師国家試験は、卒業生43人の内42人が受験し、そのうちの41人(97.6%)が合格した。診療機関に32人、私企業に3人、大学院に5人、残り3人は未就職であった。

大綱化に基づいた授業内容の改革の進行に伴い、授業の組み替えが行われているが、これらの教室内における授業の他に、非常勤講師を招いた特別講義、臨床現場の見学(名古屋大学医学部附属病院をはじめ、学生の出身地や、学生の希望就職病院など)、工場の見学(京都島津製作所三条工場および記念資料館)、原子力発電所の見学(中部電力浜岡原子力発電所)など、将来医療または生産現場で役に立つと思われる教育活動が行われている。

大学院教育：

大学院が創設され、修士課程の最終年度にあたる学生13名が、修士論文を提出し、修士を取得した。以下に学生名と、修士論文題目を記す。

青山 裕一	小型素子蛍光ガラス線量計システムの高エネルギー電子線に対する特性検討
秋田 経理	X線撮影時に於ける側方散乱線のシミュレーションとガラス線量計による評価
飯田 葉子	心エコー動画像のコンピュータ解析に関する研究
石橋 一都	マルチボクセルを用いた脳代謝物の定量化の試み
遠地 志太	胃粘膜ひだ集中を伴う病変部検出に関する研究
黒岡 将彦	密度尺度理論に基づいた高原子番号不均質領域補正計算法の Monte Carlo 法による検証
佐々木 浩二	高エネルギー放射線治療における主照射野外の散乱線量
島 正光	デジタル胸部画像における被曝線量低減の検討
土屋 裕一郎	医用動画像における動態解析と画質改善を目的とした画像処理および類似動画像検索に関する研究
中野 智	壁容積一定型心臓ファントムの作成と核医学分野への応用
川合 真子	医療分野における Web 技術の応用に関する研究
原 孝則	マルチスライス CT における諸特性の解析とその評価方法に関する研究
町田 佳士	デジタル検出器を用いた骨粗鬆症診断の研究

3. 研究活動

当専攻の教官は幅広い専門分野を研究領域としているため、個々の教官が独自の研究活動を行っている。一部にグ

ループによる研究活動、専攻以外との共同の研究活動も行っている。以下には各教官の研究領域を示す。

- 青山隆彦教授：医療放射線による被ばく線量計測システムの開発、医療放射線による被ばく線量の測定・調査
- 今井國治助手：医用画像観察下における医療従事者の視覚特性の解析とこれを応用した画像評価法の構築、高電圧下における誘電・絶縁材料の放電劣化・破壊現象に関する研究
- 伊藤茂樹助教授：CTの画像診断への応用、腹部、特に肝胆膵領域の画像診断、胸部、特に肺癌の画像診断、vascular interventional radiology
- 緒方良至助手：水素同位体分離に関する研究、環境放射線の測定—特に環境レベルのトリチウムの測定に関する研究、放射線取扱施設の安全管理に関する研究
- 小幡康範教授：原体照射法、生物学的線量評価法・治療領域線量測定法
- 金澤寛明助教授：味蕾の超微形態に関する研究、免疫組織化学
- 川浦稚代助手：生体への放射線が及ぼす影響に関する研究
- 小寺吉衛教授：医用画像の評価法の開発、検出器・表示系を含む医用画像の解析・評価、画質の向上と被曝線量の低減を目的としたデジタル画像処理、3次元画像表示システムの開発
- 小林嘉雄助教授：コンピュータ画像診断支援
- 小山修司助手：診断領域 X 線の計測法の研究、医学における知能情報学の応用、X 線 CT の患者・術者の被曝線量計測、診断領域 X 線のエネルギー計測、マンモグラフィにおける線量計測
- 島本佳寿広教授：乳腺・甲状腺の画像診断における特に超音波による悪性腫瘍の診断に関する研究、フィルムレス読影の診断能に与える因子を明らかにし診断能に悪影響を与えないモニタの基準・読影環境・端末の操作性等を確立する研究、画像診断をすすめる際の診断論理過程を明らかにするとともに診断医の判断の再現性と一致度を解析することによりその診断論理の妥当性を検証する研究
- 田伏勝義教授：放射線治療における線量測定、放射線治療の最適照射法・チェレンコフ光の測定への影響、モンテカルロシミュレーションによる線量計算
- 田宮正助教授：放射線被ばく線量測定法の検討、放射線による損害の認定に関する検討、医用放射性廃棄物の処理に関する検討
- 津坂昌利助教授：診断用 X 線スペクトル測定とその応用に関する研究、IT 活用による医療技術者教育システムの開発、高速画像ネットワークの技術開発と応用、X 線 CT の性能評価に関する研究、CT 画像を用いた診断支援システムの開発、暗号化通信技術の遠隔医療への応用
- 成田憲彦助手：骨密度測定に関する研究、放射線被ばく線量評価に関する研究
- 本間光彦助手：治療領域の放射線計測、CR の応用利用
- 前田尚利教授：医用画像観察下における医療従事者の視覚特性の解析とこれを応用した画像評価法の構築、核医学的手法を用いた心臓の収縮の解析、正常および異常な収縮運動をする心臓のファントムの作成
- 宮原洋教授： $4\pi\beta\text{-}\gamma$ 同時計測法による放射能測定・崩壊核データの精密測定、PET 関係物品からの放射線測定、マンモグラフィにおける X 線スペクトル測定

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

地域における活動：

- 1) 放射線障害防止法に基づく放射線業務従事者の新規教育、再教育に講師（エックス線作業主任者講習会講師）として専門知識を社会に還元し、さらには放射線取扱主任者試験受験および X 線作業主任者試験受験のための講義等を行った（田宮、宮原、緒方）。
- 2) 愛知・岐阜・三重の小中高校教諭を対象とした「21世紀の環境・エネルギー問題と教育セミナー」の企画・運営：中学生の放射線に対する理解を深めてもらうため、原子の成り立ちから、放射線の種類、放射線の物質との相互作用などにつきわかりやすく解説し、簡易式の放射線測定器を用いた実習を行い、自然に存在する放射線に対す

る理解を深めてもらった（小山）。

- 3) 日本 ME 学会主催の第二種 ME 技術実力検定試験の試験委員（津坂）および試験監督（金澤、小山、成田、緒方、本間）として運営に関わった。
- 4) 小中高校の教員を対象とする愛知・岐阜・三重地区環境・エネルギー問題セミナーの実行委員として、企画・進行・実験指導を担当し（緒方）、類似の小中高校の教員を対象とするエネルギー・環境研究会や高等学校でも講演・実験を指導した（宮原）。

国内外における活動：

- 1) 国立大学診療放射線技師教育施設協議会及び全国診療放射線技師教育施設協議会に参加し、カリキュラムの大綱化に伴う国家試験ガイドラインの案作成に協力してきた。個々の教官としては、診療放射線技師を対象に、X 線 CT による患者被曝の考え方、線量測定に使用される器具、測定の方法、測定値の処理などについて説明し、その具体的な方法について実技指導を行った（小山）。
- 2) 国際的には、日本原子力産業会議が主催した平成15年度近隣アジア安全調査事業の一環として放射線治療プロセスの品質保証／管理の海外調査及び普及に関してタイとフィリピンの調査を行った（田伏）。ダブリンで開催された国際放射能計測専門委員会に学識委員として参加し、放射能計測の高度化に寄与するとともに、国際放射能計測専門委員会の日本代表委員の一人として、放射能計量学の発展のために努力した（宮原）。

（主任：前田尚利）

検査技術科学専攻

本専攻は、高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を備えた臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追及する教育・研究者を育成することを目的としている。大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学分野は、環境病因解析学、病態化学解析学、病態解析学、生体生理解析学、形態情報解析学、分子病態解析学の6領域からなり、先端的な研究、学際的な病態解析、技術開発を進めるとともに、先端医学につながる病態解析科学研究を遂行できる能力の育成、指導的立場に立つのに必要な高度な専門知識・技術を有する人材を育成することを目的としている。平成15年4月医療技術学専攻病態解析学分野は、16名の第2期大学院生を迎えることができた。さらに、平成16年3月には第1回大学院医学系研究科博士課程（後期課程）の入学試験を実施し、9名の合格者を決定した。

1. 運営

本専攻は2つの大講座によって構成されているが、講座の壁をなくし、専攻が一丸となって運営している。

- (1) 基礎検査学講座：人体から得られる、あらゆる情報を分析・整理・総合して、健康状態や病的状態を把握するために、生体情報修得のためのハードウェアおよび情報処理のソフトウェア、生体情報取得のための管理・運営と精度管理の方法、人体に関する外的病因を環境分析によって認識する方法等、科学的根拠の提供に必要な基礎知識および技術について教育・研究を行う。
- (2) 病因・病態検査学講座：生体情報の基礎的理解に基づき、病原体および病因を病原体側と宿主反応側から検索する方法、形態変化としての情報を認識する方法、生理機能の変化を情報として記録・認識する方法、体液・分泌物・排泄物等の検体物中微量物質の変化を主として化学的・物理的に情報化する等、病的状態の把握や病因の解析に必要な知識および技術について教育・研究を行う。

専攻の運営は全教官が参加する専攻会議の決定に従って行われた。専攻会議は第1と第2水曜日の12時および第4水曜日の17時から開催された。

2. 教育活動

- 1) 4月に第6期の入学生40名（推薦入学生12名、前期日程入学生20名、後期日程入学生8名）を迎えた。
- 2) 4月の新入生ガイダンスには専攻主任、学生生活担当教官、学生教育担当教官と全員の学生が参加し、専攻の教育と学生生活のガイダンス、教官の紹介、指導教官の紹介、学生の自己紹介などが行われた。
- 3) 4月の第4期編入生（入学生6名）ガイダンスには専攻主任、学生生活担当教官、学生教育担当教官が教育と学生生活、教官紹介、研究室紹介、研究指導教官などについて説明した。
- 4) 4月には検査技術科学専攻の2年生が中心になって教官と共に新入生歓迎会を大幸会館にて開催した。
- 5) 8月に第3回大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学分野（修士課程）の入学試験を実施し、10名の合格者を決定した。
- 6) 9月に第5回の3年次編入試験を行い、6名の合格者を決定した（実際の入学は3名）。
- 7) 9月に第5期生の臨地実習を充実させることを目的に医学部附属病院検査部の教官および技師との合同会議を開催した。
- 8) 平成16年3月に第1回大学院医学系研究科博士課程（後期課程）の入学試験を実施し、9名の合格者を決定した。
- 9) 平成16年3月には本専攻の第3期生の卒業生として、編入生を含めて42名を社会に輩出した。なお、10名が大学院修士課程への進学を希望し、就職希望の32名は主に国公立大学病院、公私立病院等の検査部に就職し、就職率はほぼ100%であった。
- 10) 第3期生の第51回臨床検査技師国家試験（平成16年3月5日）の合格率を上げるために、全教官による教育指導と4回の模擬試験を実施した。3期生の第51回臨床検査技師国家試験合格率は100%であった。

3. 研究活動

本専攻では保健学科設立後、大学院修士課程設置に向けて各系独立型および融合型の研究体制を構築し、研究設備とスタッフの充実に重点を置き、大学院修士課程病態解析学分野への大学院生の受け入れ体制を整備してきた。平成15年4月4日に16名の大学院修士課程第2期生を迎え、研究活動がますます活発になり、国際学術雑誌への投稿論文数と国際学会への発表演題数が増加してきた。また、その成果の1つが9月19日に開催された第3期生による卒業研究発表でもある。以下に各講座における卒業研究発表内容を示す。

【免疫・微生物系（病因病態解析学）】

担当教官：長瀬文彦、伊藤秀郎、杜 軍、川村久美子

1. 院内感染起因菌の解析
2. *Bacillus cereus* 嘔吐毒素のミトコンドリアへの作用と各種培養条件における毒素産生性の検討
3. SDF-1 変異体を用いた SDF-1 α -ヘリックスの機能に関する研究
4. *E. coli* DNA による IL-12 と IL-10 産生のシグナル伝達分子 p38 とレドックス状態による調節
5. 1,4-naphthoquinone と 2,3-dimethoxy-1,4-naphthoquinone による細胞死誘導機構の比較

【病理系（形態情報解析学）】

担当教官：横井豊治、倉科正徳、橋本克訓

1. 浸潤性 micropapillary carcinoma と浸潤性乳管癌におけるリンパ節転移についての検討
2. 消化器癌の内視鏡レーザー顕微鏡診断に関する基礎的研究—胃癌の蛍光染色標本のレーザー共焦点顕微鏡による検討—
3. 尿細胞診における移行上皮細胞の変性解析

【生理系（生体生理解析学）】

担当教官：古池保雄、岩瀬三紀、野田明子

1. 実験小動物における収縮時間、拡張時間及び各種時相の心拍依存性と心時相解析の試み
2. 小動物用麻酔薬が心行動態に及ぼす影響～ α -chloralose 及び urethane 併用麻酔薬の作用～
3. 循環器領域の基礎的研究に汎用されている2種の麻酔法における β アドレナリン作動性交感神経刺激に対する循環動態応答の比較検討
4. 睡眠時の効果器における皮膚交感神経活動
5. 睡眠時無呼吸症候群患者における昼間睡眠ポリグラフィの臨床的有用性
6. 拡張機能評価としての組織ドブラ法の臨床的有用性
7. 健常成人と心疾患患者における組織ドブラ法ストレイン・ストレインレート
8. 健常成人における運動回復期足関節上腕血圧比較比低下機序の検討

【血液系（分子病態解析学）】

担当教官：村手 隆、小嶋哲人、高木 明

1. ホスホリパーゼ D サブタイプにおける発現調節機序の解析
2. オリゴペプチドを用いた抗ヒトスフィンゴシンキナーゼ 1 抗体の作製
3. RNAi の原理を用いた SPTLC 1 発現抑制 SHSY-5Y 細胞株の樹立
4. スフィンゴシンキナーゼ 1 遺伝子発現の改変による機能解析に向けて
5. 血液凝固第 XI 因子欠損症の遺伝子解析
6. アンチトロンビン欠損症の遺伝子解析
7. マウス Tissue Factor 濃度測定 ELISA 系の作製
8. リアルタイム PCR 法を用いた mRNA 定量の検討—発現調節の解析を目指して—

【分析系（病態化学解析学・環境病因解析学）】

担当教官：高木健三、長谷川高明、高木健次、柴田英治、北市清幸

1. 生理活性ペプチド、xenopsin および xenin、によるラット腹腔肥満細胞からのヒスタミン遊離機構に関する研究
2. 血漿中モルヒネの高感度測定系の確立に関する基礎的研究

3. 覚醒剤依存動物モデルを用いた覚醒剤の体内挙動変化に関する基礎的研究
4. マクロライド系抗生物質アジスロマイシンはP糖蛋白質および多剤耐性関連蛋白質 Mrp2によって排泄される
5. フェノフィブラートによる薬物トランスポーターの発現変動が及ぼす薬物の体内動態変化に関する基礎的検討
6. 透過型電子顕微鏡資料の固定法の検討
7. GC/MSによる有機リン系農薬の尿中代謝物の分析および文献的考察
8. 原子吸光計を用いた食品中の微量金属の分析
9. 燕麦由来の酵素を用いたポリアミン分析法と臨床応用—拡張型心筋症ハムスターにおけるポリアミンについて—

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

A) 国際交流

小嶋哲人教授は、平成15年4月に International Symposium on Biological Science of Heparan Sulfate Proteoglycans (Kyoto) に参加し招待講演を行うとともに、各国の研究者と交流し最新の学術情報収集を行った。また、平成15年5月に3rd Aso International Meeting (Aso) での講演依頼を受け「Functions of a Heparan Sulfate Proteoglycan, Ryudocan (Syndecan-4)」を講演するとともに各国の研究者と情報交換を行った。さらに、平成15年11月には3rd General Meeting of the International Proteolysis Society (Nagoya) での講演依頼を受け「Antithrombin Deficiency in Mice」を講演するとともに各国の研究者と情報交換を行った。

長谷川高明教授は、平成15年9月、「Effect of Bacterial Toxins, Endotoxin and Shiga-Like Toxin II on Drug Transport System」と題する学位論文で、外国人研究員である Zhao Ying Lan (中国四川大学国家漢方薬安全性評価センター研究員) の薬学博士学位 (金沢大学) を取得させた。

B) 大学間交流—国立大学検査技師教育施設協議会—

平成15年度は東京医科歯科大学医学部保健衛生学科検査技術科学専攻を会長校として、6月6日(金)に第40回国立大学臨床検査技師教育施設協議会が開催された (出席者: 長谷川高明教授、伊藤秀郎教授)。議題: 1) 臨床検査技師国家試験の合格発表の時期について、2) 臨床実習における感染予防と学生の予防接種対策について、3) 大学院保健学修士課程と医科学修士課程との関係について (棲み分け)、4) 平成15年10月にすべての医療技術短期大学部が保健学科になるので、会則等の改正を含めた「今後の協議会の運営方法」等について審議した。

C) 地域との連携

古池保雄教授は、第28回日本睡眠学会 (平成15年6月) の副会長として、日本睡眠学会“睡眠科学医療専門研修セミナー”を本学にて開催した。同教授は野田助手とともに平成11年から睡眠外来を継続し、本学の検査技術科学の教育研究の向上に努力している。さらに、高度医療技術を習得するための教育および研究の場として、また、東海地区の検査技師技術向上のため東海 PSG 研究会の設立 (平成15年7月) に貢献した。

高木健三教授は、愛知・岐阜在宅酸素療法研究会の会長として、東海喘息研究会および愛知成人喘息研究会の代表世話人として、呼吸器・アレルギー領域の東海地区における医師、医療従事者の卒後教育の一端を担った。また、日本呼吸器学会理事 (東海支部長)、日本アレルギー協会理事 (東海支部長) として、肺の日記念市民公開講座、アレルギー週間の責任者として、地域社会への啓発活動を積極的に推進した。さらに、同教授は愛知県と名古屋市の公害健康被害認定審査会委員として審査にあっている。

伊藤秀郎教授は、臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律第20条の5の規定に基づき、愛知県健康福祉部主管の登録衛生検査所精度管理事業検討会議の精度管理専門委員として、愛知県下の登録衛生検査所に立入調査・指導を行い、適正な医療を確保するうえで重要な、衛生検査所における検体検査の精度の向上に資する活動を行った。

村手隆教授は、愛知県特定疾患認定審査会議委員として申請書類の審査に関わった。

横井豊治教授は、専門である呼吸器疾患の病理診断学の知識と経験を生かし、日本病理学会の呼吸器コンサルタントとして、東海地区を中心とする多数の医療施設より、呼吸器疾患を中心に病理診断のコンサルテーションを受け入れている。平成15年度は約70例の症例を検討・報告し、各施設における呼吸器領域の診療・研究に貢献した。

小嶋哲人教授は、医師、検査技師を対象とする東海血栓症研究会、東海血栓症セミナー、ならびに凝固線溶セミナーの世話人として活発に東海地区の幅広い血液凝固学領域研究の交流と促進活動を行った。また、愛知県特定疾患研

究協議会において血液凝固異常症調査研究を行った。

高木健次助教授は、愛知県地区を中心とした医療従事者（理学療法士・作業療法士・看護師）を対象として「臨床で役立つ検査知識」と題して、平成15年8月および平成15年11月の日程で、生化学の基礎的知識および各疾患／病態の臨床的事項と絡ませた内容で教育講演をし、医療職に従事されている方々の卒後教育の一旦を担った。

近藤高明助教授は、犬山市健康問題推進委員会の委員として、健康増進法にもとづく犬山市保健計画の策定にあたり助言を行った。また、長野県阿南町での平成15年度健康な町づくり推進事業で、高齢の健康づくりに関する報告書づくりと岐阜県中津川市での平成15年高齢者閉じこもり予防事業での調査への助言と結果のまとめを行った。

(主任：高木健三)

理学療法学専攻

本専攻は、東海地区では唯一の修士課程を有する理学療法士の教育・研究機関である。平成14年度に大学院修士課程が保健学科に設置され、本専攻は作業療法学専攻とともにリハビリテーション療法学専攻を構成し、この分野の高等教育を担うことになった。平成15年度は修士課程の完成年度であるとともに、平成16年度に設置することとなった博士課程に向けての準備年度となった。本専攻の教育・研究目標は、高度医療・技術を支える豊かな人間性の形成を基本とし、理学療法に必要な基礎・臨床医学的知識を身体機能と障害の観点から再編して、体系化し、機能と障害を生体の情報として分析・評価し、それらの回復や予防への科学的関連づけを可能にすることである。これにより新たな理学療法を理論的に構築し、より高度な知識と技術を身に付けた理学療法士を養成するとともに、最近必要性が高まりつつあるスポーツ障害リハビリテーションや生涯スポーツ医科学領域への道を開き、さらに高齢社会に対応できるよう地域や高齢者に対する理学療法を強化する。さらには、理学療法研究を通じて理学療法を実証的学問として確立し、医療の場、教育の場、地域において指導的役割を果たすことができる教育・研究者の養成を目指している。開設以降、こうした理念・目標を理解した有能な学生が入学してきている。また、大学院修士課程では、質の高い研究が展開されており、将来が期待される。

1. 運営

本専攻は教官総数11名により基礎理学療法学講座と病態理学療法学講座の2大講座から構成されているが、専攻運営は、講座の壁をはずし全教官による専攻会議（毎週水曜日12時から開催）における協議の決定にしたがい進められている。さらに、大学院の運営に関しては関係教官によるリハビリテーション療法学教官会議（毎月第1、3週水曜日）を行っている。

- (1) 基礎理学療法学講座：理学療法研究の基礎となる知識や技術を開発・発展させるための生体の構造と機能に関連づけた体系的な基礎教育、身体運動からみた人体機能の体系的教育、機能と障害に重点を置いた臨床医学実践の基盤となるような基礎（医学）教育、機能異常や障害を病態として把握し的確な分析・評価能力を培う教育を実践しつつ、それらを裏付けるための研究を推進している。
- (2) 病態理学療法学講座：理学療法の実践に必要な科学的知識と技術を発展させるため、経験や感覚に頼りがちな生体反応の認識を生体情報として定量的に評価すること、障害を機能的に分析し理学療法の適用との理論的関連を追求すること、またそれらを通して障害からの回復のための治療法・障害の予防方略などに科学性を持たせることを目標とし教育・研究を行っている。

これらの教育・研究を実践するため、全教官が基礎的テーマと臨床的テーマをできるだけ合わせ持つようにして、研究を推し進めている。

2. 教育活動

4月に保健学科理学療法学専攻第6期生として22名の入学生を迎え入れた。内訳は推薦入学7名、前期日程試験入学10名、後期日程試験入学5名であった。男子学生11名、女子学生11名であった。また、編入生4名を受け入れた。その時点で理学療法学専攻としての学生数は、1年生22名、2年生22名、3年生25名（内、編入生4名）、4年生31名（内、編入生5名）、大学院1年生8名、2年生10名となった。

4月8日（火）に入学式の式典後、保健学科全体と理学療法学専攻単独の編入学ガイダンス、さらには大学院生ガイダンスをリハビリテーション療法学専攻として行い、15年度のカリキュラムの説明、学生生活のルールの再確認を行った。主任、教育委員、学生生活委員、授業担当教官がこの説明会を担当した。

4月9日（水）に東山で保健学科新生生に対して当初ガイダンスを午前中に行った後、午後から理学療法学専攻の新生生に対して専攻別ガイダンスを行った。主任、学部教育委員が担当した。

4月10日（木）に共通科目については理学療法学専攻・作業療法学専攻専攻合同で、専門科目については理学療法学専攻単独で、在校生ガイダンスを開催し、各学年別に1時間ずつを使い、15年度のカリキュラムの説明、学生生活のルールの再確認を行った。主任、学部教育委員、学生生活委員、授業担当教官がこの説明会を担当した。

4月12日（土）に専攻内での新入生歓迎会を行った。年度始めの土曜日半日を使い、在校生、新入生、教官が全員参加し、新2年生が幹事となり、全員自己紹介、スポーツリレーション（バレーボール、体育館）、懇親会（大幸厚生会館）を通じて人間的交流・連携の強化を達成した。まだ入学して間もない新入生の緊張を解きほぐすための良い企画であった。

4月16日（水）午前中の授業の一部を割愛し、新入生と理学療法学専攻、作業療法学専攻の全教官との顔合わせを行い、さらに大幸キャンパスにおける学生生活のルール説明、注意点の説明が学生生活委員によってなされた。

4月17日（木）に4年生を対象として、臨床実習Ⅱ・Ⅲのガイダンスを行った。

4月15日（火）から25日（金）の期間を利用して、4年生を対象として臨床実習Ⅱ・Ⅲの実習に備え、各教官が臨床実習に必要な項目についての学内実習を行った。

4月26日（土）、27日（日）の両日、学生81名、教官10名、職員1名の参加のもと、中津川東海地区国立大学研修センターにおいて厚生補導特別企画が実施された。この企画は、新入生がスムーズに快適で充実した大学生活を送れるようにするための導入部としての研修旅行であり、教官・職員・学生・先輩・後輩が寝食を共に生活することにより、縦と横の強い人間関係を構築することを目的として、短期大学部時代から毎年実施されてきたものである。今年度は、1日目に本専攻山田教授の講演「自身の研究活動について」、スポーツ活動（バレーボール、ソフトボール）、懇親会を開いた。2日目は研修所からほど近い鬼岩公園へのハイキングを行った。企画の目的は十分に達成し得た。猪田教授、木山助教授が担当した。

連休明けの5月6日（火）から、4年生の臨床実習Ⅱ・Ⅲが始まった。この実習は各種疾患を観察し、臨床実習指導者のもとに基本的検査技術を実施することを目的としている。多くの不安を抱きながら、実習先に向かった。4週ごとに反省会が行われ、種々の問題点などが指摘されたが、全員無事この実習を終えることが出来た。今年度から開始した臨床実習前の各教官による学内実習により、各学生と実りの多い臨床実習を経験できた。

5月30日（金）に4年生を対象として、地域理学療法学実習のガイダンスを行った。本実習は訪問理学療法の実際を見学できる貴重な実習である。

6月4日（水）の名大祭第1日目の夕刻、保健学科別館中庭において、理学療法学・作業療法学両専攻の学生・教官を交えて、バーベキューパーティーを開催し両専攻の交流を図った。

7月18日（金）に3年次編入生4名と指導教官2名で編入学後の状況把握と相互理解のための話し合いを持った。内容はおもに教科履修、研究テーマ、学生生活についてであり、現況および将来構想、大学への要望など活発に話し合った。

8月20日（水）に編入学試験を実施した。今年度は専門学校出身者が8名受験し、5名の合格となった。

8月27日（水）に大学院修士課程入試を実施した。今年度はリハビリテーション療法学専攻に20名（一般10名、社会人10名）受験し、19名（一般10名、社会人9名）の合格となった。

前期補講期間を用い、9月16日（火）～20日（土）の5日間、夏期特別実習（人体解剖実習）が開催され、理学・作業両専攻の多数の学生が参加した。指導は両専攻の教官が共同で行った。医学部主催の人体解剖トレーニングセミナーで解剖された遺体が提供された。学生にとっては、人体構造と機能の理解を深めるとともに、遺体に対する感謝の念を通して人の命の尊厳を考え、将来の医療人としてのあり方を考えるよい機会となった。

後期授業では4年生の卒業研究の後半部分が再開され、12月19日（金）に大学院講義室において、最終発表がなされた。編入生を含め24題の発表があり、3年生をはじめとする下級生も参加し、活発な討論がなされた。研究テーマは臨床関連研究24題、ラット等の動物を用いた基礎研究10題であった。この発表会には1、2年生も参加し、将来の自身の研究の参考になったと思われる。また、3年生の卒業研究中間発表会が平成16年2月27日（金）に大学院講義室で行われた。合計29題の発表があり、1、2年生からの質問も多く、活発な発表会であった。また、3年生に対し、中間発表会終了後、大学院ガイダンスと就職ガイダンスが行われた。

大学院では、作業療法学専攻を含むリハビリテーション療法学修士課程1期生の最終報告会が平成16年2月19日（木）に大講義室で行われた。合計18題の発表があった。また、修士課程2期生の中間報告会が平成16年3月13日（土）に大学院講義室で行われた。合計15題の発表があった。

以下に、理学療学分野について、学生名と指導教官名、修士論文題目を記す。

岩田全広	鈴木重行 教授	ラットを用いた急性炎症における一酸化窒素の抗炎症特性
加藤智香子	猪田邦雄 教授	地域保健所における「転倒予防教室」について—参加者特性と介入効果—
金井章	猪田邦雄 教授	股関節周囲筋筋力訓練時の股関節接触面ストレスについての検討
笹井宣昌	小林邦彦 教授	周期的伸張刺激により培養骨格筋細胞が筋肥大を起こす分子メカニズム
白石成明	鈴木重行 教授	回復期リハビリテーション病棟患者のADL—performance—の変化とその要因—
長尾光祥	猪田邦雄 教授	病棟リハビリテーションにおける病棟ADL チェックリスト使用の効果
平野幸伸	鈴木重行 教授	成長期における立位重心動揺および足部形態特性とその関連性について—長野県阿南町の小中学生調査から—
宮下浩二	猪田邦雄 教授	投球動作における上肢および下肢関節の連動
横地正裕	河村守雄 教授	糖尿病患者に対して運動療法の指導介入を長期に継続することの有効性
渡邊文子	猪田邦雄 教授	間質性肺炎における呼吸リハビリテーションの有効性

3月19日（金）に大学院博士課程入試が行われ、同月24日（水）に開催された判定会議でリハビリテーション療法学専攻7名の入学者が決定した。

3月25日（木）には保健学科第3期生の卒業式が執り行われた。本専攻は25名の新卒業者を世に送り出した。

3月7日（日）に理学療法士国家試験が実施され、本専攻学部卒業予定者20名が受験し、全員合格し、その内20名が病院に勤務し、5名が大学院へ進学した。

今年度中に開催された特別講義は以下の如くであった。

- ・石川誠先生（日本リハビリテーション病院・施設協会副会長、初台リハビリテーション病院院長）、開催日：11月18日（火）、テーマ：「これからのリハビリテーション医療のあり方」、対象：大学院1・2年生、学部3・4年生
- ・内山靖先生（群馬大学医学部保健学科教授）、開催日：12月1日（月）、テーマ：「臨床研究方法論」、対象：大学院1・2年生

3. 研究活動

前述の通り本専攻は、全教官が基礎的テーマと臨床的テーマを可及的に併せ持つように努力し、研究を進めている。各教官の研究テーマは、以下の通りである。

- 猪田邦雄 教授：関節の生理・バイオメカニクス・病態とリハビリテーション、関節の拘縮と軟骨代謝、高齢者の関節疾患と医療経済、転倒予防
- 小林邦彦 教授：関節拘縮の病態と微細構造、温熱（灸）刺激による皮膚の微細構造変化、解剖学教育法
- 河村守雄 教授：実験的異所性骨化と関節運動および不動化の関係、骨形成因子の特性と臨床応用、脊髄損傷モデルマウスの病態、慢性腰痛症状保有者の再発予防対策
- 鈴木重行 教授：培養筋細胞を用いた機械的刺激の影響、筋ストレッチングと疼痛抑制法の臨床的效果、女性尿失禁に対するバイオフィードバック療法、糖尿病と関節拘縮モデルラットを用いた理学療法効果の検証
- 山田純生 教授：換気補助を用いた運動療法、骨格筋パワーを用いた運動処方、運動習慣化を促進する指導方策、電気刺激療法と運動耐容能
- 木山喬博 助教授：治療用超音波の機械的效果の検証（皮膚、筋、血流への影響）
- 河上敬介 助教授：機械刺激に対する培養細胞の形態応答のメカニズムの解明、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム、筋・筋膜連結の形態と臨床的意義
- 肥田朋子 助手：疼痛時の神経・筋機能の解析、物理的刺激に対する神経・筋の応答
- 石田和人 助手：脳出血モデル動物における中枢神経の病理変化と運動療法の効果に関する研究、ニューロン障害の最初期像の解析とその予後に関する研究、糖尿病モデルラットを用いた理学療法効果の検証

宮津真寿美 助 手：伸張刺激による内皮細胞の細胞骨格・接着斑の動態、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム

加藤智香子 助 手：高齢者の身体活動量・筋力・バランス・QOL など、転倒予防、ヒッププロテクター

現在は、これらの研究テーマをもとに、リハビリテーションに関係した臨床系の研究、生体の微細構造究明に関する研究、物理療法の機器の開発と治療効果に関する研究、モデル動物を用いた各種病態究明と治療・予防法の確立に関する研究の4本柱を構築して、それぞれの研究室を整備・充実させている過程である。

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

今年度も臨床実習指導者連絡協議会（スーパーバイザー会議）を2回開催した。第1回は平成15年7月31日（木）に行い、臨床実習Ⅱ・Ⅲの反省と今年度より開始した臨床実習前の学内実習である臨床実習Ⅰbの効果、さらに臨床実習Ⅰの概要と本学の臨床実習の理念と流れについても協議を行った。第2回は平成16年2月5日（木）に開催し、臨床実習Ⅰaの反省と次期に始まる臨床実習Ⅱ・Ⅲおよび理学療法コミュニケーションの実施方法について協議を行った。

専攻代表が今年度出席した学外関係会議は、臨床実習東海地区理学療法士養成施設連絡協議会（5月9日（金）および9月3日（水）、会場：ユマニテック医療専門学校）、全国理学療法士・作業療法士学校養成施設連絡協議会（6月21日（土）、会場：北海道大学）、第6回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会（10月3日（金）、4日（土）、担当：長崎大学）であった。

7月26日（土）に愛知医療学院（名古屋市）にて行われた「高校生向けの理学療法士養成校紹介」に出席し本学及び本専攻の特徴等について肥田助手がアピールした。

名古屋大学大学説明会が8月7日（木）に行われ、保健学科は東山キャンパスを会場として、各専攻の特徴等について10分の持ち時間で、参加した高校生に鈴木重行主任が説明した。本専攻への質問も鋭くかつ多く、高校生の興味の深さが示された。

その他の対外活動として、隣接する大幸医療センターでの相談外来では、河村教授の腰痛相談室、猪田教授、加藤助手の転倒予防・骨粗鬆症外来、鈴木教授の女性尿失禁相談外来が引き続き行われた。河村教授は腰痛相談室に連動して、7月から「腰痛プール歩行教室」を一般市民向けに開設した。

名古屋大学医学部保健学科公開講座が市民を対象として、本専攻担当で「健やかに過ごすために」をメインテーマとして、9月13日（土）、20日（土）の2回に分けて開催された。担当は石田助手（脳を鍛えよう）、山田教授（心臓機能を高めよう）、鈴木教授（柔軟性を高めよう）、加藤助手（転ばないようにしよう）であった。参加者は34名で、毎回活発な質疑応答があり非常に好評であった。

（主任：鈴木重行）

作業療法学専攻

作業療法とは人間行動の本質的な理解の上に立って、自らが積極的、創造的で生産的な生命活動を導き出すことで、障害を克服、ないし受容して生きることを支援するリハビリテーション科学の一分野である。作業療法学専攻は、作業療法に関する学問体系の確立、作業療法領域の高度専門職業人の養成、そして、この領域における教育者、研究者の育成を目的として設置された専攻である。

本専攻は、基礎作業療法学講座と病態作業療法学講座の2講座から構成されている。

基礎作業療法学講座は人体構造機能学、神経障害学、内部障害学、精神障害学といった作業療法の基礎となる学問領域で構成されており、人体の構造と機能に関する研究、精神あるいは神経障害の病態の分析と評価、内部障害の病態の分析などが主要な教育・研究分野である。

病態作業療法学は作業療法理論、作業評価学、作業治療学、地域作業療法学に関する教育と研究に当たっている。また、病態作業療法学講座は、対象となる障害によって、身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害といった各領域について研究を行っている。その一方で、領域を越えた総合的な視点での研究にも対応できるよう、学際的領域や情報科学など関連領域との交流についても、積極的な関心を持ち、これを進めている。

本専攻の教官は、作業療法学分野（作業療法士）と医学分野（医師）の2領域の教官から編成されているが、それぞれの背景分野を活かした教育・研究活動を通して、ともに作業療法学の発展に資するように努力をしている。

1. 運営

本専攻の運営は、全員参加して行われる水曜日の専攻会議を中心に行われている。専攻会議は、本専攻の中心となる審議・決議組織と位置づけられ、作業療法学専攻の運営上の諸問題が話し合われる一方、全保健学科の委員会の報告や持ち帰りの審議がなされ、それに対する作業療法学専攻としての態度決定が行われている。具体的には、専攻の行事・事業計画、その進行の確認、活動の報告・反省、予算分配に関する審議・決定、学生の教育に関する諸事項の審議（例えば、学生の生活上・成績上の諸問題に関する教育方針の確認、臨床実習や卒業研究の可否決定など）が行われている。

教官人事など教授専任事項については、不定期に開催される専攻教授会議において審議・決定されている。この会議は全員一致を原則として運営されている。

また、様々な点で密接な連携関係にある理学療法学専攻とは、月1回水曜日に教官全員が参加する両専攻会議をもち、意思の疎通を図っている。作業・理学連携事項については、この会議で審議・決定されている。

平成15年度は大学院修士課程の開設2年目に当たる。大学院では、作業療法学専攻は理学療法学専攻とともにリハビリテーション療法学専攻を構成し、ひとつの専攻として運営されている。大学院に関わる諸事項については、月2回水曜日に行われる大学院教官会議（大学院担当教官全員が参加）によって審議され、運営されている。

2. 教育活動

15年3月25日卒業の2期生は卒業生22名、内大学院進学者が1名で、他の卒業生は全員医療機関へと就職した。

2月13日に、3期生の臨床実習に向けての臨床実習指導者会議をもち、臨床実習に向けての改善点、留意点など有意義な議論をもちことができた。

4月1日には、20名の学部入学生、1名の3年次編入生を迎え、大学院修士課程には7名（内一般入学1名、社会人入学6名）の第2期入学生を迎えた。

4月19日には修士課程入学試験ガイダンスを行った。

4月25日～26日には、入学生へのガイダンスを1泊2日の日程で犬山ユースホステルにて行った。これには3年生までの多くの学生が先輩として参加し、入学生との交流を深めた。

8月7日、名古屋大学説明会

8月19日、学外のホテルにて、教官全員参加で教育に関する教官会議をもち、カリキュラムについての検討と今後の改善点についての議論を行った。

8月20日に編入学試験、8月27日に大学院修士課程入学試験が実施された。

12月5日に卒業研究発表会を東山キャンパスで実施した。

16年2月5日、16年度の総合臨床実習に向けて実習指導者会議を開催した。

2月15日、大学院修士課程の第一回研究発表会を開催し、修士1期生の研究成果を披露した。

3月9日、15年度2回目の教官研修会を学内で持ち、カリキュラム内容の検討を行った。

3月13日、修士1年の研究中間発表会を開催し、研究の進捗状況の確認と指導が行われた。

3月19日、大学院博士課程（後期課程）の入学試験を実施した。

15年度4年生は、前期は総合臨床実習に、後期は前年度から継続中の卒業研究のまとめにと忙しく過ごし、16年3月25日に18名が第3期生として卒業した。この学年の大学院進学者は4名、他の卒業生はこの学年も全員が医療機関に就職している。

同時に大学院の学位授与式が行われ、修士1期生8名が修士号を授与された。

また、総合実習前の事前指導の必要性が大であると判断し、16年3月末に16年度4年生に対して実習直前セミナーを行った。

3. 研究活動

本専攻の教官は、異なる専門分野から構成されているため、専攻としての共同研究が成立しにくい側面を持っている。そのため、専攻の研究は教官による各個研究が主となっている。

(1) 共同研究

- a. スモン患者の運動能力評価に関する研究（杉村、清水、美和、寶珠山、伊藤、森）
- b. スモン患者の基本動作時間の経時的変化に関する研究（清水、杉村、美和、寶珠山、伊藤、森）
- c. 若年スモン患者のADLとQOL（伊藤、杉村、清水、美和、寶珠山、森）

(2) 各個研究

- a. 老年痴呆の障害分析的研究（杉村）
- b. 老年痴呆患者の行動評価法の開発（杉村）
- c. 介護老人保健施設などにおける作業療法の効果に関する研究（田川）
- d. 老人痴呆患者の問題処理能力などの定量的評価に関する研究（田川）
- e. 統合失調症の精神病理学的研究（鈴木）
- f. 青年期の精神病理学的研究（鈴木）
- g. 神経症の精神分析学的研究（鈴木）
- h. 運動と体性感覚誘導脳反応に関する研究（寶珠山）
- i. 意識と感覚情報処理能力に関する研究（寶珠山）
- j. 人の脳における情報処理能力に関する研究（寶珠山）
- k. 介助犬の適応に関する作業療法的研究（原）
- l. 補装具と福祉器具に関する研究（伊藤、原）
- m. 作業療法の歴史に関する研究（加賀谷）
- n. 作業療法と自律神経機能に関する研究（美和）
- o. 精神障害に対する作業療法介入効果に関する研究（美和）
- p. 入浴の自律神経機能に与える影響に関する研究（美和）
- q. 認知機能と情動の関係に関する研究（清水）
- r. 自己関連情報に関する心理的処理特性（清水）
- s. 作業療法におけるQOLに関する研究（清水）
- t. 地域リハビリテーションシステムに関する研究（伊藤）
- u. 住宅改造における作業療法介入の効果に関する研究（伊藤）
- v. 統合失調症に対する作業療法介入効果に関する研究（向）

- w. 児童虐待の精神心理学的研究（向）
- x. 老年痴呆の作業療法の研究（森）
- y. 機能訓練事業に対する作業療法の役割（森）

(3) 15年度中に、本専攻教官が参加した海外国際学会は以下のとおりである。

- a. 17th International Congress of Clinical Neurophysiology（第17回国際臨床神経生理学学会、2003年10月16～20日、サンフランシスコ、参加者：寶珠山）
- b. 3rd Asia Pacific Occupational Therapy Congress（アジア環太平洋作業療法学会：2003年9月15～18日、シンガポール、参加者：原，伊藤，清水）
- c. 6th International Congress of Society for Adolescent Psychiatry（第6回思春期青年期精神医学会、2003年6月26～29日、ローマ、参加者：鈴木）

4. 対外的、または社会と関わりのある活動

15年度中に本専攻教官が主催した学会、研究集会は以下のとおりである。

- a. 15年10月24～25日、第7回日本精神医学史学会（学会長：鈴木）
- b. 15年11月1～2日、第3回東海北陸作業療法学会、第11回愛知県作業療法学会（学会長：原）

そのほか、各種の公開講座、市民のための講演会に講師として協力した。

（主任：鈴木國文）

2. 公開講座 (平成15年度)

健やかに過ごすために

名古屋大学医学部保健学科では、昭和58年以来、健康問題や医療問題を中心に人間生活に関する公開講座を開催し、多くの一般市民の皆様に参加を頂いてまいりました。今回は、理学療法学専攻が中心となり“健やかに過ごすために”必要となる課題と、その具体的な対応策を紹介しました。

実施要綱

主 催	名古屋大学医学部保健学科
後 援	愛知県, 名古屋市, 名古屋大学医師会, 愛知県医師会, 名古屋市医師会
開催日時	平成15年 9月13日・20日(土曜日) 午後2時～4時半
開催場所	名古屋大学医学部保健学科大学院講義室
募集人員	150名
受講料	5,200円(テキスト代を含む)
修了証書	3回以上出席の受講者に修了証書を授与

講義内容と講師

第1回 9月13日 「脳を鍛えよう」(石田和人助手)

大人になって年を重ねていくと脳の発達は止まり機能が低下する、また不幸にして脳卒中などで障害を持つとその障害は治らない、などといわれることがあります。しかし、最近の脳科学研究の進歩から、脳はある手立てを加えることにより筋肉や骨のように、ある程度鍛えられることが分かってきました。この講義では、最新の脳研究データをもとに、脳をうまく鍛えるコツについて紹介しました。

第2回 9月13日 「心臓機能を高めよう」(山田純生教授)

血液を全身に送るという心臓の機能は、年齢とともに低下してきます。この原因は心筋梗塞や心筋症といった病気によるものか、老化によるものです。この他、以外なことに足の筋肉によっても大きく影響されます。このように、心臓の機能は様々な原因で低下しますから、その機能を改善・維持するには、まずご自分の状態を知ることが必要です。本講演では心臓からみた日常生活での過ごし方に焦点を当てて紹介しました。

第3回 9月20日 「柔軟性を高めよう」(鈴木重行教授)

人は年齢を重ねるにつれて、身体の柔軟性が低下する傾向にあります。特に、日頃から運動習慣のない中高齢者はその傾向が強いばかりでなく、肩凝り、腰痛に悩まされることが多くなります。これは筋肉だけでなく靭帯やその他の結合組織の柔軟性の低下が原因の1つとして考えられています。本講演では柔軟性を高める方法であるストレッチングについてお話と実技を行いました。

第4回 9月20日 「転ばないようにしよう」(加藤智香子助手)

急速な高齢化のなかで転倒・骨折は増加の一途をたどっています。高齢者の転倒は、寝たきりや要介護状態の要因となるので、近年、特に転倒予防の重要性が高まっています。ここでは転倒の原因、転倒予防に必要な知識、運動について紹介しながら、皆様と一緒に転ばないようにするにはどうしたらいいかを考えてみました。

(1) 受講者について

参加者は34名でした。受講者の状況は以下のとおりでした。年齢的には60代、70代の参加が目立ちました。

参加者数：34名（男17名，女17名）

修了証書授与者：34名

年齢構成（記載のあったもの）：10代（0名），20代（1名），30代（1名），40代（3名），50代（4名），
60代（5名），70代（6名），80代以上（0名）

職業（記載のあったもの）：無職（11名），教員（2名），会社員（3名），主婦（2名），学生（1名）

(2) 参加のきっかけと動機

参加のきっかけ

- | | | |
|----------------------------------|----|-----|
| a. 新聞（中日新聞） | …… | 3名 |
| b. 病院に置いてあった募集要項（国立病院） | …… | 2名 |
| c. 区役所・社会教育センター等においてあった募集要項、ポスター | …… | 4名 |
| d. テレビ・ラジオの報道 | …… | 0名 |
| e. 開催校からの案内 | …… | 12名 |
| f. 友達からの情報 | …… | 1名 |
| g. その他 | …… | 1名 |

動機

- | | | |
|---|----|-----|
| a. 職業上の知識・理解を増すため | …… | 4名 |
| b. 興味・関心をもったから
（自分の親がよく転ぶようになったので 他） | …… | 7名 |
| c. 余暇を有効に利用するため | …… | 2名 |
| d. 生活上の知識向上のため | …… | 13名 |
| e. その他 | …… | 1名 |

(3) 受講後の感想

- ・時間が短くてちょっと聞き取れないところがあった。
- ・興味・関心を持って、他の本を読んだりして、実行していきたい。
- ・できれば講義だけでなく、実技も取り入れていただければよかった。
- ・現在までに知り得た知識に誤りがあったことを感じたので、この講座に参加して非常に良かった。今後の生活を改善していきたいと思った。
- ・楽しく、分かりやすく受講できた。
- ・もう少し時間が欲しい。
- ・役に立つ講義で良かった。
- ・前年度よりとても面白く大変勉強になりました。理解しやすかった。
- ・ふくらはぎが第2の心臓とは知りませんでした。
- ・腰痛のため、柔軟性を高めようの講義が良かった。
- ・我々中高年者にも良く理解できる講義内容でした。次回も楽しみにしています。
- ・新知識を得て、脳の活性化に役立ってます。
- ・日々の運動に今回の新知識を積極的に取り入れます。
- ・年齢的にも興味のあるテーマで良かった。
- ・ストレッチの具体的な方法を教えていただいて良かった。
- ・老化と一言で表す中にも、加齢による「避けられないもの」と生活習慣や生き方によって「少しは改善できるもの」とがあることがわかった。私は20代ではあるけれど、年の割には疲れやすいとか体力がないとか感じるこ

がよくあるので、このまま年を重ねると危険だなあと感じた。そうした中で自分の親や殆ど寝たきりに近い祖母のことなどを考えると月並みな言い方だが、Golden Ager が健康に過ごしていける手助けをする仕事につけたらいいなと思った。

- ・実技もあり、リラックスした中で良く理解できました。
- ・大変分かり易く面白かった。生活に役立てていきたいと思います。
- ・第二の心臓を発見できて感激
- ・第二の心臓についての話は非常に関心がありました。
- ・本講義を聞いて、得た知識を妻と共に老後に役に立てていきたい。

(4) 開講時期、曜日、時間、場所、受講料等についての感想

- ・適当で良い。
- ・受講料は高すぎる。テキストは立派であるが、内容はいまいち。
- ・1日1項目にしてもらいたい。
- ・受講料が高い気がする。
- ・時間は午前中が良い。
- ・受講料がもう少し安いと良い。
- ・時期は12月又は1月
- ・時間は講座90分以内、休憩を10分確保して欲しい。
- ・現在のままで良い。
- ・場所（大学院講義室）は丁度良い広さだと思う。

(5) 今後希望するテーマ

- ・人間の最終段階における生活態度について
- ・生活の習慣性から見た健康管理の注意点
- ・生活習慣と健康管理に関連する諸問題
- ・生活習慣病の予防
- ・今回のテーマを後日、再度開講して欲しい。
- ・睡眠と脳の関係
- ・ストレス関連
- ・身近な問題点でのテーマ
- ・骨の老化、その防護と補強
- ・うつ病のしくみと対処法について
- ・物忘れについて
- ・成人健康診断結果の見方と活用法について
- ・学校の保健衛生管理について（果たして学校の健康診断は役に立っているのかと疑問）
- ・変形性膝関節症への運動対応
- ・癌について

以上の如く、今回は健康に関する話題への関心が高い、比較的高齢者の受講が多いことが特徴としてあげられました。課題としては、受講料がやや高い印象があることに加え、公開講座のより幅広い周知方法を検討することが挙げられます。

概ね今回の公開講座は好意的に受け入れられたものと思われませんが、保健学科の地域貢献事業として、地域住民の皆様にも自らの健康の維持増進に取り組もうと提供いただけるような啓発活動を今後も継続してまいりたいと思います。

(理学療法専攻 平成15年度公開講座委員長 山田純生)

3. 業 績 (2003年)

凡 例

◎業績の収録期間は2003(平成15)年1月～12月とした。

◎業績は下記の種別に分類した。

- * 著書
- * 原著論文
- * 総説・解説・その他
- * 科研費・班研究等
- * その他の印刷物等
- * 学会発表
- * 公開講座・講演会

◎掲載順位は ①専攻, ②業績種別, ③著者のアルファベット順 とした。

看護学専攻

〔著書〕

江藤真紀

こころと高齢者の転倒

『臨床行動心理学の基礎：医と心を考える：人はなぜ心を求めるか』（久保田新〔ほか〕著）丸善，2003. pp 91-94

江藤真紀

看護師・保健師の活動における心理学的アプローチ

『臨床行動心理学の基礎：医と心を考える：人はなぜ心を求めるか』（久保田新〔ほか〕著）丸善，2003. pp 34-38

濱松加寸子

第2章 福祉と健康 2.健康と病院

『21世紀の新しい自治体行政への挑戦：第二次世田谷区政白書 住民の生活と健康をまもり真の行政改革をめざして』（世田谷自治問題研究所・世田谷区職員労働組合編）こうち書房，2003. pp 163-169

濱松加寸子

第4章 「真のパートナーシップ」の確立をめざして

『21世紀の新しい自治体行政への挑戦：第二次世田谷区政白書 住民の生活と健康をまもり真の行政改革をめざして』（世田谷自治問題研究所・世田谷区職員労働組合編）こうち書房，2003. pp 292-296

濱松加寸子

『医療技術の進歩と「人間的」出産をめざす助産師の役割：「人間的」出産を志向する助産活動の看護社会学的考察』こうち書房，2003. 271p

梶田悦子，江藤真紀

転倒の予防と看護

『高齢者看護学』（小玉敏江，亀井智子編著）中央法規出版，2003. pp 196-204

榊原久孝

高山病

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 793

榊原久孝

手腕振動障害

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1147

榊原久孝

潜函病

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1423

渡邊憲子

IX. 肺切除術患者への看護技術

『急性期にある患者の看護技術 第2版（成人看護学 H.成人看護技術；2）』（泉キヨ子，土居洋子編集）廣川書店，2003. pp 167-186

山内豊明

アセスメントにおける看護必要度の考え方（第2章Ⅰ）

『看護必要度：看護サービスの新たな評価基準』（岩澤和子，筒井孝子監修）日本看護協会出版会，2003. pp 21-36

山内豊明，筒井孝子，看護必要度アセスメント項目評価基準検討委員会

看護必要度の評価項目とその評価（第2章Ⅱ）

『看護必要度：看護サービスの新たな評価基準』（岩澤和子，筒井孝子監修）日本看護協会出版会，2003. pp 38-79

山内豊明，筒井孝子，看護必要度アセスメント項目評価基準検討委員会

例題（第2章Ⅲ）

『看護必要度：看護サービスの新たな評価基準』（岩澤和子，筒井孝子監修）日本看護協会出版会，2003. pp 80-98

山内豊明

クリティカルパスの現状と展望

『クリティカルパス実践セミナーテキスト』（医療マネジメント学会編）じほう，2003. pp 19-24

山内豊明

1章 臨床医学へのアプローチ C 臨床医学における総合医療チームワーク

『ダイナミックメディシン 1』（辻省次 [ほか] 編集主幹）西村書店，2003. pp 1・12-1・23

山内豊明

9章 看護からのアプローチ B 看護における問題解決の方法論

『ダイナミックメディシン 2』（辻省次 [ほか] 編集主幹）西村書店，2003. pp 9・16-9・20

安田道子

7. 学校精神保健の臨床実践 | 生徒を支えること，その教師を支えること

『臨床実践の知：実践してきたこの私』（田畑治，森田美弥子，金井篤子編）ナカニシヤ出版，2003. pp 90-100

〔原著論文〕

安藤詳子

患者・家族のためのよりよい緩和ケアのあり方
癌と化学療法 30(1)：45-48，2003

安藤詳子，西川晶子，前川厚子，松村悠子

がん患者遺族からみた緩和ケア病棟の療養環境
日本看護医療学会雑誌 5(1)：9-16，2003

安藤幸子，安藤詳子，加藤経子

治験説明に対する被験者の理解度

日本看護研究学会雑誌 26(4)：99-108，2003

浅野みどり

発達障害の子どもと生活する家族の強み—強みタイプ別の面接データ分析から—
日本看護医療学会雑誌 5(1):17-23, 2003

杉浦太一, 浅野みどり, 石黒彩子, 三浦清世美, 鳥居新平
喘息をもつ学童を対象とした自記式 QOL 調査票の改良—改良版 (JSCA-QOL Ver.2) の信頼性・妥当性の検討
日本看護医療学会雑誌 5(1):24-34, 2003

杉浦太一, 浅野みどり, 石黒彩子, 三浦清世美, 鳥居新平
喘息をもつ学童の QOL 測定の試み—QOL 質問紙の作成と健康な学童との比較検討—
日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会誌 1(1):15-23, 2003

浅野みどり, 杉浦太一, 三浦清世美, 石黒彩子, 鳥居新平
気管支喘息をもつ子どもの QOL の現状—改良版 Japanese School Aged Children with Asthma QOL 調査票を用いて—
日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会誌 1(1):24-30, 2003

遠藤淑美

看護援助による慢性精神分裂病を病む人の自我発達の性質と経過
千葉看護学会誌 9(1):17-25, 2003

遠藤淑美

看護援助による統合失調症を持つ人の自我発達の把握とその性質—閉鎖病棟入院中の女性患者 1 事例の検討結果より—
日本精神保健看護学会誌 12(1):65-77, 2003

左合絹子, 後藤節子, 長岡有紀代, 鈴木 萌
初経およびその後の月経経験からみた女子大学生の月経イメージに関する検討
愛知母性衛生学会誌 21:47-51, 2003

長岡有紀代, 後藤節子, 左合絹子, 鈴木 萌
立ち会い分娩をした夫婦のケアに対する満足度について
愛知母性衛生学会誌 21:7-12, 2003

小畑直子, 石川尚武, 神谷典男, 後藤節子
直腸・尿路狭窄および腹壁膿瘍を伴った, 骨盤内放線菌症の 1 例
東海産科婦人科学会雑誌 40:147-152, 2003

後藤節子, 森 マチ子, 深谷陽子, 中村桂子
看護における薬物有害反応対策
日本臨床 61:943-948, 2003

加古亜紗子, 後藤節子, 水野妙子, 若井美晴
つわり症状に対する心理的および生理学的アプローチ
母性衛生 44:39-44, 2003

濱松加寸子

医療技術の発達が出産のあり方に与えた影響（第1報）—出産と医師・助産師の役割および協力関係の比較
日本看護医療学会雑誌 5（1）：53-59, 2003

濱松加寸子

医療技術の発達が出産のあり方に与えた影響（第2報）—助産活動を中心に
日本看護医療学会雑誌 5（2）：9-16, 2003

YAMASHITA Takeshi, OGAWA Satoshi, AIZAWA Yoshifusa, ATARASHI Hirotsugu, INOUE Hiroshi, OHE Tohru, OKUMURA Ken, KATO Takao, KAMAKURA Shiro, KUMAGAI Koichiro, KURACHI Yoshihisa, KODAMA Itsuo, KORETSUNE Yukihiko, SAIKAWA Tetsunori, SAKURAI Masayuki, SUGI Kaoru, NAKAYA Haruaki, NAKAYAMA Toshio, **HIRAI Makoto**, FUKATANI Masahiko, MITAMURA Hideo, YAMAZAKI Tsutomu; J-RHYTHM Investigators
Investigation of the optimal treatment strategy for atrial fibrillation in Japan; the J-RHYTHM (Japanese Rhythm Management Trial for Atrial Fibrillation) study design
Circ J 67 : 738-741, 2003

KONDO Takahisa, OHNO Miyoshi, SHIMOKATA Keiko, IINO Shigeo, INDEN Yasuya, MUROHARA Toyoaki, **HIRAI Makoto**

CD14 promoter polymorphism is associated with acute myocardial infarction resulting from insignificant coronary artery stenosis
Heart 89 : 931-932, 2003

ISOBE Satoshi, ANDO Akitada, NANASATO Mamoru, NONOKAWA Makoto, IZAWA Hideo, SOBUE Toshikazu, **HIRAI Makoto**, ITO Kengo, ISHIGAKI Teruo, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
Combined study with FDG PET and TI SPECT in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy
Nucl Med Commun 24 : 1071-1080, 2003

MATSUKURA Tomoharu, KAGAMIMORI Sadanobu, NISHINO Harumi, YAMAGAMI Takasi, IKI Masayuki, **KAJITA Etsuko**, KAGAWA Yoshiko, YONESHIMA Hideo, MATSUZAKI Toshihisa, MARUMO Fumiaki
The characteristics of bone turnover in the second decade in relation to age and puberty development in healthy Japanese male and female subjects—Japanese Population-based Osteoporosis Study
Ann Hum Biol 30 : 13-25, 2003

勝山貴美子

患者-看護者間におけるケアに関する一考察—看護者の患者家族に関する認識を手がかりとして
医学哲学医学倫理 21 : 176-183, 2003

毛受矩子, 前川厚子

阪神地区における高齢者への社会的支援（コンボイ）の実証的研究
癌と化学療法 30(Suppl.) : 91-94, 2003

前川厚子, 井口弘子, 神里みどり, 藤井優子, 渡邊憲子

エビデンスが変えたケア2 尿失禁ケア
月刊ナーシング 23(1) : 34-40, 2003

水野小まり, 前川厚子, 門田直美, 林 久恵, 中村真弓, 勢納八郎
SF-36を用いた閉塞性動脈硬化症患者のQOLとセルフケア
月刊ナーシング 23(13):130-138, 2003

吉川由利子, 前川厚子
胃癌再発により腸管皮膚瘻を形成した独居高齢者の在宅生活支援
日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 6(2):16-19, 2003

竹井留美, 前川厚子, 神里みどり, 安藤詳子, 門田直美, 楠神和男, 伊奈研次, 後藤秀実, 伊藤美智子, 高添正和,
小松喜子, 渋谷優子, 山崎京子, 片平洸彦
炎症性腸疾患の子どもを持つ親の医療・福祉・生活への視点
日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 7(2):12-17, 2003

岡 みゆき, 前川厚子, 鳥居修平
系統的レビューによる褥瘡研究会活動の動向分析
日本褥瘡学会誌 5:568-571, 2003

前川厚子, 神里みどり, 安藤詳子, 藤井優子, 毛受矩子, 渡邊憲子
PEGによる胃瘻栄養実施患者の療養コーディネーションと在宅支援
臨床看護 29:683-687, 2003

三浦清世美, 浅野みどり, 石黒彩子, 小林律子, 亀島加代
隔離状態にある患児との関わり
クリニカルスタディ 24(5):31-36, 2003

水野美奈子, 三浦清世美, 浅野みどり, 石黒彩子, 吉田久美子
在宅人工換気療法中の子どもをもつ母親の体験～学校生活における葛藤の過程を中心に～
日本看護医療学会雑誌 5(1):61-66, 2003

三浦清世美, 浅野みどり, 石黒彩子
子どもを亡くした母親の体験～生体部分肝移植のドナーとして～
日本看護学会論文集, 小児看護 33:97-99, 2003

小川有紀, 森田せつ子
妊婦の不安要因および妻の夫婦満足度が妊婦の不安に及ぼす影響
愛知母性衛生学会誌 21:21-28, 2003

大橋幸美, 森田せつ子
母親と父親の対児感情の比較
愛知母性衛生学会誌 21:39-45, 2003

森田せつ子
里帰り出産が親への移行過程に及ぼす要因の検討—夫婦の里方との関係が家族形成過程に及ぼす影響
金城学院大学大学院人間生活学研究科論集 3:101-102, 2003

西川晶子, 松村悠子, 安藤詳子

意識障害患者に対する味覚刺激の実験考察
EB nursing 3(2):25-32, 2003

MÄKITIE Antti A., PIRVOLA Ulla, PYYKKÖ Ilmari, **SAKAKIBARA Hisataka**, RIIHIMÄKI Vesa, YLIKOSKI Jukka
The ototoxic interaction of styrene and noise
Hear Res 179:9-20, 2003

SAKAKIBARA Hisataka, MAEDA Setsuo, HIRATA Mamoru

Thermotactile perception threshold testing for vibration-induced neuropathy in hand-arm vibration syndrome patients

Proceedings of the 32nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering (Aug. 25-28, 2003; Jeju Seogwipo, Korea). Korea Research Institute of Science and Technology, 2003. pp 1994-1999

渋谷菜穂子, 水溪雅子, 立石充子, 鈴木敦子, 竹中 綾

精神科臨床看護能力の形成における初心者の理解認識—SPN 質問紙調査および実習記録より—
日本看護医療学会雑誌 5(1):43-52, 2003

河原ゆう子, 岩瀬 敏, 美和千尋, 片岡由美子, **渡邊順子**

頸下ミスト浴および顔面送風が, 腰浴における体温調節能, 循環動態, 浴後爽快感に及ぼす影響
自律神経 40:43-50, 2003

渡邊順子, 岩瀬 敏, 高田宗樹, 傳 埜

前腕・下腿における虚血後反応性充血に及ぼす微小重力曝露の影響と対抗措置としての人工重力および運動負荷の効果
自律神経 40:488-494, 2003

HIRAIWA Masao, LIU Jian, LU Ai-Gang, WANG Cui-Ying, MISASI Roberta, **YAMAUCHI Toyoaki**, HOZUMI Isao, INUZUKA Takashi, O'BRIEN John S.

Regulation of gene expression in response to brain injury: enhanced expression and alternative splicing of rat prosaposin (SGP-1) mRNA in injured brain
J Neurotrauma 20:755-765, 2003

山内豊明

クリティカルパスの現状と展開
医療マネジメント学会雑誌 3:679-680, 2003

山内豊明, 近藤由布子, 藤内美保

訪問看護を利用している在宅要介護者の家族介護者が感じる喜び
医療マネジメント学会雑誌 4:304-310, 2003

山内豊明, 近藤由布子, 藤内美保

「早食い」についての認識
医療マネジメント学会雑誌 4:311-318, 2003

山内豊明

「静脈注射についての法令解釈の変更」から考える
看護管理 13：272-274, 2003

山内豊明, 三笠里香, 志賀たずよ

訪問看護実践に必要とされるフィジカルアセスメントについての現状調査
日本看護医療学会雑誌 5(1)：35-42, 2003

〔総説・解説・その他〕

遠藤淑美

看護管理に活かす看護理論のエッセンス3：トラベルビー—スタッフとの人間対人間の関係を築く—よりよい看護援助を提供するために
看護管理 13：737-742, 2003

遠藤淑美

本との話「援助技法としてのプロセスレコード」—書評
精神科看護 30(9)：88-89, 2003

江藤真紀

地域高齢者の転倒要因と看護の役割—転倒における心と体と社会生活
Home Care Medicine 4(3)：12-14, 2003

江藤真紀

地域で孤独を感じながら生活している高齢者とのかかわり
クリニカルスタディ 24(10)：33-39, 2003

平井眞理

ユタ大学におけるアビルドスコッフ先生の思いで
心電図 23：652-656, 2003

平井眞理

III. 診断検査法の進歩 1. 心電図検査と電気生理 4) 体表面心電図マッピング法 (冠動脈の臨床 (上) 21世紀の診断治療体系)
日本臨床 61(増刊4)：186-192, 2003

IGUCHI Hiroko, ISHIGURO Ayako, MAEKAWA Atsuko, ASANO Midori, YAMADA Tomoko

The second report: international exchange for nursing studnets and faculty members in 2002-2003 — experience of University of Washington visitation
J Jpn Soc Nurs Health Care (Nihon Kango Iryou Gakkai Zasshi) 5(1)：67-70, 2003

梶田悦子

中国内モンゴル自治区での骨粗鬆症予防検診

健康文化振興財団紀要 37：8-13, 2003

勝山貴美子

エコロジカルモデルにおける越境するケアとは—広井良典『ケア学—越境するケアへ』書評
医療と倫理 4：77-78, 2003

勝山貴美子

「暗闇の世界はどうですか」—看護におけるナラティブ・プラクティス
現代のエスプリ 433：85-97, 2003

勝又正直, 野村直樹, 田中優子, 北川裕子, **勝山貴美子**, 西川晶子, 門間晶子, 浅野みどり, 鈴木富雄
書評; ナラティブ・セラピーとその周辺
名古屋市立大学看護学部紀要 3：49-58, 2003

前川厚子, 相原優子, 神里みどり, 安藤詳子, 渡邊憲子

排泄援助技術 ストーマケア (ワークブック基礎看護技術)
クリニカルスタディ 24(6)：46-47, 2003

前川厚子, 安藤詳子, 神里みどり, 石橋美和子

第12回国際がん看護学会 がん看護実践と研究に改革の波を!
月刊ナーシング 23(2)：118-121, 2003

毛受矩子, 前川厚子

第7回ヨーロッパストーマケア学会〈ミュンヘン大会〉—ひとりで歩まず手をつなぎあい, 臨床の知を結集しよう
月刊ナーシング 23(11)：65-69, 2003

松村悠子

名古屋大学6年間の思い出
健康文化振興財団紀要 37：19-22, 2003

三浦清世美, 浅野みどり, 石黒彩子, 小林律子, 亀島加代

隔離状態にある患児とのかかわり
クリニカルスタディ 24(5)：31-36, 2003

生田美智子, 渡邊順子, 吉川羊子, 後藤百万, 土屋雅彦, 永坂和子

愛知排泄ケア研究会の取り組み
ウロナーシング 8(1)：85-89, 2003

渡邊順子

Freedom Trail to Nursing (2)
健康文化振興財団紀要 35：10-15, 2003

渡邊順子

Freedom Trail to Nursing (3)

健康文化振興財団紀要 36：9-16, 2003

山内豊明

Part4 こう考える「判断に迷う測定値」数値だけではわからない患者さんの状況を総合的にみる手順
ナース専科 23(1)：18-24, 2003

山内豊明

アセスメント Q&A 急変患者さんを見る際のポイント
ナース専科 23(8)：24-27, 2003

山内豊明

米国における臨地実習について
日本看護技術学会誌 2(1)：12-21, 2003

〔科研費・班研究等〕

蛭田秀一, 島岡みどり, 山田 宏, **安藤詳子**, 小野雄一郎, 今枝敏彦
介護サービスにおける顧客満足度に関与する作業要因と従事者に必要な体力水準の検討
平成13～14年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書 1冊, 2003

浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子

慢性疾患や障害をもつ子どもを抱える家族の「家族健康モデル」に関する研究
平成12～14年度文部科学省科学研究費助成金萌芽研究研究成果報告書 1冊, 2003

梶田悦子

在宅ケアの視点からみた大腿骨頸部骨折患者のQOL指標の開発と評価
平成13～14年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書 1冊, 2003

梶田悦子, 江藤真紀

温泉利用健康増進施設が住民の生活の質と健康寿命の改善に果たす役割に関する研究—健康増進を目的とした温浴施設利用頻度と転倒・骨折の既往歴との関連—
平成14年度厚生労働科学研究費補助金(健康科学総合研究事業)報告書 pp 47-50, 2003

神里みどり, 前川厚子, 小松喜子, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 片平洸彦

炎症性腸疾患(IBD)患者の医療満足と日常生活困難感
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)「特定疾患の疫学に関する研究」 pp 30-31, 2003

神里みどり, 前川厚子, 小松喜子, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 片平洸彦

炎症性腸疾患(IBD)患者の保健・医療・福祉ニーズの現況
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)「特定疾患の疫学に関する研究」 pp 48-49, 2003

小松喜子, 前川厚子, 神里みどり, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 片平洸彦

炎症性腸疾患患者の保健医療福祉ニーズの現況

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「特定疾患の疫学に関する研究」 pp 28-29, 2003

前川厚子, 神里みどり, 小松喜子, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 片平洸彦

ストーマと骨盤内パOUCHを保有するIBD患者のQOL

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「特定疾患の疫学に関する研究」 pp 32-33, 2003

小松喜子, 前川厚子, 神里みどり, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 片平洸彦

炎症性腸疾患（IBD）患者の訴える有害事象の実態とその対策のあり方

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「特定疾患の疫学に関する研究」 p 47, 2003

前川厚子, 神里みどり, 小松喜子, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 片平洸彦

ストーマと骨盤内パOUCH造設術を受けたIBD患者のQOL

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「特定疾患の疫学に関する研究」 pp 50-51, 2003

小松喜子, 前川厚子, 神里みどり, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 片平洸彦

薬物療法を受けた炎症性腸疾患（IBD）患者の保健医療福祉ニーズ

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「特定疾患の疫学に関する研究」 pp 125-131, 2003

中村 眞, 白石弘美, 内山 幹, 前川厚子, 神里みどり, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 佐々木 敏, 小松喜子, 片平洸彦

若年者の食事中n-3/n-6系多価不飽和脂肪酸摂取量と炎症性腸疾患発生の疫学的検討

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「特定疾患の疫学に関する研究」 pp 132-134, 2003

中村 眞, 白石弘美, 内山 幹, 前川厚子, 神里みどり, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 佐々木 敏, 小松喜子, 片平洸彦

炎症性腸疾患患者の食事中n-3・n-6系多価不飽和脂肪酸摂取量をコントロールし、細胞膜中n-3/n-6比を1に近づけることによる緩解維持効果の検討

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「特定疾患の疫学に関する研究」 pp 135-138, 2003

山内豊明

根拠に基づく看護研究文献のデータベース化に関する研究1—国外文献の収集と分析—

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）「根拠に基づく看護技術のデータベース化に関する研究」総括・分担研究報告書 pp 67-140, 2003

山内豊明, 三笠里香

訪問看護活動に不可欠なフィジカル・アセスメント技能の体系化に関する基礎的研究

平成12～14年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））研究成果報告書 1冊, 2003

山内豊明, 三笠里香

難病訪問看護に必要とされるアセスメント技能に関する研究—パーキンソン病療養者の事例を通して—

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）「特定疾患の生活の質（Quality of Life, QOL）の向上に資するケアの在り方に関する研究」総括・分担研究報告書 pp 123-127, 2003

〔その他の印刷物等〕

安藤詳子

緩和ケアの輪を広げて

東海ターミナルケア研究会ニュースレポート 2003(1):11, 2003

安藤詳子

これからの緩和ケアにおける看護師の役割

東海ターミナルケア研究会ニュースレポート 2003(2):2-5, 2003

板橋家頭夫, 飯田美代子, **浅野みどり**

わたしの面会日記 My Baby's Diary

森永乳業 1冊, 2003

代田妙子, **藤井千恵**, **榎原久孝**

家庭・学校・地域連携による子どもと家族の生活習慣病予防に関する研究

第9回「地域保健福祉研究助成」第11回「サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成」報告集(財団法人大同生命厚生事業団) pp 39-44, 2003

中津川市, 名古屋大学医学部公衆衛生学教室(豊嶋英明, 近藤高明, 玉腰浩司, 八谷 寛, 石川美由紀, 村田千代栄, 張 恵明, 長澤伸江, **藤井千恵**, 大塚 礼, 間淵智子, 須磨一剛)

平成14年度新寝たきり高齢者ゼロ作戦普及啓発促進事業—2年間の閉じこもり追跡調査報告書—
中津川市 1冊, 2003

後藤節子, 水谷京子, 田中京子

育児支援と介護問題に関する調査報告

2002年度名古屋大学における男女共同参画報告書(名古屋大学男女共同参画推進に関するワーキンググループ) pp 125-160, 2003

後藤節子

名古屋大学医学部女性医師の母体保護に関するアンケート集計結果(報告)

2002年度名古屋大学における男女共同参画報告書(名古屋大学男女共同参画推進に関するワーキンググループ) pp 93-109, 2003

濱松加寸子

医療における制度政策的変化とその目的・目標

21世紀の名古屋市における医療・福祉政策の基本的検討試論(現代社会構想・分析研究所) pp 13-15, 2003

濱松加寸子

今後の地域医療・福祉の基本的政策・構想試論—医療政策から—

21世紀の名古屋市における医療・福祉政策の基本的検討試論(現代社会構想・分析研究所) pp 43-48, 2000

神里みどり, **安藤詳子**, **前川厚子**

第1回から第5回までの愛知がん疼痛緩和勉強会アンケート調査結果

第6回愛知がん疼痛緩和勉強会報告書 pp 1-3, 2003

水溪雅子

精神的問題を持つ患者の家族システムと家族支援

第65回メンタルケアのスペシャリスト養成講座（メンタルケア協会）実践課程テキスト pp 1-8, 2003

渡邊憲子

看護学生の「名声会」見学について

名古屋市名声会 33:12, 2003

福井美代子, 市田恭郎, 岩越和子, 藤島裕子, 夏原千鶴, 岡山かよ子, 堀井康江, 吉田久美子

痴呆性高齢者地域ケアシステム再構築に向けてのニーズ調査

第9回地域保健福祉研究助成報告集（財団法人大同生命厚生事業団） pp 321-326, 2003

[学会発表]

赤川里美, 渡邊実香, 岡山久代, 濱松加寸子, 玉里八重子, 森田せつ子

大学教育カリキュラムにおける助産学実習の検討（第2報）—助産学実習期間の学生の疲労への影響要因—（日本助産学会誌 16(3):126-127, 2003)

第17回日本助産学会学術集会, 2003.3（宜野湾）

伊藤久美子, 鈴木慶子, 宮崎美佳, 安藤詳子

口腔外科領域のがん治療に伴う疼痛に対するアセスメントツールの有効活用（抄録集 p 23, 2003)

第7回日本看護研究学会東海地方会, 2003.1（名古屋）

ANDO Shoko, NISHIKAWA Akiko, KAMIZATO Midori, MAEKAWA Atsuko

A study of practical knowing of nurses and related factors in pain relieving care for cancer patients. (Abstract. p 103, 2003)

1st International Conference Japanese Society of Cancer Nursing, 2003.2（Osaka）

安藤詳子, 西川晶子, 神里みどり, 前川厚子

がん患者の疼痛緩和ケアにおけるナースの実践知パターン（日本がん看護学会誌 17(特別):58, 2003)

第17回日本がん看護学会学術集会, 2003.2（大阪）

堀 文子, 蛭田秀一, 島岡みどり, 小野雄一郎, 今枝敏彦, 安藤詳子, 巽 あさみ, 服部洋児

車椅子からベッドへの移動介助における補助用具の効果の検討（産業衛生学雑誌 45(臨増):707, 2003)

第76回日本産業衛生学会, 2003.4（山口）

蛭田秀一, 島岡みどり, 山本 薫, 小野雄一郎, 今枝敏彦, 堀 文子, 巽 あさみ, 安藤詳子, 服部洋児, 王 雪豊

各種上方移動介助における作業姿勢と作業負担の比較（講演集 p 32, 2003)

平成15年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2003.4（名古屋）

安藤詳子

患者・家族のためのよりよい緩和ケアのあり方（抄録集 p 55, 2003）
第14回日本在宅医療研究会学術集会, 2003.7（名古屋）

堀 文子, 蛭田秀一, 島岡みどり, 安藤詳子, 巽 あさみ
補助用具を使用した車椅子からベッドへの移乗介助の負担評価（抄録集 p 19, 2003）
第5回日本看護医療学会学術集会, 2003.9（名古屋）

北原雪香, 安藤詳子

緩和ケア病棟におけるボランティア教育プログラム（抄録集 p 3, 2003）
第8回日本死の臨床研究会中部支部大会, 2003.10（名古屋）

馬淵純子, 安藤詳子

進行肺がん患者に対する病状説明と看護師の役割（予稿集 p 253, 2003）
第27回日本死の臨床研究会, 2003.11（徳島）

浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子

発達障害の子どもと生活する家族の家族機能の特徴—複数の家族機能尺度による検討—（講演集 pp 280-281, 2003）
第13回日本小児看護学会学術集会, 2003.7（幕張）

田中美樹, 尾関唯未, 浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子

大学生の赤ちゃんに対するイメージについて—文章完成法を用いた調査結果の分析—（日本看護研究学会雑誌 26
（3）：460, 2003）
第29回日本看護研究学会学術集会, 2003.7（大阪）

山北奈央子, 浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子, 小林加奈, 都築知香枝

入院中の子どもの遊びに対する看護師の認識と関わり—保育士との協働の有無による検討—（講演抄録集 p 16, 2003）
第5回日本看護医療学会学術集会, 2003.9（名古屋）

杉浦太一, 浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子, 鳥居新平

気管支喘息をもつ学童・生徒のQOLの傾向—自記式QOL調査票 Ver.3を用いた全国調査の結果—（講演集 pp 582-583, 2003）
第50回日本小児保健学会, 2003.11（鹿児島）

浅野みどり, 杉浦太一, 石黒彩子, 三浦清世美

気管支喘息をもつ学童の学校生活の現状—focus group interview を用いた pilot study—（講演集 p 440, 2003）
第23回日本看護科学学会学術集会, 2003.12（津）

遠藤淑美

慢性統合失調症にある人の自我発達の性質とその経過（抄録集 pp 76-77, 2003）
第13回日本精神保健看護学会学術集会, 2003.5-6（東京）

遠藤淑美

看護職における卒後教育の現状と課題（集録 pp 40-41, 2003）

第21回日本生活指導学会研究大会, 2003.8 (京都)

遠藤淑美

幻聴を主症状とする統合失調症を持つ人の看護援助による自我発達 (集録 pp 36-37, 2003)

第9回千葉看護学会学術集会, 2003.9 (千葉)

江藤真紀, 中谷芳美, 松原 勇, 梶田悦子, 郷内直子, 鏡森定信

地域高齢者の転倒経験と温泉利用との関連 (日本公衆衛生雑誌 50(10, 特別附録): 736, 2003)

第62回日本公衆衛生学会総会, 2003.10 (京都)

藤井千恵, 古田真司, 榊原久孝

生活習慣病予防活動における学校・家庭・地域連携システム構築のとりくみ—PRECEDE-PROCEED Model に基づいた活動評価— (講演集 p 60, 2003)

第49回東海公衆衛生学会学術大会, 2003.7 (浜松)

藤井千恵, 古田真司, 榊原久孝

小中学生の生活習慣病予防における地域連携システム構築の取り組み (日本公衆衛生雑誌 50(10, 特別附録): 622, 2003)

第62回日本公衆衛生学会総会, 2003.10 (京都)

後藤節子

特別講演「ベトナム女性に対する健康支援」(愛知母性衛生学会誌 21: 4-5, 2003)

第21回愛知県母性衛生学会, 2003.10 (名古屋)

YAMADA Kiyoyasu, MUROHARA Toyooki, HIRAI Makoto

Changes with aging on hemodynamics at rest and cardiovascular response to exercise in postmenopausal women
European Nuclear Medicine Congress, 2003.8 (Amsterdam, The Netherlands)

武藤真広, 山田 功, 村上善正, 岡田太郎, 岡本光弘, 外山淳治, 吉田幸彦, 坪井直哉, 伊藤昭男, 因田恭也, 室原豊明, 平井眞理, 清水 武

ブロック部位が房室結節内であった MobitzII 型房室ブロックの1例 (心電図 23: 526, 2003)

第20回日本心電学会学術集会, 2003.9 (東京)

武藤真広, 山田 功, 村上善正, 岡田太郎, 岡本光弘, 外山淳治, 吉田幸彦, 坪井直哉, 伊藤昭男, 因田恭也, 室原豊明, 平井眞理, 清水 武

左室基部前壁の心外膜起源心室頻拍に対し CARTO mapping 下に心内膜側からの高周波通電が有効であった1例 (心電図 23: 530, 2003)

第20回日本心電学会学術集会, 2003.9 (東京)

原田修治, 因田恭也, 柴田義久, 野田浩範, 高田康信, 野々川 信, 近藤隆久, 野田省二, 平井眞理, 室原豊明
選択的肺静脈ペーシングによる P 波の形態的特徴—ホルター心電図による検討 (心電図 23: 506, 2003)

第20回日本心電学会学術集会, 2003.9 (東京)

山下武志, 小川 聡, 相澤義房, 新 博次, 井上 博, 大江 透, 奥村 謙, 加藤貴雄, 鎌倉史郎, 熊谷浩一郎, 倉

智嘉久, 児玉逸雄, 是恒之宏, 犀川哲典, 桜井正之, 杉 薫, 中谷晴昭, 中山敏夫, **平井眞理**, 深谷真彦, 三田村秀雄

日本における心房細動無作為比較試験 (J-RHYTHM) のデザインと特徴 (心電図 23: 508, 2003)
第20回日本心電学会学術集会, 2003.9 (東京)

TAKESHITA Kyosuke, FUJIMORI Toshihiko, HONJO Haruo, YASUI Kenji, LEE Jong-Hong, KAMIYA Kaichiro, YAMAMOTO Koji, ITO Masafumi, KONDO Takahisa, IINO Shigeo, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, NABESHIMA Yo-ichi, KODAMA Itsuo

Klotho gene expression is essential for the sinoatrial node to function as a dependable pacemaker in jeopardy
Scientific Sessions 2003/American Heart Association, 2003.11 (Orlando, USA)

井口弘子, 片岡秋子

交通事故により外傷後ストレス障害を疑われた1症例に関する考察—Aguiera と Messic の問題解決モデルによる分析—
(日本救急看護学会雑誌 5(1): 132, 2003)
第5回日本救急看護学会学術集会, 2003.11 (京都)

高橋明子, **石黒彩子, 浅野みどり, 三浦清世美**

慢性疾患児家族宿泊施設 (ファミリーハウス) の役割—利用家族の調査から— (講演抄録集 p15, 2003)
第5回日本看護医療学会学術集会, 2003.9 (名古屋)

金山ひとみ, 中谷芳美, 松原 勇, **梶田悦子**, 陳 暁莉, 広田直美, 泉 一郎, 関根道和, 鏡森定信
WHO—QOL に関する地域住民調査の検討—温泉利用の効用に関する交絡因子として— (日本公衆衛生雑誌 50(10), 特別附録): 458, 2003)
第62回日本公衆衛生学会総会, 2003.10 (京都)

松原 勇, 中谷芳美, **梶田悦子**, 関根道和, 金山ひとみ, 鏡森定信
温泉施設利用と健康状況の追跡調査の分析—40歳以上の住民に対する悉皆調査をベースに— (日本公衆衛生雑誌 50(10), 特別附録): 317, 2003)
第62回日本公衆衛生学会総会, 2003.10 (京都)

郷内直子, **梶田悦子, 江藤真紀**, 中谷芳美, 松原 勇, 鏡森定信
地域在住の高齢者における骨折経験と社会参加の関連 (日本公衆衛生雑誌 50(10), 特別附録): 737, 2003)
第62回日本公衆衛生学会総会, 2003.10 (京都)

KAJITA Etsuko, GOUNAI Naoko, ETO Maki, NAKATANI Yoshimi, MATSUBARA Isamu, KAGAMIMORI Sadanobu
The relationship between bone fracture experience and public participation in the elderly inhabitants
International Conference on Progress in Bone Mineral Research, 2003.11 (Vienna, Austria)

KAMIZATO Midori, SHIBUYA Masako, **ANDO Shoko**, **NISHIKAWA Akiko**, **AIHARA Yuko**, **MAEKAWA Atsuko**
Impact of menopausal symptoms on quality of life among breast cancer patients during endocrine therapy.
(Abstract. p 42, 2003)
1st International Conference Japanese Society of Cancer Nursing, 2003.2 (Osaka)

渋谷基子, 田内香織, **神里みどり**

保健指導におけるウエスト値の有用性（講演集 p 103, 2003）
第13回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会, 2003.10（浜松）

神里みどり, 前川厚子, 安藤詳子, 西川晶子, 相原優子, 渋谷優子
炎症性腸疾患患者の医療・保健・福祉ニーズに関する研究（講演集 p 483, 2003）
第23回日本看護科学学会学術集会, 2003.12（津）

勝山貴美子

看護職のインフォームド・コンセントの認識（予稿集 p 20, 2003）
第22回日本医学・哲学倫理大会, 2003.10（富山）

吉川由利子, 前川厚子, 安藤詳子, 神里みどり, 渡邊憲子
在宅におけるストーマケア—在宅療養中のオストメイトにみる年齢と自立度による看護・介護必要度の検討（日本ストーマリハビリテーション学会誌 18:199, 2002）
第20回日本ストーマリハビリテーション学会総会, 2003.2（名古屋）

MAEKAWA Atsuko, ANDO Shoko, KAMIZATO Midori, KADOTA Naomi, KUSUGAMI Kazuo, MENJU Noriko, SHINDO Katsuhisa, TAZAWA Kenji, NAKAZATO Hiroaki

Current status of ostomy patient's follow up services in Japan. (Abstract. p 56, 2003)
7th European Congress for Nurses with Interest in Stomacare, 2003.6（Munich, Germany）

MENJU Noriko, MAEKAWA Atsuko, ANDO Shoko, KAMIZATO Midori, KADOTA Naomi, KUSUGAMI Kazuo, KATAHIRA Kiyohiko, ITO Michiko, SEKI Mihoko, FUJII Kyoko, TAKAZOE Masakazu, KOMATSU Yoshiko
QOL after ostomy and/or pelvic pouch operation in Japanese inflammatory bowel disease patients. (Abstract. p 77, 2003)

7th European Congress for Nurses with Interest in Stomacare, 2003.6（Munich, Germany）

前川厚子, 神里みどり, 安藤詳子, 門田直美, 竹井留美, 伊奈研次, 楠神和男, 後藤秀実, 伊藤美智子, 高添正和, 小松喜子, 渋谷優子, 山崎京子
北海道, 関東, 東海地区在住の中高年 IBD 患者の QOL
第21回名古屋クローン病研究会, 2003.9（名古屋）

竹井留美, 前川厚子, 神里みどり, 安藤詳子, 門田直美, 伊奈研次, 楠神和男, 後藤秀実, 伊藤美智子, 高添正和, 小松喜子, 渋谷優子, 山崎京子
炎症性腸疾患の子どもを持つ親の医療・福祉・生活への視点
第21回名古屋クローン病研究会, 2003.9（名古屋）

三浦清世美, 浅野みどり, 杉浦太一, 石黒彩子

喘息をもつ学童の発達段階による QOL の検討～改良版 JSCA-QOL Ver.2を用いて～（講演集 pp 240-241, 2003）
第13回日本小児看護学会学術集会, 2003.7（幕張）

福田昌也, 北市清幸, 森島恒雄, 長谷川高明
非ステロイド系抗炎症薬の脳移行性に関する基礎的研究
第123回日本薬学会年会, 2003.3（長崎）

小川有紀, 森田せつ子

夫婦の満足度が妊婦の不安に及ぼす影響 (講演抄録集 p 14, 2003)
第21回愛知県母性衛生学会, 2003.5 (名古屋)

大橋幸美, 森田せつ子

母親と父親の対児感情の比較 (講演抄録集 p 17, 2003)
第21回愛知県母性衛生学会, 2003.5 (名古屋)

石見亜紀, 野田明子, 新美佐保, 森下友喜, 森田せつ子, 宮田聖子, 古池保雄
アルコール感受性と少量アルコールの睡眠へ及ぼす影響 (抄録集 p 135, 2003)
第28回日本睡眠学会定期学術集会, 2003.6 (名古屋)

西川晶子, 安藤詳子, 神里みどり, 前川厚子

一般病院における緩和ケア実践に関する医療関係者の認識 (日本がん看護学会誌 17(特別):197, 2003)
第17回日本がん看護学会学術集会, 2003.2 (大阪)

野坂久美子, 相原優子, 森下由美子, 上原江美, 神里みどり, 河津芳子, 榊原久孝, 島岡 清

中年期肥満女性の地域減量教室参加による行動変容の要因 (抄録集 p 10, 2003)
第34回日本看護学会—成人看護 II, 2003.8 (和歌山)

岡山久代, 玉里八重子

0~3歳児を持つ母親の養育意識・行動と父親及び母親の性役割態度との関連性 (日本助産学会誌 16(3):220-221, 2003)
第17回日本助産学会学術集会, 2003.3 (宜野湾)

岡山久代, 玉里八重子, 今井理沙, 南部真紀, 飯田美代子, 宮里和子

産褥早期の褥婦の活動状況と疲労との関連性 (母性衛生 44(3):153, 2003)
第44回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2003.10 (宇都宮)

榊原久孝

手腕振動曝露労働者に対する安全衛生に関する EU 指令
第16回日本産業衛生学会東海地方会振動障害研究会, 2003.3 (名古屋)

榊原久孝, 平田 衛, 前田節雄

振動障害患者の温冷覚閾値検査の検討 (産業衛生学雑誌 45(臨増):541, 2003)
第76回日本産業衛生学会, 2003.4 (山口)

HACHISUKA Tomohiro, SUNAZUKA Ryo, SAKAKIBARA Hisataka

Evaluation of human response to vibration of impact wrench. (Proceedings pp 1-8, 2003)
11th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration, 2003.7 (Asahikawa)

SAKAKIBARA Hisataka, HIRATA Mamoru, MAEDA Setsuo

Thermotactile perception testing for vibration-induced neuropathy in hand-arm vibration syndrome patients.
(Proceedings pp 199-204, 2003)

11th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration, 2003.7 (Asahikawa)

渋谷菜穂子, 水溪雅子

精神科病棟看護師の怒りの経験—他病棟看護師との比較において— (抄録集 pp 20-21, 2003)
第13回日本精神保健看護学会総会・学術集会, 2003.5 (東京)

玉里八重子, 岡山久代

出産後から3年間の夫婦の生活の変容に関する横断的研究 (母性衛生 44(3):195, 2003)
第44回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2003.10 (宇都宮)

橋口 愛, 玉里八重子, 岡山久代

傷つくことに関する青年期の認識について (母性衛生 44(3):180, 2003)
第44回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2003.10 (宇都宮)

渡邊実香, 赤川里美, 岡山久代, 濱松加寸子, 玉里八重子, 森田せつ子

大学教育カリキュラムにおける助産学実習の検討 (第1報) —助産学実習期間の学生の疲労・不安・課題達成の推移—
(日本助産学会誌 16(3):124-125, 2003)
第17回日本助産学会学術集会, 2003.3 (宜野湾)

小松由美, 渡邊実香, 赤川里美, 森田せつ子, 山田久美子, 服部宣子, 加藤由美

帝王切開分娩褥婦における産褥早期の疲労と活動量について—経膈分娩褥婦と比較して— (母性衛生 44(3):153, 2003)
第44回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2003.10 (宇都宮)

ITO Yoshitake, WATANABE Noriko, SATO Tetsuko, TAUCHI Hisashi

Effect of long-term dietary restriction on visceral fat mass and serum lipid levels in male rat. (Abstract. p 78, 2003)
26th Annual Meeting of the Japan Society for Biomedical Gerontology, 2003.6 (Nagoya)

松浦康之, 高田宗樹, 岩瀬 敏, 渡邊順子, 前 直美

連続腹部温巻法が便秘を主訴とする若年女性の胃電図に及ぼす影響 (抄録集 p 76, 2003)
第56回日本自律神経学会, 2003.10 (新潟)

渡邊順子, 高田宗樹, 岩瀬 敏, 傳 埜

下腿虚血後反応性充血に及ぼす微小循環曝露の影響と人工重力負荷の効果
第49回日本宇宙航空環境医学会, 2003.12 (青森)

塩澤友規, 岩瀬 敏, 神谷厚範, 道上大策, 岩崎賢一, 老沼みゆ紀, 山口喜久, 平柳 要, 渡邊順子, 間野忠明, 谷島一嘉

微小重力環境曝露由来の不動性骨粗鬆症への対抗措置—自転車エルゴメータ付き短腕遠心機を用いた間歇的人工重力負荷の有用性 (抄録集 p 200, 2003)
第49回日本宇宙航空環境医学会, 2003.12 (青森)

吉田久美子, 川寄 孝, 小川京子, 森田芳江, 後藤由紀, 梶田悦子

児童虐待防止ネットワーク構築の評価 (日本公衆衛生雑誌 50(10, 特別附録):584, 2003)

第62回日本公衆衛生学会総会，2003.10（京都）

〔公開講座・講演会〕

遠藤淑美

一般看護理論

日本精神科看護技術協会精神科看護実習指導者研修会 I，2003.7（大阪）

江藤真紀

転ばぬ先の知恵

転倒予防講演会，2003.2（常滑）

神里みどり

がん患者の倦怠感のメカニズムとマネジメント（『がん患者の倦怠感のメカニズムとマネジメント』22p，2003）

長崎県看護協会講演会，2003.3（長崎）

神里みどり

がん患者の倦怠感のメカニズムとマネジメント

愛知がんセンター講演会，2003.11（名古屋）

勝山貴美子

情報開示と看護記録

看護協会三河地区講演会，2003.1（刈谷）

勝山貴美子

個人情報保護法と看護記録のあり方

看護協会三河地区講演会，2003.11（豊橋）

勝山貴美子

個人情報保護制度と情報開示—保健師活動記録を考える—

全国保健師長会愛知県支部研修会，2003.12（名古屋）

森田せつ子

里帰り出産の今日的意義

静岡県立看護大学，2003.6（静岡）

森田せつ子

ウイメンズヘルスの現状と課題

金城学院大学，2003.9（名古屋）

森田せつ子

大学における助産師教育の紹介

第1回愛知県母性衛生学会学術セミナー，2003.10（名古屋）

榊原久孝

振動測定評価法

日本医師会認定産業医研修会，2003.2（名古屋）

榊原久孝

振動障害の予防対策

第8回高知振動病研究会，2003.3（高知）

榊原久孝

生活習慣病を通じた健康づくり

豊橋市ヘルスボランティア地域活動講座，2003.7（豊橋）

榊原久孝

生活習慣病について

蛭川村健康セミナー，2003.8（岐阜県蛭川村）

放射線技術科学専攻

〔著書〕

小山修司

第4章 応用計測 1. 診断領域の計測

『放射線計測学（放射線技術学シリーズ）』（西谷源展，山田勝彦，前越久共編）オーム社，2003. pp 110-127

島本佳寿広

臨床編 2 各分野の臨床応用 3. その他の臓器 4. 甲状腺

『超音波造影ガイドブック：わかりやすい基礎知識と臨床応用』（森安史典，別府慎太郎，久直史編集）金原出版，2003. pp 140-144

〔原著論文〕

本間光彦，田伏勝義，小山修司，小幡康範，伴 秀一，波戸芳仁

IP を用いた単色 X 線画像の基礎的検討

医学物理 23(Suppl.3)：120-122, 2003

IMAI Kuniharu

Influence of spherulitic structure in LDPE on tree propagation from a simulated tree channel

SMIT Johan J. (ed): High voltage engineering: proceedings of the 13th International Symposium on High Voltage Engineering, Delft, Netherlands, 25-29th August 2003. Rotterdam: Millpress, 2003. Abstract book, p 408, Full paper in CD-ROM

IMAI Kuniharu

Relationship between surface discharge of Gleitbuschel type in an artificial void and pit formation

2003 annual report: Conference on Electrical Insulation and Dielectric Phenomena, October 19-22, 2003, Hyatt Regency Albuquerque, New Mexico, USA (IEEE publication 03CH37471). Piscataway, N.J.: IEEE Operations Center, c2003. pp 141-144

IMAI Kuniharu

Statistical analysis of electrical breakdown in a micro gap using Weibull distribution and discussion on its processes in high voltage

Proceedings of 2003 Japan-Korea Joint Symposium on Electrical Discharge and High Voltage Engineering (Nov. 6-7, 2003; Nagasaki, Japan). pp 281-285

IMAI Kuniharu

Statistical analysis of pit formation in an artificial void with Weibull distribution

Proceedings of the 7th International Conference on Properties and Applications of Dielectric Materials, June 1-5, 2003, Meitetsu New Grand Hotel, Nagoya, Japan / sponsored by IEEE Dielectrics and Electrical Insulation Society; cosponsored by IEE Japan. Piscataway, N.J.: IEEE Service Center, c2003. v. 1, pp 345-348

新美孝永，今井國治

X 線画像評価におけるクラスタ解析の有用性

Medical Imaging Technology 21 : 75-80, 2003

今井國治

模擬ボイドモデルを用いた微小空隙内のPD劣化・破壊特性

電気学会論文誌 A 123 : 819-820, 2003

新美孝永, **今井國治**

マルコフ連鎖を用いたX線画像の視覚評価法

電子情報通信学会技術報告 103(319) : 45-50, 2003

新美孝永, **今井國治**, 亀谷健一, 日置竹志, 真野晃浩

クラスタ解析を用いた観察者集団の分類とその判定基準

日本放射線技術学会雑誌 59 : 1268-1276, 2003

ITOH Shigeki, IKEDA Mitsuru, ACHIWA Masataka, OTA Toyohiro, SATAKE Hiroko, ISHIGAKI Takeo

Multiphase contrast-enhanced CT of the liver with a multislice CT scanner

Eur Radiol 13 : 1085-1094, 2003

ITOH Shigeki, IKEDA Mitsuru, OTA Toyohiro, SATAKE Hiroko, TAKAI Katufumi, ISHIGAKI Takeo

Assessment of the pancreatic and intrapancreatic bile ducts using 0.5-mm collimation and multiplanar reformatted images in multislice CT

Eur Radiol 13 : 277-285, 2003

KOJIMA Miho, **ITOH Shigeki**, IKEDA Mitsuru, SATAKE Hiroko, **KOYAMA Shuji**, **AOYAMA Takahiko**, WATANABE

Naofumi, ISHIGAKI Takeo

Usefulness of a method for changing tube current during helical scanning in multislice CT

Radiat Med 21(5) : 193-204, 2003

KATO Yosuke, IWASE Mitsunori, **KANAZAWA Hiroaki**, KAWATA Natsuki, YOSHIMORI Yukie, HASHIMOTO

Katsunori, YOKOI Toyoharu, NODA Akiko, TAKAGI Kenzo, KOIKE Yasuo, NISHIZAWA Takao, NISHIMURA

Masahiko, YOKOTA Mitsuhiro

Progressive development of pulmonary hypertension leading to right ventricular hypertrophy assessed by echocardiography in rats

Exp Anim 52 : 285-294, 2003

KATO Yosuke, IWASE Mitsunori, **KANAZAWA Hiroaki**, NISHIZAWA Takao, ZHAO Ying Lan, TAKAGI Kenji,

NAGATA Kohzo, NODA Akiko, KOIKE Yasuo, YOKOTA Mitsuhiro

Validity and application of noninvasive measurement of blood pressure in hamsters

Exp Anim 52 : 359-363, 2003

児玉直樹, 島田哲雄, 歸山智治, 金子智之, **小林嘉雄**, 福本一郎

テクスチャ特徴量によるアルツハイマー型痴呆—客観的診断への応用

Medical Imaging Technology 21 : 41-48, 2003

KOYAMA Shuji, KAWAURA Chiyo, AOYAMA Takahiko

A photodiode x-ray dosimetry system for measuring organ doses delivered by diagnostic radiology
Radiation detectors and their uses: proceedings of the 17th Workshop on Radiation Detectors and Their Uses: January 28-30, 2003, High Energy Accelerator Research Organization (KEK), Tsukuba, Ibaraki, Japan (KEK proceedings 2003-8). Tsukuba: High Energy Accelerator Research Organization (KEK), 2003. pp 57-65

宮原 洋, 成田憲彦, 加藤義親, 池田圭一, 百瀬琢磨, 栗原 治, 林 直美

γ (HPGe) - γ (HPGe) 同時計測法による体内放射能測定
日本原子力学会誌和文論文誌 2(1): 9-13, 2003

OGATA Yoshimune, NISHIZAWA Kunihide

In situ calibration of a low-level, in-line, flow liquid scintillation analyzer
Health Phys 84: 188-196, 2003

SAKUMA Yoichi, OGATA Yoshimune, TSUJI Naruhito, YAMANISHI Hiroki, IIDA Takao

Removal of the impurities from environmental water samples for tritium measurement by liquid scintillation counting
J Radioanal Nucl Chem 255: 325-327, 2003

OGATA Yoshimune, SAKUMA Yoichi, OHTANI Nobuo, KOTAKA Masahiro

Tritium separation from heavy water by electrolysis with solid polymer electrolyte
J Radioanal Nucl Chem 255: 539-541, 2003

佐久間洋一, 飯田孝夫, 小金澤孝之, 緒方良至, 青山隆彦, 鳥養祐二, 田中将裕, 太田雅壽

化学形弁別低レベルトリチウムモニターの開発

Proceedings of the 4th Workshop on Environmental Radioactivity: March 4-6, 2003, KEK, Tsukuba, Japan (KEK proceedings 2003-11). Tsukuba: High Energy Accelerator Research Organization, 2003. pp 335-339

緒方良至, 小金澤孝之, 飯田孝夫, 佐久間洋一, 山西弘城, 垣内正久, 佐竹 洋, 鳥養祐二, 川上貴教, 辻 成人
電解濃縮を用いた環境水中トリチウム濃度測定効率化(2)

Proceedings of the 4th Workshop on Environmental Radioactivity: March 4-6, 2003, KEK, Tsukuba, Japan (KEK proceedings 2003-11). Tsukuba: High Energy Accelerator Research Organization, 2003. pp 326-330

IKEDA Mitsuru, ISHIGAKI Takeo, SHIMAMOTO Kazuhiro, KODERA Yoshie, KOYAMA Shuji, USAMI Hisashi, KATO Katsuhiko

Influence of monitor luminance change on observer performance for detection of abnormalities depicted on chest radiographs
Invest Radiol 38: 57-63, 2003

TABUSHI Katsuyoshi, TAMIYA Tadashi, MARUHASHI Akira, KOYAMA Shuji, HOMMA Mitsuhiko, OBATA Yasunori, SHIMOMURA Kouhei, IKAGAWA Hiroyuki

Visual comparisons between Cherenkov radiation from water and fluorescence from a scintillator
Jpn J Med Phys (Igaku Butsuri) 23: 215-220, 2003

原 孝則, 加藤秀記, 津坂昌利

フラクタル次元解析を用いた 4 Row Multislice Spiral CT における Z 方向のデータ乗換えの複雑性評価
日本放射線技術学会雑誌 59：494-499, 2003

〔総説・解説・その他〕

伊藤茂樹, 石垣武男

充実性腭腫瘍の画像診断

日本医事新報 4132：53-56, 2003

小寺吉衛

デジタル mammography の評価と品質管理

Views Radiology 5(2)：22-26, 2003

小寺吉衛

医療機関における ISO

日本医師会雑誌 129：1617-1619, 2003

小寺吉衛

もっと論文を書こう

日本放射線技術学会雑誌 59：1378-1381, 2003

倉西 誠, 飯山清美, 伊藤 一, 大石茂雄, 大山永昭, **小寺吉衛**, 谷内田益義

放射線検査におけるオーダーリングの実態調査班報告

日本放射線技術学会雑誌 59：360-368, 2003

前越 久, 松本満臣, 池添潤平, 石山 忍, **小寺吉衛**, 富吉 司, 藤田 透, 藤田広志, 堀田勝平, 森 克彦, 土井邦雄

日本放射線技術学会将来構想特別委員会・答申「教育制度変革に伴う本学会の将来ビジョン」

日本放射線技術学会雑誌 59：66-84, 2003

丸橋一夫, 隅田博臣, 角田 明, 船橋逸雄, 遠藤 敦, 三島 章, **小寺吉衛**, 早川吉彦, 大塚昭義

歯牙のデジタル画像表示システム検討

日本放射線技術学会雑誌 59：927-931, 2003

小山修司

CTDI の解説と測定法

Innervision 18(1)：116-119, 2003

小山修司

コンベンショナル CT の線量測定とヘリカル CT への応用

日本放射線技術学会計測分科会誌 11(2)：23-28, 2003

鈴木隆二, 堀田勝平, 朝原正喜, **小山修司**, 真田 茂, 寺田 央, 西谷源展, 石川光雄, 王丸明子, 黒蔵邦夫, 根岸 徹

乳がん検診における画質と被曝線量に関する施設評価検討班報告
日本放射線技術学会雑誌 59：608-612, 2003

西谷源展, 岩波 茂, 加藤二久, 菊池 透, 熊谷道朝, 古賀佑彦, **小山修司**, 前越 久
診断領域 X 線の標準測定検討班報告
日本放射線技術学会雑誌 59：85-88, 2003

小山修司

X 線 CT の線量測定の実際
北陸アンギオ研究会誌 10：1-6, 2003

島本佳寿広

あなたにはどう見えるのか
健康文化振興財団紀要 35：43-46, 2003

島本佳寿広

画像診断最適モニタの条件
新医療 30(9)：111-113, 2003

田伏勝義

緩和される医学物理士認定資格
健康文化振興財団紀要 35：39-42, 2003

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (82)：RSNA2002を支えるネットワーク (1)
臨床放射線 48：202-206, 2003

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (83)：RSNA2002を支えるネットワーク (2)
臨床放射線 48：323-326, 2003

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (84)：PDA の医療への活用
臨床放射線 48：435-438, 2003

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (85)：ネットワーク配線 (Category 6)
臨床放射線 48：560-563, 2003

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (86)：超音波画像の WEB 化
臨床放射線 48：673-676, 2003

江本 豊, 長嶋宏和, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦

インターネット入門 (87) : CyberRad 2003 印象記
臨床放射線 48 : 791-796, 2003

市橋卓司, **津坂昌利**, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (88) : 日医標準レセプトソフトのインストール
臨床放射線 48 : 903-908, 2003

市橋卓司, **津坂昌利**, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (89) : Web とデータベースの連携 (その1)
臨床放射線 48 : 1017-1022, 2003

市橋卓司, **津坂昌利**, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (90) : Web とデータベースの連携 (その2)
臨床放射線 48 : 1133-1137, 2003

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (91) : 情報端末操作 (ペンタッチパネルの作成)
臨床放射線 48 : 1248-1251, 2003

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (92) : 電子ツール
臨床放射線 48 : 1609-1612, 2003

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (93) : 技術を複合したネットワークづくり
臨床放射線 48 : 1717-1721, 2003

〔科研費・班研究等〕

小林邦彦, **金澤寛明**, 河上敬介, 杉浦康夫, 吉尾雅春, 佐藤利夫, 村上 弦, 渡辺 皓, 熊木克治, 後藤保正, 坂井建雄, 田中重徳, 藤井徹也, 鈴木和代, 中野 隆, 磯村源蔵, 野村 巖, 川真田聖一, 島田達生
コ・メディカルのための人体解剖のあり方と健康科学的情報の利用に関する調査研究
平成14年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (1)) 研究成果報告書 1 冊, 2003

金澤寛明, 本間光彦

診療放射線技師に必要とされる人体解剖学 (見学・実習) に関する調査
平成14年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (1)) 研究成果報告書「コ・メディカルのための人体解剖のあり方と健康科学的情報の利用に関する調査研究」 pp 68-74, 2003

〔その他の印刷物等〕

本間光彦

第23回人体解剖トレーニングセミナーに参加して
第23回人体解剖トレーニングセミナー（2003年）報告書 p 46, 2003

MIYAHARA Hiroshi, KATOH Keiji, ICHIKAWA Sin-ichi, TSUKADA Kazuaki, NISHINAKA Ichirou, ASAI Masato, AKIYAMA Kazuhiko
Gamma-ray emission probability measurement of ^{149}Eu
JAERI-Review 2003-028 pp 64-66, 2003

MIYAHARA Hiroshi, KATOH Keiji
Emission probability measurement of 94.7 keV gamma-ray for ^{165}Dy
KURRI Progress Report 2002 p 40, 2003

緒方良至, 佐久間洋一, 大谷暢夫, 小高正敬
固体高分子電解質膜を用いた電気分解によるトリチウムの分離
若狭湾エネルギー研究センター研究成果報告集 pp 42-45, 2003

津坂昌利
情報処理技術系 2. ネットワーク技術
日本医療情報学会医療情報技師平成15年度講習会テキスト（医療情報学会医療情報技師育成事業委員会講習会テキスト編集委員会編）pp 34-69, 2003

〔学会発表〕

青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代, 阿知波正剛
X線CTおよび各種X線医学検査における人体ファントム内線量測定に基づいた臓器および実効線量の評価（講演要旨集 p 33, 2003）
第37回日本保健物理学会研究発表会, 2003.6（幕張）

宮田 学, 井口哲夫, **青山隆彦**, 倉田泰吉, **緒方良至**, **小山修司**, 長谷川涼美, 仁川英紀, **宮原 洋**
治療用ライナックから生じる光中性子による患者被曝線量の測定・評価—人体ファントム内熱中性子分布に基づく光中性子スペクトル及び線量評価—（要旨集 p 83, 2003）
第40回理工学における同位元素・放射線研究発表会, 2003.7（東京）

本間光彦, 金澤寛明
解剖実習前のX線撮影の試み（解剖学雑誌 78(Suppl.) : 300, 2003）
第108回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2003.4（福岡）

霜村康平, **本間光彦**, **田伏勝義**
Imaging Plate (IP) による照射野の確認（予稿集 p 206, 2003）
第59回日本放射線技術学会総会学術大会, 2003.4（横浜）

本間光彦, 黒岡将彦, **小幡康範**, **田伏勝義**, **田宮 正**, **小山修司**, 石垣武男
レーザフィルムデジタイザを用いた線量分布測定法（予稿集 p 199, 2003）

第59回日本放射線技術学会総会学術大会, 2003.4 (横浜)

本間光彦, 田伏勝義, 小山修司, 小幡康範, 伴 秀一, 波戸芳仁

IP を用いた単色 X 線画像の基礎的検討

第86回日本医学物理学会学術大会, 2003.9 (金沢)

西村はるみ, 榎本澄子, 高橋理香子, 三浦あゆみ, **本間光彦, 金澤寛明**

肺野部を考慮したラット型ファントムを用いた吸収線量の測定 (日本放射線技術学会雑誌 59:1045, 2003)

第31回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2003.10 (秋田)

飯田葉子, 津坂昌利

PC を用いた左室計測の試み (学会プログラム講演抄録集 239:99, 2003)

第28回日本超音波検査学会, 2003.5-6 (名古屋)

飯田葉子, 津坂昌利

PC を用いた心エコー B モード画像から M モード画像再構成法の検討 (日本放射線技術学会中部部会誌 6(1):94-95, 2004)

平成15年度日本放射線技術学会中部部会会員研究発表会, 2003.7 (名古屋)

飯田葉子, 津坂昌利

パソコンを活用した心エコー動画の解析とファイリングシステムの試作 (日本放射線技術学会雑誌 59:1042, 2003)

第31回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2003.10 (秋田)

今井國治, 木下幸弘, 木全浩市

模擬ボイドの放電劣化とその内部における放電諸量との相関関係 (講演論文集 p9, 2003)

平成15年電気学会全国大会, 2003.3 (仙台)

新美孝永, **今井國治**, 亀谷健一, 日置竹志, 真野晃浩

X 線画像評価における最適クラスタ化法の選択 (予稿集 p243, 2003)

第59回日本放射線技術学会総会学術大会, 2003.4 (横浜)

新美孝永, **今井國治**

情報理論に基づいた X 線画像評価—マルコフ連鎖を用いた C-D ダイアグラム— (医用画像情報学会雑誌 20:121, 2003)

第136回医用画像情報学会研究会, 2003.5 (岐阜)

IMAI Kuniharu

Statistical analysis of pit formation in an artificial void with Weibull distribution. (Proceedings 1:345-348, 2003)

IEEE 7th International Conference on Properties and Applications of Dielectric Materials, 2003.6 (Nagoya)

新美孝永, **今井國治**

クラスタ解析を用いた X 線画像評価の構築—最適クラスタ化法の選択—

第22回日本医用画像工学会大会, 2003.7 (東京)

IMAI Kuniharu

Influence of spherulitic structure in LDPE on tree propagation from a simulated tree channel. (Proceedings/CD-ROM)
13th International Symposium on High Voltage Engineering, 2003.8 (Delft, The Netherlands)

今井國治, 木下幸弘, 木全浩市

模擬ボイドモデルを用いた微小空隙内の摩耗的 PD 劣化 (講演論文集 p 153, 2003)

平成15年電気学会基礎・材料・共通部門大会, 2003.8 (長岡)

今井國治

微小空隙内における摩耗的部分放電劣化過程 (講演論文集 pp 119-122, 2003)

第27回静電気学会全国大会, 2003.9 (千葉)

新美孝永, 今井國治

マルコフ連鎖を用いた X 線画像の視覚評価法 (電子情報通信学会技術報告 103(319):45-50, 2003)

電子情報通信学会医用画像研究会, 2003.9 (東京)

IMAI Kuniharu

Relationship between surface discharge of Gleitbuschel type in an artificial void and pit formation. (IEEE Publication
03CH37471:141-144, 2003)

IEEE Conference on Electrical Insulation and Dielectric Phenomena, 2003.10 (Albuquerque, USA)

今井國治, 木下幸弘, 木全浩市

模擬ボイドモデルによる微小空隙内の摩耗的 PD 劣化・破壊過程の解析 (講演論文集 p 111, 2003)

平成15年度電気関係学会東海支部連合大会, 2003.10 (名古屋)

IMAI Kuniharu

Statistical analysis of electrical breakdown in a micro gap using Weibull distribution and discussion on its processes in
high voltage. (Proceedings pp 281-285, 2003)

2003 Japan-Korea Joint Symposium on Electrical Discharge and High Voltage Engineering, 2003.11 (Nagasaki)

IMAI Kuniharu, NIIMI Takanaga

Quantitative evaluation of X-ray images on the basis of difference in observer's visual characteristics: grouping of
observer's visual characteristics using cluster analysis method. (Suppl. to Radiology 229 (P):721, 2003)

89th Scientific Assembly and Annual Meeting/Radiological Society of North America (RSNA 2003), 2003.11-12
(Chicago, USA)

鈴木耕次郎, 太田豊裕, 森 芳峰, 川合 恒, 高田 章, 石垣武男, 伊藤茂樹, 高井勝文

下腹壁動脈からの出血に対してコイル塞栓を施行した2症例

第14回日本血管造影・IVR学会中部地方会, 2003.1 (名古屋)

太田豊裕, 鈴木耕次郎, 森 芳峰, 高田 章, 石垣武男, 伊藤茂樹, 丸山邦弘

造影剤によるシリンジ印刷部の影響

第14回日本血管造影・IVR学会中部地方会, 2003.1 (名古屋)

伊藤茂樹

特別報告1 胸部検診用CT撮影マニュアル 各論2：標準撮影条件（胸部CT検診 10(1)：9-10, 2003）
第10回胸部CT検診研究会, 2003.2（東京）

Itoh Shigeki, Ikeda Mituru, Achiwa Masataka, Iwano Shingo, Satake Hiroko, Ota Toyohiro, Ishigaki Takeo

Multiphase contrast-enhanced CT of the liver with a multislice CT scanner: automatic bolus tracking or empiric scan delay. (Eur Radiol 13(Suppl.1) : 366,2003)

15th European Congress of Radiology, 2003.3（Vienna, Austria）

Itoh Shigeki, Ikeda Mituru, Achiwa Masataka, Ota Toyohiro, Satake Hiroko, Ishigaki Takeo

Multiphase contrast-enhanced CT of the liver with a multislice CT scanner: effect of iodine concentration of the contrast material on aortic, portal venous, and hepatic enhancement in patients with chronic hepatic damage. (Eur Radiol 13(Suppl.1) : 360, 2003)

15th European Congress of Radiology, 2003.3（Vienna, Austria）

伊藤茂樹

撮影分科会ワークショップ 胸部CT検診の精度管理 胸部検診用CT撮影マニュアルの解説 標準的な撮影条件
（日本医学放射線技術学会撮影分科会誌 40(1)：31-32, 2003）

第59回日本医学放射線技術学会総会, 2003.4（横浜）

伊藤茂樹, 鈴木耕次郎, 岩野信吾, 佐竹弘子, 太田豊裕, 池田 充, 石垣武男

マルチスライスCTを用いた1mm厚による胆膵領域の3相造影のための検討（日本医学放射線学会雑誌 63：S185, 2003）

第62回日本医学放射線学会学術発表会, 2003.4（横浜）

森 芳峰, 福島洋造, 鈴木耕次郎, 太田豊裕, 石垣武男, 伊藤茂樹, 高井勝文, 丸山邦弘

膵十二指腸動脈瘤破裂に対し、塞栓術を施行した2例

日本血管造影・IVR学会第15回中部／第14回関西合同地方会, 2003.7（奈良）

Iwase Mitsunori, Nishizawa Takao, Nagata Kohzo, Kato Yosuke, Kanazawa Hiroaki, Hashimoto Katsunori, Souma Fuji, Izawa Hideo, Ishiki Ryoji, Yokota Mitsuhiro

Principal cardiac beneficial effects of growth hormone releasing peptides may be independent of growth hormone axis. (Circ J 67(Suppl.1) : 413, 2003)

第67回日本循環器学会学術集会, 2003.3（福岡）

加藤洋介, 岩瀬三紀, 西澤孝夫, 松下亜矢, 趙 瀛蘭, 金澤寛明, 高木健次, 野田明子, 古池保雄, 横田充弘

HCMおよびDCMモデルハムスターの経時的左室機能変化の比較

第76回日本超音波医学会学術集会, 2003.5（札幌）

岩瀬美紀, 金澤寛明, 加藤洋介, 松下亜矢, 野田明子, 古池保雄, 永田浩三, 市原佐保子, 小畑孝二, 井澤英夫, 山田晶, 室原豊明, 横田充弘

成長ホルモン放出ペプチド（GHRP）は、全身および心臓に対する肥大作用を惹起せずに心筋症ハムスターの左室機能障害発症・進展過程を軽減させる

第10回関西不全心研究会, 2003.10 (大阪)

川浦稚代, 青山隆彦, 小山修司, 阿知波正剛

人体ファントムとフォトダイオード線量計による臓器線量測定に基づいた医療被ばく線量評価 (要旨集 p 152, 2003)
第40回理工学における同位元素・放射線研究発表会, 2003.7 (東京)

遠地志太, 川浦稚代, 小林嘉雄

胃粘膜ひだ集中を伴う病変部の新規検出法の検討
第86回日本医学物理学学会学術大会 2003.9 (金沢)

川浦稚代, 青山隆彦, 小山修司, 池田裕子, 鈴木純一, 八木雅美, 森 正樹, 加藤 裕, 松岡祐樹, 奥平訓康, 櫻井順子, 近藤智昭

X線一般撮影検査におけるフォト・ダイオード線量計を用いた被曝線量評価 (日本放射線技術学会雑誌 59:1088, 2003)

第31回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2003.10 (秋田)

高村美穂, 坪井絵美, 法月佐織, 山本香織, 小寺吉衛, 町田佳士

マンモグラフィの画質特性の測定法について (予稿集 p 243, 2003)
第59回日本放射線技術学会総会学術大会, 2003.4 (横浜)

土屋裕一郎, 中村真也, 法橋一生, 大見真智子, 福井 淳, 平田哲生, 四方健一, 西尾孝次, 小寺吉衛

冠動脈動画像におけるバンドパスフィルタを用いた画像処理の検討 (予稿集 p 261, 2003)
第59回日本放射線技術学会総会学術大会, 2003.4 (横浜)

高村美穂, 坪井絵美, 小川宗久, 鈴木里枝, 千原 絢, 堀井亜希子, 小寺吉衛, 島 正光

CR系デジタルマンモグラフィの画質特性について
第136回医用画像情報学会研究会, 2003.5 (岐阜)

土屋裕一郎, 中村真也, 法橋一生, 大見真智子, 福井 淳, 小寺吉衛

冠動脈動画像におけるバンドパスフィルタ処理の検討
第136回医用画像情報学会研究会, 2003.5 (岐阜)

高村美穂, 坪井絵美, 町田佳士, 小川宗久, 島 正光, 鈴木里枝, 小寺吉衛, 千原 絢, 堀井亜希子

両面集光と片面集光のCR系マンモグラフィの物理特性の測定 (抄録集 p 28, 2003)
第22回日本医用画像工学会大会, 2003.7 (東京)

KODERA Yoshie, TAKAMURA Miho, TSUBOI Emi, OGAWA Munehisa, SUZUKI Rie, CHIHARA Aya, HORII Akiko, SHIMA Masamitsu, MACHIDA Yoshihito

Measurement of the physical characteristic of the mammographic CR systems with dual and single side readings
World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2003, 2003.8 (Sydney, Australia)

高村美穂, 坪井絵美, 小川宗久, 鈴木里枝, 千原 絢, 堀井亜希子, 町田佳士, 島 正光, 小寺吉衛

両面集光と片面集光のCR系マンモグラフィの物理特性の測定
第86回日本医学物理学学会学術大会, 2003.9 (金沢)

土屋裕一郎, 中村真也, 法橋一生, 土屋真智子, 福井 淳, 四方健一, 伊藤生也, **小寺吉衛**, 町田佳士
動画像の時系列スペクトロスコピーによる生理動態の分離と解析 (日本放射線技術学会雑誌 59:1080, 2003)
第31回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2003.10 (秋田)

高村美穂, 町田佳士, 島 正光, 坪井絵美, 小川宗久, 鈴木里枝, 千原 絢, 堀井亜希子, **小寺吉衛**
両面集光と片面集光のCR系マンモグラフィの物理特性の測定 (日本放射線技術学会雑誌 59:1102-1103, 2003)
第31回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2003.10 (秋田)

高村美穂, 坪井絵美, 小川宗久, 鈴木里枝, 千原 絢, 堀井亜希子, 町田佳士, 島 正光, **小寺吉衛**
両面集光と片面集光のCR系マンモグラフィの物理特性の測定
第13回日本乳癌検診学会総会, 2003.11 (高崎)

小山修司, 川浦稚代, 青山隆彦

フォトダイオードをX線検出器とした医療外部被ばくによる臓器線量計測システム (要旨論文集 pp19-20, 2003)
第17回「放射線検出器とその応用」研究会, 2003.1 (つくば)

加藤二久, 西谷源展, 熊谷道朝, 岩波 茂, **小山修司**, 菊池 透, 加藤 洋, 前越 久
診断X線用線量計のトレーサビリティ体系 (医学物理 23(Suppl.2):254-256, 2003)
第85回日本医学物理学会学術大会, 2003.4 (横浜)

服部真澄, 小山修司

頭部CT画像を用いた側頭葉内側部の自動計測の検討 (医用画像情報学会雑誌 20:121-122, 2003)
第136回医用画像情報学会研究会, 2003.5 (岐阜)

小山修司

名古屋大学医学部保健学科の校正システム (診断X線の線量標準研究会誌 3(1):5, 2003)
第3回診断X線の線量標準研究会研究発表会, 2003.9 (金沢)

小山修司, 川浦稚代, 青山隆彦, 池田祐子, 鈴木純一, 八木雅美, 阿知波正剛, 近藤智昭
フォト・ダイオード線量計を用いた臓器線量計測システムによるX線CTの被曝線量測定 (日本放射線技術学会雑誌
59:1035, 2003)
第31回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2003.10 (秋田)

KOYAMA Shuji

Radiation dose and optimization. (Program and Abstracts pp6-7, 2003)
3rd International Symposium on Multidetector-row CT, 2003.11 (Tokyo)

小山修司

診断領域線量計校正センターの現状 (日本放射線技術学会中部部会誌 6(1):122-123, 2004)
第38回日本放射線技術学会中部部会, 2003.11 (名古屋)

牛ノ濱中黄美, 大貫敦史, 山本綾乃, 中野 智, **小山修司, 前田尚利**
等壁容積心臓ファントムの作製 (日本放射線技術学会中部部会誌 6(1):184-185, 2004)
第38回日本放射線技術学会中部部会, 2003.11 (名古屋)

前田尚利

QSFP による正常例の検討

第56回日本核医学会中部地方会, 2003.1 (名古屋)

宮原 洋, 緒方良至, 加藤佳志

^{199}Pt の γ 線放出率測定 (要旨集 p 138, 2003)

2003年日本原子力学会春の年会, 2003.3 (佐世保)

MIYAHARA Hiroshi, OGATA Yoshimune, FUJIKI Kazuo, KATOH Keiji, NADA MARNADA

Highly precise measurement of the relative gamma-ray intensities for ^{56}Mn and ^{72}Ga . (Abstract 020, 2003)

14th International Conference on Radionuclide Metrology and its Applications, 2003.6 (Dublin, Ireland)

MIYAHARA Hiroshi, OGATA Yoshimune, ISHIKAWA Naomi, KATOH Keiji, NADA MARNADA

Precise measurement of the emission probability for the 543 keV gamma-ray of ^{199}Pt . (Abstract 019, 2003)

14th International Conference on Radionuclide Metrology and its Applications, 2003.6 (Dublin, Ireland)

森田康祐, 宮原 洋, 緒方良至, 加藤佳志, 石川直臣, NADA MARNADA

^{105}Rh の γ 線放出率測定 (予稿集 p 95, 2003)

2003年日本原子力学会秋の大会, 2003.9 (静岡)

佐久間洋一, 飯田孝夫, 小金澤孝之, 緒方良至, 青山隆彦, 鳥養祐二, 田中将裕, 太田雅壽

化学種弁別低レベルトリチウムモニターの開発 (I) (要旨集 p 197, 2003)

2003年日本原子力学会春の年会, 2003.3 (佐世保)

飯田孝夫, 小金澤孝之, 緒方良至, 佐久間洋一, 山西弘城, 垣内正久, 佐竹 洋, 鳥養祐二, 辻 成人

環境水中トリチウム測定手法の簡素化 (要旨集 p 212, 2003)

2003年日本原子力学会春の年会, 2003.3 (佐世保)

佐久間洋一, 飯田孝夫, 小金澤孝之, 緒方良至, 青山隆彦, 鳥養祐二, 田中将裕, 太田雅壽

化学種弁別低レベルトリチウムモニターの開発 (予稿集 p 19, 2003)

第4回環境放射能研究会, 2003.3 (つくば)

緒方良至, 小金澤孝之, 飯田孝夫, 佐久間洋一, 山西弘城, 垣内正久, 佐竹 洋, 鳥養祐二, 川上貴教, 辻 成人

電解濃縮を用いた環境水中トリチウム濃度測定効率化 (2) (予稿集 p 102, 2003)

第4回環境放射能研究会, 2003.3 (つくば)

小金澤孝之, 飯田孝夫, 緒方良至, 佐久間洋一, 山西弘城, 佐竹 洋, 鳥養祐二, 垣内正久, 辻 成人

環境水中トリチウム測定簡素化 (2) (要旨集 p 78, 2003)

第37回日本保健物理学会研究発表会, 2003.6 (千葉)

佐久間洋一, 小金澤孝之, 飯田孝夫, 緒方良至, 青山隆彦, 太田雅壽, 鳥養祐二, 田中将裕

大気中低レベルトリチウムモニターの開発 (要旨集 p 77, 2003)

第37回日本保健物理学会研究発表会, 2003.6 (千葉)

緒方良至, 榊原里枝, 青山隆彦, 宮原 洋, 佐久間洋一, 大谷暢夫

トリチウム水の電解による水素ガス中のトリチウム濃度測定用通気式比例計数管の試作 (要旨集 p 161, 2003)
第40回理工学における同位元素・放射線研究発表会, 2003.7 (東京)

SAKUMA Yoichi, YAMANISHI Hiroki, **OGATA Yoshimune**, IIDA Takao, TUJI Naruhito, KAKIUCHI Masahisa, TORIKAI Yuji, KAWAKAMI Takanori, SATAKE Hiroshi

A simplified method for low-level tritium measurement in the environmental water samples. (Proceedings pp 402-405, 2003)

2003 International Symposium on Radioecology and Environmental Dosimetry, 2003.10 (Rokkasho, Aomori)

佐久間洋一, 小金澤孝之, 飯田孝夫, 緒方良至, 青山隆彦, 鳥養祐二, 田中将裕, 太田雅壽, 高見実智己

大気中トリチウムモニターの開発 (要旨集 p 148, 2003)

2003年日本放射化学会年会, 2003.10 (泉佐野)

SHIMAMOTO Kazuhiro, ENDO Tokiko, IKEDA Mitsuru, UENO Ei, KONISHI Yutaka, KUBOTA Mitsuhiro, YASUDA Hidemitsu, TSUNODA Hiroko, WATANABE Takanori

Inter- and intra-observer agreement in sonographic diagnosis of breast tumor. (Abstract. p 409, 2003)

15th European Congress of Radiology, 2003.2 (Vienna, Austria)

SAWAKI Akiko, SATAKE Hiroko, **SHIMAMOTO Kazuhiro**, ISHIGAKI Satoko, ISHIGAKI Takeo

Microcalcifications of non-palpable breast lesions: mammographic and ultrasonographic correlation. (Abstract. p 409, 2003)

15th European Congress of Radiology, 2003.2 (Vienna, Austria)

石垣聡子, 佐竹弘子, 澤木明子, **島本佳寿広**, 野口由美子, 窪田智行, 小田高司, 林 孝子, 今井常夫, 舟橋啓臣, 石垣武男

異常乳頭分泌症例の画像診断: CT ductography の有用性

第12回日本乳癌画像研究会, 2003.2 (神戸)

佐竹弘子, 澤木明子, **島本佳寿広**, 石垣聡子, 野口由美子, 窪田智行, 小田高司, 林 孝子, 今井常夫, 舟橋啓臣, 石垣武男

乳腺の非触知石灰化病変における MSCT の有用性

第12回日本乳癌画像研究会, 2003.2 (神戸)

澤木明子, 佐竹弘子, 石垣聡子, 石垣武男, **島本佳寿広**

非触知石灰化病変におけるマンモグラフィと超音波所見の対比

第12回日本乳癌画像研究会, 2003.2 (神戸)

島本佳寿広

腫瘍像形成性病変の超音波診断における観察者間の一貫性の解析

第5回名古屋放射線研究セミナー, 2003.4 (名古屋)

佐竹弘子, 澤木明子, **島本佳寿広**, 石垣聡子, 石垣武男

乳腺の非触知石灰化病変における MDCT の有用性: MMG 所見との比較 (日本医学放射線学会雑誌 63: S

146, 2003)

第62回日本医学放射線学会学術発表会, 2003.4 (横浜)

島本佳寿広

新しい乳腺超音波診断基準

第19回日本超音波医学会中部地方会, 2003.7 (多治見)

五十川裕之, 田伏勝義, 田宮 正, 丸橋 晃, 小山修司, 本間光彦, 小幡康範

チェレンコフ光と蛍光の比較 (医学物理 23(Suppl.2) : 232-234, 2003)

第85回日本医学物理学会学術大会, 2003.4 (横浜)

西尾禎治, 新保宗史, 小高喜久雄, 中村 譲, 内山幸男, 川越康充, 西台武弘, 鬼塚昌彦, 速水昭宗, 榎戸義浩, 佐々木潤一, 佐方周防, 福村明史, 大山正哉, 荒木不次男, 田伏勝義, 遠藤真広, 石倉 聡, 池田 恢

メディカルフロンティア・放射線治療計画 QA の活動状況 (報文集 pp 27-28, 2003)

第85回日本医学物理学会学術大会, 2003.4 (横浜)

新保宗史, 西尾禎治, 大山正哉, 小高喜久雄, 中村 譲, 榎戸義浩, 内山幸男, 川越康充, 西台武弘, 佐々木潤一, 鬼塚昌彦, 福村明史, 佐方周防, 速水昭宗, 田伏勝義, 遠藤真広, 池田 恢

訪問による線量調査の状況報告 (報文集 pp 23-24, 2003)

第85回日本医学物理学会学術大会, 2003.4 (横浜)

新保宗史, 西尾禎治, 大山正哉, 小高喜久雄, 中村 譲, 榎戸義浩, 内山幸男, 川越康充, 西台武弘, 佐々木潤一, 鬼塚昌彦, 福村明史, 佐方周防, 速水昭宗, 田伏勝義, 石倉 聡, 遠藤真広, 池田 恢

郵送による線量調査の状況報告 (報文集 pp 25-26, 2003)

第85回日本医学物理学会学術大会, 2003.4 (横浜)

TABUSHI Katsuyoshi, IKAGAWA Hiroyuki, SHIMOMURA Kouhei, HOMMA Mitsuhiko, KOYAMA Shuji, TAMIYA Tadaashi, OBATA Yasunori, MARUHASHI Akira

Comparisons of Cherenkov and scintillation light using a Co-60 teletherapy unit. (Abstract/CD-ROM)

World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2003, 2003.8 (Sydney, Australia)

佐方周防, 中村 譲, 田伏勝義, 高岡祥郎, 石居隆義, 佐藤弘史, 佐藤真一郎, 中野隆史, 辻井博彦

東アジアにおける子宮頸癌治療装置の QA/QC の現地調査 (報文集 pp 133-136, 2003)

第86回日本医学物理学会学術大会, 2003.9 (金沢)

秋田経理, 田宮 正, 田伏勝義, 津坂昌利, 小山修司

患者からの散乱線の評価 (日本放射線技術学会雑誌 59 : 1086, 2003)

第31回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2003.10 (秋田)

津坂昌利

インターネットと VPN 技術を用いた遠隔医療への応用 (プログラム・抄録集 p 115, 2003)

第26回日本脳神経 CI 学会総会シンポジウム, 2003.2 (名古屋)

駒田友美, 津坂昌利

HP-Ge 半導体検出器による X 線 CT 装置の一次 X 線スペクトルの解析 (予稿集 p 169, 2003)
第59回日本放射線技術学会総会学術大会, 2003.4 (横浜)

津坂昌利, 長嶋宏和, **飯田葉子**, 野上真子

VPN を応用した 3D 作成サーバの遠隔医療への応用 (予稿集 p 292, 2003)
第59回日本放射線技術学会総会学術大会, 2003.4 (横浜)

野上真子, **津坂昌利**, 伊藤英樹, 瀬田直紀, 山中隆之

透析を中心とした臨床工学技士のための Web 版電子教科書の試作 (抄録集 p 606, 2003)
第42回日本 ME 学会大会, 2003.5 (札幌)

野上真子, **津坂昌利**, 伊藤英樹, 瀬田直紀, 山中隆之

透析を中心とした臨床工学技士のための Web 版電子教科書の試作 (抄録 p 1035, 2003)
第48回日本透析医学会学術集会・総会, 2003.5 (大阪)

村井 誠, **津坂昌利**

リユースによる学生用パソコン環境の整備 (日本放射線技術学会中部部会誌 6(1):96-97, 2004)
平成15年度日本放射線技術学会中部部会会員研究発表会, 2003.7 (名古屋)

高橋康方, 丹羽正厳, **津坂昌利**

冠状動脈対応インジェクターの造影効果の検討 (日本放射線技術学会中部部会誌 6(1):90-91, 2004)
平成15年度日本放射線技術学会中部部会会員研究発表会, 2003.7 (名古屋)

TSUZAKA Masatoshi, KOMADA Tomomi, **KOYAMA Shuji**, HARA Takeshi, FUJITA Hiroshi, **IIDA Yoko**

X-ray spectrum evaluation of x-ray CT using germanium semiconductor detector. (Suppl. to Radiology 229(P):714, 2003)

89th Scientific Assembly and Annual Meeting / Radiological Society of North America (RSNA 2003), 2003.11
(Chicago, USA)

高橋康方, **津坂昌利**, 丹羽正厳, 辻岡勝美

16DAS X 線 CT 画像における Time Sensitivity Profile (TSP) の変化と画像への効果 (モーションアーチファクト低減効果の検討) (日本放射線技術学会中部部会誌 6(1):148-149, 2004)
第38回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2003.11 (名古屋)

駒田友美, **津坂昌利**, 小山修司, 加藤秀起, 阿知波正剛, 近藤智昭

HP-Ge 半導体検出器を用いた CT 装置の一次 X 線スペクトルの検討—スペクトルから実効エネルギーの算出について— (日本放射線技術学会中部部会誌 6(1):126-127, 2004)
第38回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2003.11 (名古屋)

[公開講座・講演会]

青山隆彦, 小山修司

中学生のための放射線セミナー 京都市立西ノ京中学校

日本原子力文化振興財団「中学生のための放射線セミナー」, 2003.1 (京都)

青山隆彦, 小山修司

中学生のための放射線セミナー 津島市立神守中学校

日本原子力文化振興財団「中学生のための放射線セミナー」, 2003.10 (津島)

青山隆彦

高校生のための放射線実習セミナー 静岡県立韮山高等学校

日本原子力文化振興財団「第611回高校生のための放射線実習セミナー」, 2003.12 (静岡県韮山町)

本間光彦

緊急被ばく医療 心理系

放射線管理士認定講習会, 2003.11 (名古屋)

小寺吉衛

画像評価について

第86回日本医学物理学会大会シンポジウム「医学物理は医療の精度と信頼性を高める—大学院教育に期待—」, 2003.9 (金沢)

小寺吉衛

医療情報学

日本放射線技術学会学術講演会, 2003.12 (名古屋)

小山修司

CT装置の被曝線量測定

北陸アンギオ研究会「医療被ばく測定セミナー」, 2003.2 (金沢)

小山修司

コンベンショナルCTの線量測定とヘリカルCTへの応用 (計測分科会誌 11(1):4-5, 2003)

第21回日本放射線技術学会計測分科会, 2003.4 (横浜)

小山修司

被曝線量把握の重要性と医療現場に即した測定法

平成15年度国立病院療養所東海北陸地区放射線技師会研修会, 2003.6 (名古屋)

小山修司

放射線被ばく防護

日本放射線技師会「放射線管理士・放射線関連機器管理責任者」認定講習会, 2003.8 (名古屋)

小山修司

医療被ばくの低減

日本放射線技師会「放射線管理士・放射線関連機器管理責任者」認定講習会, 2003.9 (吹田)

小山修司

被ばく線量測定の実状と問題点（北九州勉強会誌 pp 1-5, 2003）
北九州 CT 勉強会, 2003.9（北九州）

小山修司

放射線のはなし

日本原子力文化振興財団・中学生のための放射線教室（津島市立神守中学校），2003.10（津島）

小山修司

放射線のはなし

日本原子力文化振興財団・中学生のための放射線教室（田原市立田原中学校），2003.11（田原）

小山修司, 川浦稚代, 青山隆彦

半導体検出器と人体ファントムによる臓器線量計測システム（『標準的放射線技術』 pp 2-10, 2003）

平成15年度第2回愛知県放射線技師会研修会, 2003.12（名古屋）

宮原 洋

エックス線の管理

エックス線作業主任者勉強会講習会, 2003.2（名古屋）

宮原 洋

放射線と RI の安全取扱の基礎

平成15年度放射線業務従事者教育訓練講習会, 2003.5（名古屋）

宮原 洋

エックス線の管理

エックス線作業主任者勉強会講習会, 2003.6（名古屋）

宮原 洋

放射線防護の基礎

名古屋市消防局消防・救助隊員に対する放射線防護基礎講習会, 2003.7（名古屋）

宮原 洋

放射線と放射能

平成15年度エネルギー・環境研究会, 2003.10（名古屋）

宮原 洋

名古屋大学医学部保健学科放射線技術科学専攻とは

中部原子力懇談会放射線専門部会, 2003.11（名古屋）

緒方良至

放射線管理技術

平成15年度第2種放射線取扱主任者受験講習会, 2003.5（名古屋）

緒方良至

霧箱の作製と放射線の測定

21世紀の環境・エネルギー問題と教育, 2003.8 (津)

緒方良至

放射線計測学

放射線作業主任者講習会, 2003.10 (名古屋)

田伏勝義

子宮頸癌腔内照射の最適化プログラムについて

第3回埼玉県放射線腫瘍研究会, 2003.9 (大宮)

津坂昌利

マイクロソフト Windows を安全に使うには

名古屋大学医学部情報セキュリティ委員会主催講習会, 2003.9 (名古屋)

津坂昌利

マイクロソフト Windows を安全に使うには (セキュリティ対策について) (ビーム中部 2003(3):6, 2003)

第38回日本放射線技術学会中部部会学術大会モーニングセミナー, 2003.11 (名古屋)

検査技術科学専攻

〔著書〕

橋本克訓

シュミンケ腫瘍

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1141

橋本克訓

骨形成性気管症

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 868

橋本克訓

嗜銀細胞腫

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1013

岩瀬三紀

小動物の心エコー検査

『基礎と臨床のための動物の心電図・心エコー・血圧・病理学検査』（菅野茂，局博一，中田義禮編）アドスリー，2003. pp 107-118

北市清幸，長谷川高明

カルシウムアンタゴニストに一律にグレープフルーツの服用注意としてはいけない

『先生！ちょっと待って！日常診療で陥りやすい落とし穴（治療；Vol.85 3月増刊号）』（白浜雅司 [ほか] 編集）南山堂，2003. pp 667-671

古池保雄

シャイ

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. pp 1086-1087

古池保雄

シャイ・ドレガー症候群

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1087

古池保雄

ミオクロースス単収縮

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. pp 2354-2355

古池保雄

ミオリスミア

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2355

古池保雄

自律神経不全症

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1213

古池保雄

多系統萎縮症

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1558

古池保雄

反射性交感神経性ジストロフィー

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2007

古池保雄

複合活動電位

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2131

小嶋哲人

コトロンボプラスチン

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 886

小嶋哲人

トロンボキナーゼ

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1862

小嶋哲人

フィッツジェラルド因子欠乏症

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2110

小嶋哲人

プレカリクレイン

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2182

小嶋哲人

プロテイン Z

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2192

小嶋哲人

プロトロンビナーゼ

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2193

小嶋哲人

プロトロンビン

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2193

小嶋哲人

ヘパリンコファクター II

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2228

小嶋哲人

ループスアンチコアグラント

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 2564

小嶋哲人

活性化第 XII 因子

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 394

小嶋哲人

高分子キニノゲン

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 834

小嶋哲人

先天性プレカリクレイン欠乏症

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1448

小嶋哲人

線維素溶解性紫斑病

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1420

小嶋哲人

第 XI 因子阻害物質

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1526

小嶋哲人

第 XII 因子

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1526

小嶋哲人

第 XII 因子フラグメント

『医学書院医学大辞典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003. p 1526

倉科正徳

各論 第 6 章 泌尿・生殖器 C 男性生殖器，D 女性生殖器，E 乳腺

『病理学 第 2 版（Standard textbook；標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野）』（梶原博毅編）医学書院，2003. pp 205-210

長瀬文彦

1 総論 B. 抗原および抗原抗体反応

『免疫検査学 第 3 版（臨床検査技術学；13）』（折笠道昭編集；折笠道昭 [ほか] 執筆）医学書院，2003. pp 7-13

長瀬文彦

1 総論 C. 抗体—免疫グロブリン

『免疫検査学 第 3 版（臨床検査技術学；13）』（折笠道昭編集；折笠道昭 [ほか] 執筆）医学書院，2003. pp 13-27

長瀬文彦

1 総論 D. 補体

『免疫検査学 第3版 (臨床検査技術学; 13)』(折笠道昭編集; 折笠道昭 [ほか] 執筆) 医学書院, 2003. pp 27-35

長瀬文彦

1 総論 F. 免疫関与細胞—免疫の細胞的基礎

『免疫検査学 第3版 (臨床検査技術学; 13)』(折笠道昭編集; 折笠道昭 [ほか] 執筆) 医学書院, 2003. pp 62-80

長瀬文彦

1 総論 I. 免疫応答とその調節 (細胞間相互作用)

『免疫検査学 第3版 (臨床検査技術学; 13)』(折笠道昭編集; 折笠道昭 [ほか] 執筆) 医学書院, 2003. pp 102-118

長瀬文彦

1 総論 J. 免疫寛容

『免疫検査学 第3版 (臨床検査技術学; 13)』(折笠道昭編集; 折笠道昭 [ほか] 執筆) 医学書院, 2003. pp 118-123

長瀬文彦

2 各論 C. 免疫不全症

『免疫検査学 第3版 (臨床検査技術学; 13)』(折笠道昭編集; 折笠道昭 [ほか] 執筆) 医学書院, 2003. pp 151-158

長瀬文彦

2 各論 F. 加齢と免疫機構

『免疫検査学 第3版 (臨床検査技術学; 13)』(折笠道昭編集; 折笠道昭 [ほか] 執筆) 医学書院, 2003. pp 172-175

長瀬文彦

2 総論 G. 腫瘍免疫

『免疫検査学 第3版 (臨床検査技術学; 13)』(折笠道昭編集; 折笠道昭 [ほか] 執筆) 医学書院, 2003. pp 175-182

長瀬文彦

4 実習編 E. 中和反応

『免疫検査学 第3版 (臨床検査技術学; 13)』(折笠道昭編集; 折笠道昭 [ほか] 執筆) 医学書院, 2003. pp 284-287

馬場研二, 高木健三

気管支拡張薬 (2) テオフィリン薬

『喘息・アレルギー・リウマチ疾患治療薬ハンドブック』(森田寛 [ほか] 編集) メディカルレビュー社, 2003.
pp 201-221

横井豊治

異型腺腫様過形成, 他 計15項目

『医学書院医学大辞典』(伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨総編集) 医学書院, 2003

横井豊治, 平林紀男

GVHD と気道・肺病変

『呼吸器疾患: state of arts 2003-2005 (別冊・医学のあゆみ)』(北村論, 福地義之助, 石井芳樹編集) 医歯薬出

版, 2003. pp 670-672

〔原著論文〕

SUZUKI Haruhiko, WU Jianghong, HOSSAIN Khaled, OHHATA Tatsuya, **DU Jun**, AKHAND Anwarul A., HAYAKAWA Akemi, KIMURA Hiroshi, HAGIWARA Masatoshi, NAKASHIMA Izumi
Involvement of MKK6 in TCR $\alpha\beta$ ^{int}CD69^{lo}: a target population for apoptotic cell death in thymocytes
FASEB J 17 : 1538-1540, 2003

HOSSAIN Khaled, AKHAND Anwarul A., KAWAMOTO Yoshiyuki, **DU Jun**, TAKEDA Kozue, WU Jianghong, YOSHIHARA Motoi, TSUBOI Hideo, KATO Masashi, SUZUKI Haruhiko, NAKASHIMA Izumi
Caspase activation is accelerated by the inhibition of arsenite-induced, membrane rafts-dependent Akt activation
Free Radic Biol Med 34 : 598-606, 2003

DU Jun, CAI Shaohui, SUZUKI Haruhiko, AKHAND Anwarul A., MA Xiuyang, TAKAGI Yoshikazu, MIYATA Toshio, NAKASHIMA Izumi, **NAGASE Fumihiko**
Involvement of MEKK1/ERK/P21^{Waf1/Cip1} signal transduction pathway in inhibition of IGF-I-mediated cell growth response by methylglyoxal
J Cell Biochem 88 : 1235-1246, 2003

UMEDA Hisashi, **IWASE Mitsunori**, IZAWA Hideo, NISHIZAWA Takao, NONOKAWA Makoto, ISOBE Satoshi, **NODA Akiko**, NAGATA Kohzo, ISHIHARA Hitoshi, YOKOTA Mitsuhiro
Biphasic relaxation-frequency relations in patients with effort angina pectoris: a new marker of myocardial demand ischemia
Am Heart J 146 : 75-83, 2003

IZAWA Hideo, **IWASE Mitsunori**, TAKEICHI Yasushi, SOMURA Fuji, NAGATA Kohzo, NISHIZAWA Takao, **NODA Akiko**, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
Effect of nicorandil on left ventricular end-diastolic pressure during exercise in patients with hypertrophic cardiomyopathy
Eur Heart J 24 : 1340-1348, 2003

KATO Yosuke, **IWASE Mitsunori**, KANAZAWA Hiroaki, KAWATA Natsuki, YOSHIMORI Yukie, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI Toyoharu**, **NODA Akiko**, **TAKAGI Kenzo**, **KOIKE Yasuo**, NISHIZAWA Takao, NISHIMURA Masahiko, YOKOTA Mitsuhiro
Progressive development of pulmonary hypertension leading to right ventricular hypertrophy assessed by echocardiography in rats
Exp Anim 52 : 285-294, 2003

KATO Yosuke, **IWASE Mitsunori**, KANAZAWA Hiroaki, NISHIZAWA Takao, ZHAO Ying Lan, **TAKAGI Kenji**, NAGATA Kohzo, **NODA Akiko**, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro
Validity and application of noninvasive measurement of blood pressure in hamsters
Exp Anim 52 : 359-363, 2003

NAGATA Kohzo, OBATA Koji, ODASHIMA Mari, YAMADA Akira, SOMURA Fuji, NISHIZAWA Takao, ICHIHARA Sahoko, IZAWA Hideo, **IWASE Mitsunori**, HAYAKAWA Akemi, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro

Nicorandil inhibits oxidative stress-induced apoptosis in cardiac myocytes through activation of mitochondrial ATP-sensitive potassium channels and a nitrate-like effect

J Mol Cell Cardiol 35 : 1505-1512, 2003

梅田久視, 岩瀬三紀, 井澤英夫, 永田浩三, 室原豊明, 横田充弘

労作性狭心症における頻度依存性心筋弛緩特性の二相性変化 心筋虚血の新しいマーカー

心臓 35(Suppl.2) : 33-35, 2003

MATSUSHIMA Miyoko, **KITAICHI Kiyoyuki**, **TATSUMI Yasuaki**, **HASEGAWA Takaaki**, **TAKAGI Kenzo**

The expression of mRNA for calcitonin receptor-like receptor/receptor-activity modifying proteins in rat peritoneal mast cells

Eur J Pharmacol 464 : 111-114, 2003

KITAICHI kiyoyuki, MORISHITA yuki, DOI yuko, UHEYAMA jun, MATSUSHIMA miyoko, ZHAO Ying-Lan, **TAKAGI Kenzo**, **HASEGAWA Takaaki**

Increased plasma concentration and brain penetration of methamphetamine in behaviorally sensitized rats

Eur J Pharmacol 464 : 39-48, 2003

UEYAMA Jun, **KITAICHI Kiyoyuki**, **IWASE Mitsunori**, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, **HASEGAWA Takaaki**

Application of ultrafiltration method to measurement of catecholamines in plasma of human and rodents by high-performance liquid chromatography

J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci 798 : 35-41, 2003

KOBAYASHI Rei, **KOIKE Yasuo**, HIRAYAMA Masaaki, ITO Hiroki, SOBUE Gen

Skin sympathetic nerve function during sleep — a study with effector responses

Auton Neurosci 103 : 121-126, 2003

HAMADA Kensuke, HIRAYAMA Masaaki, WATANABE Hirohisa, KOBAYASHI Rei, ITO Hiroki, IEDA Toshiaki, **KOIKE Yasuo**, SOBUE Gen

Onset age and severity of motor impairment are associated with reduction of myocardial ¹²³I-MIBG uptake in Parkinson's disease

J Neurol Neurosurg Psychiatry 74 : 423-426, 2003

HIRAYAMA Masaaki, FUKATSU Hiroshi, WATANABE Hirohisa, **KOIKE Yasuo**, **NODA Akiko**, ITO Hiroki, KOBAYASHI Rei, SOBUE Gen

Sequential constriction of upper airway and vocal cords in sleep apnoea of multiple system atrophy: low field magnetic resonance fluoroscopic study

J Neurol Neurosurg Psychiatry 74 : 642-645, 2003

平山正昭, 古池保雄

呼吸と自律神経 Shy-Drager 症候群における睡眠時呼吸障害

自律神経 40 : 269-274, 2003

長谷川康博, 新美由紀, 高城 晋, **古池保雄**, 高橋 昭

Probable DLB における食事性低血圧・起立性低血圧

自律神経 40 : 367-373, 2003

馬淵直紀, 平山正昭, **古池保雄**, 渡辺宏久, 伊藤宏樹, 祖父江 元

Pure Autonomic Failure (PAF) の臨床所見

自律神経 40 : 449-454, 2003

NAKADE Yusuke, BANNO Yoshiko, T-KOIZUMI Keiko, HAGIWARA Kazumi, SOBUE Sayaka, KODA Masahiro, SUZUKI Motoshi, **KOJIMA Tetsuhito**, **TAKAGI Akira**, ASANO Haruhiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

Regulation of sphingosine kinase 1 gene expression by protein kinase C in a human leukemia cell line, MEG-O1

Biochim Biophys Acta 1635 : 104-116, 2003

KUNISHIMA Shinji, **KOJIMA Tetsuhito**, INOUE Chikako, KAMIYA Tadashi, SAITO Hidehiko

GATA-1 transcription factor is mutated in CMK megakaryoblastic cell line

Br J Haematol 120 : 542-543, 2003

KUNISHIMA Shinji, MATSUSHITA Tadashi, **KOJIMA Tetsuhito**, SAKO Masahiro, KIMURA Fumihiko, JO Eun-Kyeong, INOUE Chikako, KAMIYA Tadashi, SAITO Hidehiko

Immunofluorescence analysis of neutrophil nonmuscle myosin heavy chain-A in MYH9 disorders: association of subcellular localization with MYH9 mutations

Lab Invest 83 : 115-122, 2003

FURUTA Miho, NOZAWA Katsura, TAKEMURA Masaharu, IZUTA Shuji, **MURATE Takashi**, TSUCHIYA Masayuki, YOSHIDA Kenji, TAKA Naoki, NIMURA Yuji, YOSHIDA Shonen

A novel platinum compound inhibits telomerase activity in vitro and reduces telomere length in a human hepatoma cell line

Int J Cancer 104 : 709-715, 2003

LIMSIRICHAIKUL Siripan, OGAWA Masanori, NIIMI Atsuko, IWAI Shigenori, **MURATE Takashi**, YOSHIDA Shonen, SUZUKI Motoshi

The Gly-952 residue of *Saccharomyces cerevisiae* DNA polymerase α is important in discriminating correct deoxyribonucleotides from incorrect ones

J Biol Chem 278 : 19079-19086, 2003

AOKI Etsuko, OHASHI Haruhiko, UCHIDA Toshiki, **MURATE Takashi**, SAITO Hidehiko, KINOSHITA Tomohiro

Expression levels of DNA methyltransferase genes do not correlate with *p15^{INK4B}* gene methylation in myelodysplastic syndromes

Leukemia 17 : 1903-1904, 2003

KATO Tomoko, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, NISHIZAWA Takao, SOMURA Fuji, YAMADA Akira, NAGATA Kohzo, **IWASE Mitsunori**, NAKAO Akimasa, YOKOTA Mitsuhiro

Myocardial velocity gradient as a noninvasively determined index of left ventricular diastolic dysfunction in patients with hypertrophic cardiomyopathy
J Am Coll Cardiol 42 : 278-285, 2003

NAKATA Seiichi, **NODA Akiko**, YANAGI Eriko, SUZUKI Keisuke, MISAWA Hayato, NAKASHIMA Tutomu
Results of tonsillectomy for obstructive sleep apnea syndrome in adults with tonsillar hypertrophy
YAMANAKA N. et al. (eds): Current topics on tonsils and mucosal barriers of upper airways: proceedings of the 5th International Symposium on Tonsils and Mucosal Barriers of Upper Airways held in Wakayama between 9-11 April 2003 (International congress series. no. 1257). Amsterdam; San Diego: Elsevier, 2003. pp 95-98

井澤英夫, 曾村富士, 山田 晶, 永田浩三, 西澤孝夫, 武市康志, 梅田久視, 磯部 智, 野々川 信, 因田恭也, 近藤隆久, **野田明子**, **岩瀬三紀**, 室原豊明, 横田充弘
肥大心における収縮予備能の破綻と分子機序
心臓 35(Suppl. 2) : 58-60, 2003

KANEMOTO Isamu, MASUMOTO Tomonari, YOKOYAMA Hiromi, NODA Mituhiro, **SHIBATA Eiji**, ICHIHARA Gaku, TAKASE Katsuaki, OGASAWARA Shigeo
The effects of ether anesthesia for surface-induced hypothermia on cardiopulmonary function in the dog
Jpn J Vet Anesth Surg (Jui Masui Gekagaku Zasshi) 34(3) : 43-54, 2003

TSUKAHARA Akiko, YAMADA Takayuki, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, MATSUSHITA Tadashi, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**
Compound heterozygosity for two novel mutations in a severe factor XI deficiency
Am J Hematol 73 : 279-284, 2003

YAMADA Takayuki, **TAKAGI Akira**, TAKESHITA Kyosuke, YAMAMOTO Koji, ITO Masafumi, MATSUSHITA Tadashi, **MURATE Takashi**, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**
Enzyme immunoassay for measurement of murine plasminogen activator inhibitor-1, employing a specific antibody produced by the DNA vaccine method
Thromb Res 111 : 285-291, 2003

〔総説・解説・その他〕

後藤葉一, **岩瀬三紀**
シンポジウム「循環器負荷試験における病態解明と治療効果予測」総合討論
心臓 35(Suppl. 2) : 65-72, 2003

小西得司, **岩瀬三紀**, 柳田正光, 永田浩三, **小嶋哲人**, 乳原善文, 大手信之, 松本義也, 池田修一, 伊藤雅文
第99回日本内科学会講演会における「内科専門医によるCPC」—原因不明の出血を初発症状とし, 心症状が進行性に出現し死亡した71歳男性—
内科専門医会誌 15 : 9-47, 2003

岩瀬三紀, 加藤洋介, 横田充弘

小動物の心エコー検査法

日本血栓止血学会誌 14：270-276, 2003

古池保雄, 伊藤宏樹

神経疾患と睡眠時低血圧

神経内科 58：382-387, 2003

小嶋哲人

DIC の治療・アンチトロンビン濃縮製剤とヘパリンおよびヘパリン類似物質

医学のあゆみ 206：87-91, 2003

小嶋哲人

DIC：病態解明と治療の最前線 [7] —電撃性紫斑病

医薬の門 43：85-88, 2003

野田明子

睡眠時無呼吸症候群における在宅医療の重要性

Home Care Medicine 4 (10)：31, 2003

上島通浩, 柴田英治

臨床医のための「有機溶剤中毒」 ①典型的な中毒の病像・病態

日本醫事新報 4139：33-36, 2003

上島通浩, 柴田英治

臨床医のための「有機溶剤中毒」 ②有機溶剤職場の産業医に必要な視点

日本醫事新報 4144：33-36, 2003

高木 明, 小嶋哲人

遺伝子改変動物から学ぶ血栓症 第1回「antithrombin と ryudocan のノックアウトマウス」

血栓と循環 11：268-271, 2003

高木健三, 長谷川雅哉

気管支喘息に対する吸入ステロイド療法

看護技術 49：662-666, 2003

小橋陽一郎, 岡 輝明, 富地信和, 横井豊治

間質性肺炎の分類をめぐって—病理を中心に—

呼吸 22：632-643, 2003

[科研費・班研究等]

北市清幸, 高木健三, 柴田英治, 高木健次, 長谷川高明

覚醒剤による神経毒性発現下における覚醒剤体内動態の変化に関する基礎的検討

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品安全総合研究事業）「規制薬物の依存及び神経毒性の発現に係わる仕組みの分子生物学的解明に関する研究」 pp 87-95, 2003

小嶋哲人

血栓症モデル動物での血栓症発症因子の解析—拘束ストレス負荷マウスにおける血栓傾向と PAI-1の発現—加齢の影響

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）「血液凝固異常症に関する調査研究」総括・分担研究報告書 pp 88-91, 2003

〔学会発表〕

川本善之, 武田湖州恵, 杜 軍, 鈴木治彦, 中島 泉

T細胞の膜脂質ラフトを介した酸化ストレスの惹起におけるアクチンの関与（記録 33：104, 2003）

第33回日本免疫学会総会・学術集会, 2003.12（福岡）

武田湖州恵, 川本善之, 杜 軍, 坪井秀夫, 鈴木治彦, 中島 泉

チロシンキナーゼの活性化における高度に保存されたシステイの役割（記録 33：38, 2003）

第33回日本免疫学会総会・学術集会, 2003.12（福岡）

草野由里, 吉富泰央, 棟居聖一, 橋本克訓, 横井豊治, 中西速夫, 岡山 實, 小栗佳代子

マウスモデル系において腫瘍細胞のシンドカン-2発現量は転移能とは逆相関を, 浸潤能とは正相関を示す（抄録集 p 61, 2003）

第12回日本がん転移学会学術集会, 2003.6（金沢）

伊藤秀郎, 塚谷直子, 長谷部みか, 和知野純一, 川村久美子

メタロβ-ラクタマーゼ産生菌の分布調査—院内感染を疑う事例との遭遇—（日本臨床微生物学雑誌 12（4）：154, 2002）

第14回日本臨床微生物学会総会, 2003.1-2（名古屋）

土屋洋子, 石掛聡子, 佐藤伸子, 北村邦郎, 原 和志, 伊藤秀郎

当院における *Escherichia coli*, *Klebsiella* spp. の ESBLs 産生菌の分離状況と解析（日本臨床微生物学雑誌 12（4）：150, 2002）

第14回日本臨床微生物学会総会, 2003.1-2（名古屋）

和知野純一, 柴田尚宏, 土井洋平, 山根一和, 八木哲也, 横山佳子, 柴山恵吾, 黒川博史, 伊藤秀郎, 荒川宜親

IMP-1型メタロβ-ラクタマーゼ遺伝子を担うクラス3型インテグロン構造の解析（日本細菌学雑誌 58：360, 2003）

第76回日本細菌学会総会, 2003.4（熊本）

伊藤秀郎, 信田百合香, 佐々木 梓, 井上 望, 川村久美子

3年間の臨床分離菌におけるメタロβ-ラクタマーゼ遺伝子等の保有調査と院内感染対策について（要旨集 p 5, 2003）

第1回薬剤耐性菌研究会, 2003.11（群馬県伊香保町）

OBATA Koji, NAGATA Kohzo, SOMURA Fuji, YAMADA Akira, ICHIHARA Sahoko, IZAWA Hideo, **IWASE Mitsunori**, YAMADA Yoshiji, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
Activation of a calcineurin-dependent pathway for cardiac hypertrophy in cardiac-specific calmodulin overexpressing mice
第67回日本循環器学会学術集会, 2003. 3 (福岡)

NAGATA Kohzo, OBATA Koji, YAMADA Akira, IZAWA Hideo, ICHIHARA Sahoko, **IWASE Mitsunori**, YAMADA Yoshiji, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
AT1 receptor blockade attenuates activation of calcineurin and development of cardiac hypertrophy and fibrosis in Dahl-Salt hypertension
第67回日本循環器学会学術集会, 2003. 3 (福岡)

UMEDA Hisashi, ISHIIHARA Hitoshi, **IWASE Mitsunori**, KANDA Hirofumi, TANAKA Toshikazu, SAWADA Ken, IWATA Hirokazu, YAMAUCHI Masaki, HIRASHIKI Akihiro, SUZUKI Yoriyasu, MURASE Yosuke, TAJIMA Toru, IZAWA Hideo, NAGATA Kohzo, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
The efficacy of a strategy based on optimal cutting balloon angioplasty with provisional stenting in small coronary arteries
第67回日本循環器学会学術集会, 2003. 3 (福岡)

TAKESHITA Kyouzuke, **IWASE Mitsunori**, HAYASHI Mutsuharu, IINO Shigeo, INDEN Yasuya, KONDO Takahisa, MUROHARA Toyoaki
A pathological role of the increased expression of plasminogen activator inhibitor-1 in the dysfunctional heart after myocardial infarction
第67回日本循環器学会学術集会, 2003. 3 (福岡)

KAWAMURA Taisei, IZAWA Hideo, NISHIZAWA Takao, SOMURA Fuji, YAMADA Akira, TAKEICHI Yasushi, NAGATA Kohzo, UMEDA Hisashi, NONOKAWA Makoto, INDEN Yasuya, **IWASE Mitsunori**, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
Pressure-work index and left ventricular mass index were major determinants of myocardial oxygen consumption in patients with dilated cardiomyopathy
第67回日本循環器学会学術集会, 2003. 3 (福岡)

IWASE Mitsunori, NISHIZAWA Takao, NAGATA Kohzo, KATO Yosuke, KANAZAWA Hiroaki, **HASHIMOTO Katsunori**, SOUMA Fuji, IZAWA Hideo, ISHIKI Ryoji, YOKOTA Mitsuhiro
Principal cardiac beneficial effects of growth hormone releasing peptides may be independent of growth hormone axis. (Circ J 67(Suppl. 1) : 413, 2003)
第67回日本循環器学会学術集会, 2003. 3 (福岡)

OBATA Koji, NAGATA Kohzo, SOMURA Fuji, YAMADA Akira, ICHIHARA Sahoko, IZAWA Hideo, **IWASE Mitsunori**, YAMADA Yoshiji, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
ZAKI-4 β inhibits calcineurin activity and is expressed independently of ZAKI-4 α and DSCR1 in rat cardiomyocytes
第67回日本循環器学会学術集会, 2003. 3 (福岡)

市原佐保子, 山田 晶, 岩瀬三紀, 市原 学, 横田充弘, 室原豊明

拡張型心筋症における左室機能障害の発症および進展機序の解明と成長ホルモン放出ペプチドによる治療法の開発
第8回心血管病研究助成発表会, 2003.3 (京都)

UMEDA Satoshi, SAWADA Ken, YAMAUCHI Masaki, IWATA Hirokazu, TAJIKA Tohru, MURASE Yosuke,
HIRASHIKI Akihiro, TANAKA Toshikazu, KANDA Hirofumi, ISHIHARA Hitoshi, YOKOTA Mitsuhiro, **IWASE
Mitsunori**

Initial and six-month results of gradual and prolonged balloon angioplasty in small coronary arteries: a randomized
comparison with cutting balloon angioplasty and conventional balloon angioplasty
52nd Annual Scientific Session/ American College of Cardiology, 2003.3-4 (Atlanta, USA)

加藤洋介, 岩瀬三紀, 松下亜矢, 蔵屋真由美, ZHAO Ying Lan, 野田明子, 古池保雄, 横田充弘
ペントバルビタール単独およびケタミン・キシラジン併用麻酔法が心血管動態に及ぼす影響の対比検討
第50回日本実験動物学会総会, 2003.5 (大宮)

加藤洋介, 岩瀬三紀, 西澤孝夫, 松下亜矢, 趙 瀛蘭, 金澤寛明, 高木健次, 野田明子, 古池保雄, 横田充弘
HCM および DCM モデルハムスターの経時的左室機能変化の比較
第76回日本超音波医学会学術集会, 2003.5 (札幌)

松下亜矢, 岩瀬三紀, 加藤洋介, 荻谷尚美, 趙 瀛蘭, 橋本克訓, 野田明子, 古池保雄, 横田充弘
大腸菌由来エンドトキシンにより惹起される心血管動態の変容 (超音波医学 30(Suppl.):256, 2003)
第76回日本超音波医学会学術集会, 2003.5 (札幌)

松下亜矢, 岩瀬三紀, 加藤洋介, 野田明子, 古池保雄
麻酔が小動物の心血管動態に及ぼす影響
平成15年度東海実験動物研究会, 2003.7 (名古屋)

岩瀬三紀

心筋逸脱物質—不全心, 虚血心における臨床的意義 (抄録集 pp 22-24, 2003)
第14回日本臨床化学会東海北陸支部総会, 2003.9 (名古屋)

岩瀬三紀, 金澤寛明, 加藤洋介, 松下亜矢, 野田明子, 古池保雄, 永田浩三, 市原佐保子, 小畑孝二, 井澤英夫, 山
田 晶, 室原豊明, 横田充弘
成長ホルモン放出ペプチド (GHRP) は, 全身および心臓に対する肥大作用を惹起せずに心筋症ハムスターの左室機
能障害発症・進展過程を軽減させる
第10回関西不全心研究会, 2003.10 (大阪)

永田浩三, 市原佐保子, 山田 晶, 井澤英夫, 室原豊明, 小畑孝二, 許 京蘭, 横田充弘, 岩瀬三紀
ニコランジルは VEGF を介して冠毛細血管形成を促進し, Dahl 食塩感受性抗血圧ラットの心肥大から心不全への移
行を抑制する
第16回 Nicorandil 研究会, 2003.10 (東京)

KATO Yosuke, **IWASE Mitsunori**, MATSUSHITA Aya, KITAICHI Kiyoyuki, HASHIMOTO Katsunori, ICHIHARA
Sahoko, IZAWA Hideo, NAGATA Kohzo, YOKOTA Mitsuhiro
Diversity of functional and structural cardiovascular alterations induced by endotoxin may occur due to difference of

bacterial strain

第7回日本心不全学会学術集会, 2003.10 (大阪)

IWASE Mitsunori, ICHIHARA Sahoko, NAGATA Kohzo, KATO Yosuke, MATSUSHITA Aya, **KITAICHI Kiyoyuki**,

IZAWA Hideo, TSUNEMATSU Takashi, ISHIKAWA Yoshihiro, YOKOTA Mitsuhiro

Myocardial oxidative stress may play a pivotal role in impaired β -adrenergic signaling during the initial development of left ventricular dysfunction

第7回日本心不全学会学術集会, 2003.10 (大阪)

平間祐美, 川村久美子, 伊藤秀郎, 飯沼由嗣

β -lactamase-negative ampicillin-resistant *Haemophilus influenzae* (BLNAR) の臨床分離株における薬剤感受性傾向と耐性機構の解析 (日本臨床微生物学雑誌 12(4):145, 2002)

第14回日本臨床微生物学会総会, 2003.1-2 (名古屋)

川村久美子, 伊藤秀郎, 鳥居啓三, 長谷川忠男, 太田美智男

フルオロキノロン耐性肺炎球菌の耐性機構の解析 (日本臨床微生物学雑誌 12(4):140, 2002)

第14回日本臨床微生物学会総会, 2003.1-2 (名古屋)

大蔵照子, 間瀬清美, 川村久美子, 奈田 俊, 長谷川忠男, 鳥居啓三, 太田美智男

病棟で使用しているスポンジの細菌汚染と院内感染の原因としての可能性 (日本臨床微生物学雑誌 12(4):176, 2002)

第14回日本臨床微生物学会総会, 2003.1-2 (名古屋)

松垣智子, 山田景子, 橋川真之介, 中野みよ, 川村久美子, 長谷川忠男, 鳥居啓三, 太田美智男

SSSS 院内感染を起こした MRSA 株の β -lactam 剤体制機構の性質の解析 (日本細菌学雑誌 58:356, 2003)

第76回日本細菌学会総会, 2003.4 (熊本)

鳥居啓三, 伊藤千里, 山田景子, 武野 彰, 橋川真之介, 川村久美子, 長谷川忠男, 太田美智男

Staphylococcus aureus のプロテアーゼに関する検討 (日本細菌学雑誌 58:244, 2003)

第76回日本細菌学会総会, 2003.4 (熊本)

太田美智男, 山篠貴史, 川村久美子, 鳥居啓三, 長谷川忠男

腸管出血性 O157 における Cl⁻ イオンの増殖抑制効果 (日本細菌学雑誌 58:212, 2003)

第76回日本細菌学会総会, 2003.4 (熊本)

川村久美子, 山篠貴史, 伊藤秀郎, 鳥居啓三, 長谷川忠男, 太田美智男

病原性大腸菌における Cl⁻ イオン・メチオニンの増殖抑制効果の解析 (日本細菌学雑誌 58:213, 2003)

第76回日本細菌学会総会, 2003.4 (熊本)

川村久美子, 伊藤秀郎, 長谷川忠男, 鳥居啓三, 太田美智男

ParE の QRDR 変異を持つフルオロキノロン耐性肺炎球菌の高頻度分離 (要旨集 p16, 2003)

第1回薬剤耐性菌研究会, 2003.11 (群馬県伊香保町)

上山 純, 北市清幸, 岩瀬三紀, 高木健次, 高木健三, 長谷川高明

エンドトキシンによる肝薬物代謝酵素活性低下に対する PPAR γ リガンド, ビオグリタゾンの効果
第123回日本薬学会年会, 2003.3 (長崎)

北市清幸, 森下友喜, 松島充代子, **高木健次**, **高木健三**, **長谷川高明**
メタンフェタミン神経毒性モデルにおけるメタンフェタミン生体内挙動の変化
第123回日本薬学会年会, 2003.3 (長崎)

松島充代子, **北市清幸**, 田中成一, **巽 康彰**, **長谷川高明**, **高木健三**
ラット腹腔肥満細胞からのヒスタミン遊離に対する Adrenomedullin の効果
第123回日本薬学会年会, 2003.3 (長崎)

福田昌也, **北市清幸**, 森島恒雄, **長谷川高明**
非ステロイド系抗炎症薬の脳移行性に関する基礎的研究
第123回日本薬学会年会, 2003.3 (長崎)

木村匡男, 林 紗衣子, **北市清幸**, 灘井雅行, **長谷川高明**, 吉住秀夫
副腎切除ラットにおける薬物代謝能および薬物胆汁中排泄能の変化
第123回日本薬学会年会, 2003.3 (長崎)

北市清幸, **長谷川高明**
テーラーメイド薬物治療に向けた病態時薬物体内動態スクリーニングシステムの構築
第2回産学官連携推進会議, 2003.6 (京都)

北市清幸, 福田昌也, 森下友喜, **高木健次**, **高木健三**, **長谷川高明**
メタンフェタミンによる神経毒性惹起時のメタンフェタミン生体内挙動の解析
第26回日本神経科学大会, 2003.7 (名古屋)

KITAICHI Kiyoyuki, ITO Yukiko, AOYAMA Nagisa, NAKAYAMA Hironao, **TAKAGI Kenzo**, **HASEGAWA Takaaki**
The emergence of altered disposition of methamphetamine in the model of methamphetamine-induced neurotoxicity.
(Abstract. p 118, 2003)
ISN/APSIN Sponsored Satellite Meeting “Current Status of Dependence/Abuse Studies: Cellular and Molecular Mechanisms of Drugs of Abuse and Neurotoxicity”, 2003.7-8 (Kyoto)

福田昌也, **北市清幸**, 安部文江, 森島恒雄, **長谷川高明**
SLT-II 投与時における非ステロイド系抗炎症薬 (NSIDs) の脳移行性に関する研究 (抄録集 p 297, 2003)
第18回日本薬物動態学会年会, 2003.10 (札幌)

杉江昌美, 中山寛尚, ZHAO Ying Lan, 鳥田祥子, **北市清幸**, **高木健三**, 灘井雅行, 吉住秀夫, **長谷川高明**
マクロライド系抗生物質アジスロマイシンの P 糖蛋白質および Mrp2 による排泄機構 (抄録集 p 289, 2003)
第18回日本薬物動態学会年会, 2003.10 (札幌)

北市清幸, 伊藤佑希子, 青山 渚, 福田昌也, **高木健三**, **長谷川高明**
メタンフェタミン神経毒性モデルにおけるメタンフェタミンの生体内挙動に関する検討 (抄録集 p 120, 2003)
第33回日本神経精神薬理学会年会, 2003.10 (奈良)

KITAICHI Kiyoyuki, FUKUDA Masaya, ITO Yukiko, AOYAMA Nagisa, **TAKAGI Kenzo**, **HASEGAWA Takaaki**

Altered disposition of methamphetamine during the development of methamphetamine-induced neurotoxicity in rats
33rd Annual Meeting, Society for Neuroscience, 2003. 11 (New Orleans, USA)

KOJIMA Tetsuhito

In vivo functions of a heparan sulfate proteoglycan, ryudocan (syndecan-4). (Abstract. p 51, 2003)
International/ Symposium on Biological Science of Heparan Sulfate Proteoglycans, 2003. 4 (Kyoto)

KOJIMA Tetsuhito

Functions of a Heparan Sulfate Proteoglycan, Ryudocan (Syndecan-4). (Abstract. pp 26-27, 2003)
3rd Aso International Meeting, 2003. 5 (Kukinomura, Kumamoto)

KOJIMA Tetsuhito

Antithrombin deficiency in mice
3rd General Meeting of the International Proteolysis Society, 2003. 11 (Nagoya)

原田直明, 岡島研二, 内場光浩, **小嶋哲人**

アンチトロンビンの抗炎症作用は主にカプサイシン感受性知覚神経の活性化を介する (日本血栓止血学会誌 14 :
427, 2003)

第26回日本血栓止血学会学術集会, 2003. 11 (東京)

HAYASHI Mutsuharu, MATSUSHITA Tadashi, PEDERSEN Brian, ITO Masafumi, IWASAKI Takashi, YAMADA Takayuki, ADACHI Tatsuya, PAWLINSKI Rafal, TAKESHITA Kyosuke, KUNISHIMA Shinji, YAMAMOTO Koji, NAOE Tomoki, MUROHARA Toyoaki, MACKMAN Nigel, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**

Low levels of tissue factor-dependent thrombotic activity do not rescue the thrombotic lethality of antithrombin deficient mice. (Blood 102(11) : 118, 2003)

45th Annual Meeting/American Society of Hematology, 2003. 12 (San Diego, USA)

MURATE Takashi, BANNO Yoshiko, KOIZUMI T. Keiko, NAKADE Yusuke, HAGIWARA Kazumi, SOBUE Sayaka, KODA Masahiro, SUZUKI Motoshi, **KOJIMA Tetsuhito**, **TAKAGI Akira**, NOZAWA Yoshinori

Determination of the promoter region responsible for the PMA induced sphingosine kinase 1 gene expression during megakaryocytic differentiation of a human leukemia cell line, MEG-O1. (Abstract. p 69, 2003)

2nd International Charleston Ceramide Conference, 2003. 7 (Como, Italy)

山田 晶, **野田明子**, 加藤倫子, 井澤英夫, 曾村富士, 村瀬洋介, 野々川 信, 因田恭也, 飯野重夫, 近藤 隆, 高田康信

組織ドブラ法心筋速度勾配による左室拡張機能評価

第120回日本循環器学会東海地方会学術集会, 2003. 2 (名古屋)

中田誠一, 柳 絵里子, 鈴木啓介, 別府玲子, 三澤逸人, 中島 務, **野田明子**, 小西智代子, 澤木美音, 斎藤八千代
睡眠時無呼吸症候群を呈した心身障害児 4 症例の adenotonsillectomy に対する検討

第30回睡眠呼吸障害研究会, 2003. 2 (東京)

安田宜成, **野田明子**, 堀江明世, 杉浦建生, 中田 実, 曾我太郎, 岩山範久, 中井 滋, 中田誠一, 比企能之, 大島

伸一, 古池保雄

閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における24時間畜尿の検討
第30回睡眠呼吸障害研究会, 2003.2 (東京)

鈴木啓介, 中田誠一, 柳 絵里子, 中島 務, 野田明子, 宮田聖子, 古池保雄
連続装着可能な在宅睡眠呼吸モニターによる CPAP 治療評価
第30回睡眠呼吸障害研究会, 2003.2 (東京)

宮田聖子, 野田明子, 安間文彦, 高木健三, 長谷川好規, 下方 薫
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における鼻腔通気度検査の意義 (日本呼吸器学会雑誌 41(増刊):208, 2003)
第43回日本呼吸器学会総会, 2003.3 (福岡)

HIRASHIKI Akihiro, SOMURA Fuji, IZAWA Hideo, NISHIZAWA Takao, ISHIKI Ryoji, **NODA Akiko**, NAGATA Kohzo, INDEN Yasuya, NONOKAWA Makoto, ISOBE Satoshi, YAMADA Akira, TAKEICHI Yasushi, **IWASE Mitsunori**, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mistuhiro
Reduced myocardial abundance of Ca²⁺-handling protein mRNAs and tachycardia-induced mechanical alternans in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy
第67回日本循環器学会学術集会, 2003.3 (福岡)

NAKATA Seiichi, **NODA Akiko**, YANAGI Eriko, SUZUKI Keisuke, MISAWA Hayato, NAKASHIMA Tutomu
Results of tonsillectomy for obstructive sleep apnea syndrome in adults with tonsillar hypertrophy. (Program and Abstract p 55, 2003)
5th International Symposium on Tonsils and Mucosal Barriers of the Upper Airways, 2003.4 (Wakayama)

新美佐保, 野田明子, 宮田聖子, 本多久美子
一般外来患者における橈骨動脈圧波形測定による動脈硬化の検討 (抄録集 p 31, 2003)
第4回愛知県医学検査学会, 2003.5 (名古屋)

石見亜紀, 宮田聖子, 新美佐保, 森下友喜, 伊藤理恵子, 野田明子
健常人におけるMモード法, パルスドプラ法および組織ドプラ法による左心機能評価 (抄録集 p 35, 2003)
第4回愛知県医学検査学会, 2003.5 (名古屋)

森下友喜, 野田明子, 宮田聖子, 新美佐保, 本多久美子
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における鼻腔通気度検査の意義 (抄録集 p 34, 2003)
第4回愛知県医学検査学会, 2003.5 (名古屋)

宮田聖子, 野田明子, 新美佐保, 伊藤理恵子, 山田 廣
健常人における運動回復期足関節・上腕血圧比の評価 (医学検査 52:605, 2003)
第52回日本医学検査学会, 2003.5 (さいたま)

新美佐保, 野田明子, 宮田聖子
透析患者における睡眠障害 (医学検査 52:630, 2003)
第52回日本医学検査学会, 2003.5 (さいたま)

MIYATA Seiko, **NODA Akiko**, NAKATA Seiichi, ATARASHI Misaho, HONDA Kumiko, **KOIKE Yasuo**
Daytime polysomnography for early detection of severe obstructive sleep apnea syndrome. (Sleep 26(Suppl.) : A 245, 2003)
17th Annual Meeting/Associated Professional Sleep Societies, 2003.6 (Chicago, USA)

NAKATA Seiichi, **NODA Akiko**, YANAGI Eriko, SUZUKI Keisuke, YAGI Hidehito, MISAWA Hayato, NAKASHIMA Tutomu
Impact of the nasal surgery on obstructive sleep apnea. (Sleep 26(Suppl.) : A235, 2003)
17th Annual Meeting/Associated Professional Sleep Societies, 2003.6 (Chicago, USA)

石見亜紀, **野田明子**, 新美佐保, 森下友喜, 森田せつ子, 宮田聖子, **古池保雄**
アルコール感受性と少量アルコールの睡眠へ及ぼす影響 (抄録集 p 135, 2003)
第28回日本睡眠学会定期学術集会, 2003.6 (名古屋)

新美佐保, **野田明子**, 中田誠一, 森下友喜, 宮田聖子, 柳 絵里子, 鈴木啓介, 中島 務, 安田宣成, 中井 滋, 岡田 保, **古池保雄**
昼間の睡眠ポリグラフィによる重症睡眠時無呼吸症候群患者の早期検出 (抄録集 p 202, 2003)
第28回日本睡眠学会定期学術集会, 2003.6 (名古屋)

中田誠一, **野田明子**, 柳 絵里子, 鈴木啓介, 中島 務
閉塞性睡眠時無呼吸症候群 CPAP 療法における鼻腔通気度検査の重要性 (抄録集 p 150, 2003)
第28回日本睡眠学会定期学術集会, 2003.6 (名古屋)

野田明子, **古池保雄**, 宮尾悦子, 中田誠一, 深津 博, 安田宣成, 中井 滋, 太田龍朗, 安間文彦, 横田充弘
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における顎顔面形態と Oralappliance の適応 (抄録集 p 153, 2003)
第28回日本睡眠学会定期学術集会, 2003.6 (名古屋)

本多久美子, **野田明子**, 森下友喜, 宮田聖子, 新美佐保, 中田誠一, 柳 絵里子, 鈴木啓介, 中島 務, 安田宣成, 中井 滋, 岡田 保, **古池保雄**
閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者の在宅スクリーニングによる CPAP 治療経過観察 (抄録集 p 201, 2003)
第28回日本睡眠学会定期学術集会, 2003.6 (名古屋)

安田宣成, **野田明子**, 堀江明世, 杉浦建生, 中田 実, 岩山範久, 曾我太郎, 中田誠一, 中井 滋, 大島伸一, **古池保雄**
OSAS 患者における24時間畜尿カテコールアミン値の検討 (抄録集 p 126, 2003)
第14回日本在宅医療研究会学術集会, 2003.7 (名古屋)

野田明子, **古池保雄**
ワークショップ5 : 睡眠呼吸障害における在宅医療の重要性 (抄録集 p 73, 2003)
第14回日本在宅医療研究会学術集会, 2003.7 (名古屋)

森下友喜, **野田明子**, 安田宣成, 杉浦建生, 中田 実, 堀江明世, 曾我太郎, 中井 滋, 比企能之, 大島伸一, 宮田聖子, 新美佐保, 中田誠一, 柳 絵里子, 鈴木啓介, 中島 務, **古池保雄**
在宅スクリーニングによる閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者の CPAP 治療経過観察 (抄録集 p 126, 2003)

第14回日本在宅医療研究会学術集会, 2003.7 (名古屋)

鈴木啓介, 中田誠一, 柳 絵里子, 向井田 徹, 大竹康敬, 三澤逸人, 中島 務, **野田明子**

成人の閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群における扁桃摘出術の評価

第31回睡眠呼吸障害研究会, 2003.7 (東京)

中田誠一, 柳 絵里子, 鈴木啓介, 向井田 徹, 大竹康敬, 三澤逸人, 中島 務, **野田明子**, 小西智代子, 澤木美音, 斎藤八千代

閉塞性睡眠時無呼吸症候群での MR fluoroscopy における軟口蓋垂部の検討

第31回睡眠呼吸障害研究会, 2003.7 (東京)

宮田聖子, **野田明子**, 中田誠一, 安田宣成, 杉浦建生, 中田 実, 岩山範久, 中井 滋, 中島 務, **古池保雄**

閉塞性睡眠時無呼吸症候群における持続気道陽圧療法コンプライアンスに関する要因 (抄録集 p 10, 2003)

第14回東海睡眠呼吸障害研究会, 2003.9 (名古屋)

安田宣成, **野田明子**, 杉浦建生, 中田 実, 岩山範久, 中井 滋, 黒木祥子, 越智ひかり, 宮田聖子, **古池保雄**, 横田充弘, 大島伸一

閉塞性睡眠時無呼吸症候群における持続気道陽圧療法による脈波伝播速度への影響 (抄録集 p 9, 2003)

第14回東海睡眠呼吸障害研究会, 2003.9 (名古屋)

吉村真由美, 加藤千香子, 鈴木禎美, 征矢悠里, **野田明子**, 岩瀬三紀, **古池保雄**

睡眠時の効果器における皮膚交感神経活動 (日本臨床生理学会雑誌 33(Suppl.): 80, 2003)

第40回日本臨床生理学会, 2003.10 (仙台)

黒木祥子, **野田明子**, 宮田聖子, 安田宣成, 中井 滋, 坂巻陽子, 川岸郁子, 伊藤理恵子, 山田 廣, 横田充弘, **古池保雄**

睡眠時無呼吸症候群の持続気道陽圧療法による脈波伝播速度の変化 (日本臨床生理学会雑誌 33(Suppl.): 80, 2003)

第40回日本臨床生理学会, 2003.10 (仙台)

宮田聖子, **野田明子**, 安藤晃禎, 吉村敦子, 上山 純, 北市清幸, 長谷川高明, 森下友喜, 横田充弘, **古池保雄**

生活習慣病における血中一酸化窒素の検討 (日本臨床生理学会雑誌 33(Suppl.): 85, 2003)

第40回日本臨床生理学会, 2003.10 (仙台)

助川真代, **野田明子**, 宮田聖子, 新美佐保, 本多久美子, 森下友喜, 安田宣成, 岩山範久, 中井 滋, **古池保雄**

閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における24時間尿中カテコールアミンの測定 (日本臨床生理学会雑誌 33(Suppl.): 79, 2003)

第40回日本臨床生理学会, 2003.10 (仙台)

NODA Akiko, OCHI Hikari, YASUDA Yoshinari, YASUMA Fumihiko, **KOIKE Yasuo**

Baroreflex sensitivity was reduced in patients with obstructive sleep apnea syndrome: possible role in genesis of daytime hypertension. (Circulation 108: IV669, 2003)

Scientific Sessions 2003/American Heart Association, 2003.11 (Orland, USA)

KATO Tomoko, **NODA Akiko**, YAMADA Akira, ISOBE Satoshi, IZAWA Hideo, MURASE Yousuke, YOKOTA

Mitsuhiro

Discrimination of patients in the initial stage of hypertrophic cardiomyopathy from those with hypertensive left ventricular hypertrophy on the basis of strain rate derived from tissue Doppler imaging. (Circulation 108 : IV441, 2003)

Scientific Sessions 2003/American Heart Association, 2003.11 (Orland, USA)

NODA Akiko, OCHI Hikari, KATO Tomoko, YASUDA Yoshinari, YASUMA Fumihiko, **KOIKE Yasuo**

Sleep apnea could be associated with left ventricular diastolic dysfunction in dilated cardiomyopathy. (Circulation 108 : IV558-IV559, 2003)

Scientific Sessions 2003/American Heart Association, 2003.11 (Orland, USA)

KATO Tomoko, YAMADA Akira, MURASE Yousuke, HIRASHIKI Akihiro, **NODA Akiko**

Specific gene polymorphisms could artery disease in individuals with or without hypertension. (Circulation 108 : IV 712, 2003)

Scientific Sessions 2003/American Heart Association, 2003.11 (Orland, USA)

SHIBATA Eiji, ARAKI Shunichi, HIRATA Mamoru, ENDO Yoko, KAWAI Toshio, TAKEUCHI Akito

Assessment and control of sick house syndrome at work; exposure to chemicals in construction

2003 International Symposium on Indoor Air Quality and Health Hazards, 2003.1 (Tokyo)

ICHIHARA Gaku, LI Weihua, **SHIBATA Eiji**, DING Xuncheng, KAMIJIMA Michihiro, WANG Hailan, LIANG Yideng, SIMENG Peng, ITOHARA Seiichiro, FAN Qiyuang, ZHANG Yunhui, ZHONG Enhong, WU Xiaoyun, VALENTINE William M., TAKEUCHI Yasuhiro

Neurological abnormality in workers of 1-bromopropane factory

41st Annual Meeting of Society of Toxicology, 2003.3 (Nashville, USA)

酒井 潔, 上島通浩, **柴田英治**, 大野浩之, 市原 学, 山田哲也, 糸原誠一朗, 竹内康浩, 那須民江

2-エチル-1-ヘキサノールによる室内空気汚染 第1報 室内濃度と発生源の推定 (日本衛生学雑誌 58 : 185, 2003)
第73回日本衛生学会総会, 2003.3 (大分)

柴田英治, 上島通浩, 酒井 潔, 大野浩之, 市原 学, 山田哲也, 糸原誠一朗, 竹内康浩, 那須民江

2-エチル-1-ヘキサノールによる室内空気汚染 第2報 換気による濃度変化 (日本衛生学雑誌 58 : 186, 2003)
第73回日本衛生学会総会, 2003.3 (大分)

上島通浩, **柴田英治**, 酒井 潔, 大野浩之, 石原伸哉, 安藤かおり, 池田優子, 山田哲也, 市原 学, 那須民江

2-エチル-1-ヘキサノールによる室内空気汚染 第3報 季節による濃度変化と自覚症状 (日本衛生学雑誌 58 : 186, 2003)

第73回日本衛生学会総会, 2003.3 (大分)

王 海蘭, 黄 漢林, 上島通浩, 李 来玉, **柴田英治**, 林 炳傑, 梁 氷, 黄 先青, 久永直見, 陳 嘉斌, 市原学, 竹内康浩, 那須民江

トリクロロエチレン曝露作業者に発生する全身性皮膚・肝障害 第1報: 患者発生作業状況の調査 (産業衛生学雑誌 45(臨増) : 562, 2003)

第76回日本産業衛生学会, 2003.4 (山口)

上島通浩, 黄 漢林, 王 海蘭, 李 来玉, **柴田英治**, 林 炳傑, 梁 氷, 黄 先青, 久永直見, 陳 嘉斌, 酒井 潔, 黄 健勳, 市原 学, 竹内康浩, 那須民江

トリクロロエチレン曝露作業者に発生する全身性皮膚・肝障害 第2報: 作業中の自覚症状と尿中代謝物量 (産業衛生学雑誌 45(臨増): 563, 2003)

第76回日本産業衛生学会, 2003.4 (山口)

久保田 均, 毛利一平, 久永直見, **柴田英治**, 孫 健

建設労働者の死因に対するアスベスト曝露と喫煙の影響 (産業衛生学雑誌 45(臨増): 498, 2003)

第76回日本産業衛生学会, 2003.4 (山口)

岡田浩美, 田川容子, 塚原明子, 金子桐子, 河井玲子, 岡 まゆみ, 中出祐介, 山田貴之, **高木 明**, **村手 隆**, **小嶋哲人**

プロテイン S 欠損症における PS α 遺伝子解析 (プログラム・抄録集 p 42, 2003)

第42回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会, 2003.3 (名古屋)

河井玲子, 塚原明子, 岡 まゆみ, 堀尾裕美, 元山正子, 岡田浩美, 山田貴之, **高木 明**, **村手 隆**, **小嶋哲人**

血液凝固第 XI 因子の遺伝子解析 第2報 (抄録集 p 50, 2003)

第4回愛知県医学検査学会, 2003.5 (名古屋)

萩原和美, 中出祐介, 祖父江沙矢加, 田川容子, 坂野喜子, 小泉恵子, 浅野治彦, **高木 明**, **小嶋哲人**, 野澤義則, **村手 隆**

PMA 刺激ヒト白血病細胞株 MEG-O1 におけるスフィンゴシンキナーゼ1の発現調節の解析 (抄録集 p 281, 2003)

第65回日本血液学会総会, 2003.8 (大阪)

OKA Mayumi, BANNO Yoshiko, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, NAKADE Yusuke, SUZUKI Motoshi, KOIZUMI Keiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

The regulatory mechanism of PLD1, 2 gene expression. (抄録集 p 916, 2003)

第76回日本生化学会大会, 2003.10 (福岡)

中出祐介, **高木 明**, **小嶋哲人**, **村手 隆**

ヒト巨核芽球性白血病細胞株 MEG-O1 を用いたスフィンゴシンキナーゼ1の発現調節機序の解析 (日本血栓止血学会誌 14: 431, 2003)

第26回日本血栓止血学会学術集会, 2003.11 (東京)

岡田浩美, 河井玲子, 山田貴之, **高木 明**, **村手 隆**, **小嶋哲人**, 足立達哉, 松下 正, 山本晃士, 高松純樹, 齋藤英彦

プロテイン S 欠損症16例における PS α 遺伝子解析 (日本血栓止血学会誌 14: 460, 2003)

第26回日本血栓止血学会学術集会, 2003.11 (東京)

山田貴之, 河井玲子, 岡田浩美, **高木 明**, **村手 隆**, 伊藤雅文, 足立達哉, 山本晃士, 松下 正, 齋藤英彦, **小嶋哲人**

マウス PAI-1 に対する抗体作製と ELISA 構築 (日本血栓止血学会誌 14: 462, 2003)

第26回日本血栓止血学会学術集会, 2003.11 (東京)

河井怜子, 岡田浩美, 山田貴之, **高木 明**, **村手 隆**, 伊藤雅文, 足立達哉, 山本晃士, 松下 正, 齋藤英彦, 小嶋哲人

血液凝固第 XI 因子欠損症 4 症例の遺伝子解析 (日本血栓止血学会誌 14:479, 2003)
第26回日本血栓止血学会学術集会, 2003.11 (東京)

伊藤由起, 市原 学, 古橋功一, 王 海蘭, **高木健次**, **柴田英治**, 那須民江
フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの代謝と内部曝露量の種差 (日本衛生学雑誌 58:187, 2003)
第73回日本衛生学会総会, 2003.3 (大分)

大井一弥, 中尾 誠, **高木健次**, 小島康生, 梅枝 覚, 松本好市
Diamine Oxidase (DAO) 活性を指標としたインフリキシマブの薬効評価 (抄録集 p152, 2003)
第123回日本薬学会年会, 2003.3 (長崎)

菅原綾子, ZHAO Ying Lan, **高木健次**, **北市清幸**, **高木健三**, **長谷川高明**
薬物の胆汁排泄機構に及ぼすペロ毒素 SLT-II の影響
第123回日本薬学会年会, 2003.3 (長崎)

岩田全広, **高木健次**, 堀 紀代美, 野々垣 聡, 鈴木重行
急性炎症における一酸化窒素と酸化的ストレス障害 (理学療法学 30(Suppl.2):103, 2003)
第38回日本理学療法学術大会, 2003.5 (長野)

中尾 誠, **高木健次**, 蜂須賀丈博
胃全摘術後患者に対する各種栄養療法の検討 (抄録集 p146, 2003)
第13回日本医療薬学会年会, 2003.9 (神戸)

YOKOI Toyoharu, **HASHIMOTO Katsunori**, HIRABAYASHI Norio, ITO Masafumi
Pulmonary pathology in bone marrow transplant recipients. (Abstract. pp 210-211, 2003)
3rd IAP Asia Pacific Meeting, 2003.1 (Bangkok, Thailand)

西山 理, 谷口博之, 近藤康博, 大石尚史, 加藤聡之, 松本修一, **横井豊治**, 下方 薫
Familial IPF の HRCT 所見の検討 (予稿集 p162, 2003)
第43回日本呼吸器学会総会, 2003.3 (福岡)

谷口博之, 近藤康博, 西村正士, **横井豊治**
びまん性疾患に対する胸腔鏡下肺生検の意義—特に急速進行性間質性肺炎について— (予稿集 p29, 2003)
第43回日本呼吸器学会総会, 2003.3 (福岡)

近藤康博, 谷口博之, 西山 理, 木村雅広, 鈴木隆二郎, 長谷川好規, 久米裕昭, 野田康信, 大石尚史, **横井豊治**
外科的肺生検にて診断した間質性肺炎におけるシクロスポリンA療法の検討 (予稿集 p102, 2003)
第43回日本呼吸器学会総会, 2003.3 (福岡)

阪本考司, 谷口博之, 近藤康博, 西山 理, **横井豊治**
当院における外科的肺生検を施行したびまん性肺疾患症例の検討 (予稿集 p102, 2003)
第43回日本呼吸器学会総会, 2003.3 (福岡)

大石尚史, 野田康信, 権田秀雄, 谷口博之, 鈴木隆二郎, 久米裕昭, 長谷川好規, **横井豊治**
肺機能障害を認めない特発性 UIP 症例の臨床的検討 (予稿集 p 174, 2003)
第43回日本呼吸器学会総会, 2003.3 (福岡)

横井豊治

特別講演: 骨髄移植の呼吸器合併症の病理
第1回血液・感染先端医療研究会, 2003.11 (宮崎)

八木健郎, 馬場研二, 鉄 香織, 松井聖子, 鎌澤隆一, 丹羽さやか, 沖 良生, 加藤晴通, 吉田和仁, 森下宗彦, 山口悦郎, **横井豊治**
ステロイド及びシクロホスファミドのパルス療法を併用した AIP の1例 (予稿集 p 25, 2003)
第84回日本呼吸器学会東海地方学会, 2003.11 (大垣)

高納 崇, 田中 繁, 鈴木裕太郎, 野崎裕広, 吉本鉄介, 中西和夫, 西脇敬祐, 村上 榮, **横井豊治**
剖検によって確認されたクリプトコッカス感染を合併した UIP の一例 (予稿集 p 24, 2003)
第84回日本呼吸器学会東海地方学会, 2003.11 (大垣)

横井豊治

特別講演: 呼吸器疾患の病理と細胞像—最近のトピックス—
第18回日本臨床細胞学会奈良県支部総会・学術集会, 2003.12 (奈良)

[公開講座・講演会]

石木良治, 安田信之, 吉川大治, 高村 淳, 杉浦嘉一郎, 熊谷 亮, 揚妻広隆, 稲垣春夫, **岩瀬三紀**
卵巣癌の心腔内転移により右心不全, 心原性ショックを来した一例
第9回東海支部内科専門医会, 2003.1 (名古屋)

岩瀬三紀

小動物 (げっ歯類) の心エコー検査の実際と最近の知見
第10回実験動物の循環機能検査法講習会, 2003.3 (東京)

岩瀬三紀

心不全: 最近の話題
豊田循環器疾患病診連携カンファランス, 2003.10 (豊田)

小嶋哲人

血液凝固制御因子のジーンターゲット解析
第9回関西血栓フォーラム, 2003.1 (大阪)

野田明子, 古池保雄

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療, 持続陽圧呼吸 (CPAP) 療法 (テキスト pp 33-46, 2003)
第8回日本睡眠学会睡眠科学・医療専門研修セミナー, 2003.6 (名古屋)

柴田英治

たばこと健康障害

愛知県木曾川町禁煙教室，2003.1（愛知県木曾川町）

柴田英治

有機溶剤取扱職場の健康管理

愛知医科大学附属産業保健科学センター産業医研修会，2003.3（愛知県長久手町）

柴田英治

化学物質の健康リスク評価

愛知県薬剤師会学術講演会，2003.7（名古屋）

柴田英治

洗剤の皮膚影響

(社)繊維評価技術協議会「洗濯革命」シンポジウム 2003 特別講演，2003.9（名古屋）

横井豊治

呼吸器細胞診（その他の病変）

日本臨床細胞学会東海連合会細胞診基礎講習会，2003.6（稲沢）

理学療法学専攻

〔著書〕

猪田邦雄

上腕骨近位端骨折の装具療法

『装具療法：モデルと適応のすべて（新OS NOW 新世代の整形外科手術；17）』（清水克時担当編集委員）メジカルビュー社，2003. pp 27-35

石田和人

第3章 疾患別の評価と治療技術 9. 変形性股関節症

『骨・関節系理学療法クイックリファレンス』（岡西哲夫・岡田誠編）文光堂，2003. pp 232-243

小林邦彦

足のアーチ その他9項

『医学書院医学大事典』（伊藤正男，井村裕夫，高久史磨総編集）医学書院，2003

鈴木重行

筋を個別に伸張できるの？—ID(個別的筋)ストレッチングの背景—

『理学療法のとらえかた：clinical reasoning Part 2』（奈良勲編集）文光堂，2003. pp 105-115

鈴木重行

職能団体—理学療法士協会へ入ろう—

『理学療法士プロフェッショナル・ガイド：臨床の現場で役立つマネジメントのすべて』（細田多穂 [ほか] 編集主幹）文光堂，2003. pp 486-489

〔原著論文〕

IMAMURA Nobuki, HIDA Hideki, AIHARA Noritaka, **ISHIDA Kazuto**, KANDA Yoshie, NISHINO Hitoo, YAMADA Kazuo

Neurodegeneration of substantia nigra accompanied with macrophage/microglia infiltration after intrastriatal hemorrhage

Neurosci Res 46 : 289-298, 2003

HIROTA Arisa, EBIHARA Tetsuya, KUSUBATA Masashi, KOBAYASHI Miya, **KOBAYASHI Kunihiko**, KUWABA Kumiko, TANAKA Keisuke, KIRIYAMA Tomomi, IRIE Shinkichi, KOYAMA Yoh-ichi

Collagen of chronically inflamed skin is over-modified and upregulates secretion of matrix metalloproteinase 2 and matrix-degrading enzymes by endothelial cells and fibroblasts

J Invest Dermatol 121 : 1317-1325, 2003

KOEDA Tomoko, ANDO Takahiro, INOUE Takayuki, KAMISAKA Kenta, TSUKAMOTO Shinya, TORIKAWA Takahiro, HIRASAWA Jun, YAMAZAKI Makoto, **IDA Kunio**, MIZUMURA Kazue

A trial to evaluate experimentally induced delayed onset muscle soreness and its modulation by vibration

Environ Med 47 : 26-30, 2003

KOEDA Tomoko, SATO Jun, MIZUMURA Kazue

Involvement of alpha1-adrenoceptors in the cutaneous blood flow increase response to sympathetic nerve stimulation in rats with chronic constriction injury

Environ Med 47:31-34, 2003

新谷ひとみ, 肥田朋子

慢性疼痛モデルラットへの温熱刺激が浮腫と痛みに及ぼす影響

愛知県理学療法士会誌 15:50-53, 2003

鈴木重行, 錢田良博

変形性膝関節症に対する関節可動域運動とその効果

Monthly Book Medical Rehabilitation 32:50-58, 2003

長谷川祐一, 平野幸伸, 錢田良博, 斎間康晴, 鈴木重行

整形外科疾患の慢性痛に対する物理療法の効果—VASとSF-MPQを指標として—

日本物理療法学会会誌 10:81-85, 2003

錢田良博, 鈴木重行

変形性膝関節症に対する広帯域多重複合波治療の臨床的効果

理学療法ジャーナル 37:555-558, 2003

田村政近, 大宮一人, 山田純生, 岡 浩一郎, 鈴木規之, 長田尚彦, 三宅良彦

慢性心不全患者のための疾患特異的生活の質(QOL)尺度の開発

Journal of Cardiology 42:155-164, 2003

山田純生, 小林 亨, 井澤和夫, 平澤有里, 渡辺 敏, 岡 浩一郎, 大宮一人, 長田尚彦, 鈴木規之

病前運動習慣は在宅運動療法の選択基準となるか?

心臓リハビリテーション 8:149-153, 2003

竹谷晋二, 山田純生, 小林 亨, 笠原西介, 大宮一人

一定心拍数に制御された運動負荷時の仕事量測定信頼性について

理学療法学 30:402-406, 2003

〔総説・解説・その他〕

猪田邦雄

骨折治療における機能的装具・ギプスの利用

愛知県整形外科医会会報 18:14-22, 2003

猪田邦雄

理学療法士教育の現状と今後

愛知県理学療法士会誌 15(2):9-13, 2003

石田和人

脳科学の進歩と理学療法
理療 33：37-47, 2003

曾我部正博, **河上敬介**, 早川公英, 成瀬恵治, 辰巳仁史
内皮細胞の伸展依存性リモデリングー分子から形へのインターフェースを見る
血管医学 4：237-244, 2003

河上敬介, 宮津真寿美

骨格筋の解剖・生理学的研究と理学療法
理学療法 20：726-733, 2003

肥田朋子, 鈴木重行

疼痛の検査・測定
理学療法 20：143-152, 2003

肥田朋子

疼痛メカニズムの研究と理学療法
理学療法 20：770-775, 2003

肥田朋子

病態生理学の進歩と理学療法
理療 33：48-57, 2003

鈴木重行

関節可動域制限に対する複合的アプローチの現状と課題
理学療法 20：597-602, 2003

鈴木重行

疼痛 DNICアプローチによる疼痛抑制法
理学療法ジャーナル 37：229-234, 2003

井澤和大, 大宮一人, 平野康之, 渡辺 敏, **山田純生**, 岡 浩一朗
心機能障害の検査・測定
理学療法 20：168-180, 2003

井澤和大, 渡辺 敏, **山田純生**

循環障害 急性心筋梗塞
理学療法ジャーナル 37：319-323, 2003

山田純生, 森尾裕志, 小林 亨, 竹谷晋二, 平野康之
脳卒中に対する体力科学的評価とトレーニング
理学療法ジャーナル 37：654-660, 2003

〔科研費・班研究等〕

河上敬介, 宮津真寿美, 小林邦彦, 山崎 敦, 白星神一, 宇於崎 孝

理学療法士・作業療法士養成施設の人体解剖実習に関する現状調査

平成14年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（1））研究成果報告書「コ・メディカルのための人体解剖のあり方と健康科学的情報の利用に関する調査研究」 pp 39-48, 2003

小林邦彦, 金澤寛明, 河上敬介, 杉浦康夫, 吉尾雅春, 佐藤利夫, 村上 弦, 渡辺 皓, 熊木克治, 後藤保正, 坂井建雄, 田中重徳, 藤井徹也, 鈴木和代, 中野 隆, 磯村源蔵, 野村 巖, 川真田聖一, 島田達生

コ・メディカルのための人体解剖のあり方と健康科学的情報の利用に関する調査研究

平成14年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（1））研究成果報告書 1冊, 2003

水村和枝, 肥田朋子, 猪田邦雄

高齢者の筋・骨格系の痛みに対する徒手の治療法の除痛効果の評価およびモデル動物における筋・骨格系の痛みに対する各種徒手の治療法の除痛機構の解析

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）「高齢者の筋・骨格系の痛みに対する鍼灸及び徒手の治療法の除痛効果に関する基礎的および臨床的研究」総括・分担研究報告書 pp 29-35, 2003

〔その他の印刷物等〕

小林邦彦

第23回人体解剖トレーニングセミナーに参加して

第23回人体解剖トレーニングセミナー（2003）報告書 p 29, 2003

宮津真寿美

第23回人体解剖トレーニングセミナーに参加して

第23回人体解剖トレーニングセミナー（2003）報告書 p 51, 2003

〔学会発表〕

ITOH Hiroshi, OHKUWA Tetsuo, YAMAZAKI Yoshihiko, SHIMODA Tsugio, **IDA Kunio**, SHIMAOKA Kiyoshi, MIYAMURA Miharuru

Effects of dumbbell exercise training on plasma lipoprotein profiles in elderly women with elevated ratio of total cholesterol/HDL-cholesterol

European College of Sport Science, 2003.3 (Salzburg, Austria)

猪田邦雄

高齢者の運動指導—今、何が求められているか—（体力科学 52：319, 2003）

第7回日本体力医学会東海地方学会学術集会, 2003.3（名古屋）

ISHIDA Kazuto, SHIMIZU Hideo, HIDA Hideki, NISHINO Hitoo

Fate of argyrophilic dark neurons: non-typical brown ones following a stressful exercise mainly survive. (Neurosci Res

46(Suppl. 1) : S184, 2003)

26th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, 2003.7 (Nagoya)

ISHIDA Kazuto, SHIMIZU Hideo, HIDA Hideki, NISHINO Hitoo

The fate of argyrophilic dark neurons in the rat brain: some come to die, others survive

33rd Annual Meeting/Society for Neuroscience (Neuroscience 2003), 2003.11 (New Orleans, USA)

加藤智香子, **猪田邦雄**, 松本恵美子, 松田幸子, 南田美保, 青木真弓, 島岡 清

地域保健所における「転倒予防教室」の参加者特性と介入効果 (理学療法学 30(Suppl. 2) : 48, 2003)

第38回日本理学療法学会大会, 2003.5 (長野)

堀部晃弘, **加藤智香子**, **猪田邦雄**

Strength Ergo 駆動姿勢による筋活動の検討 (大会誌 p 126, 2003)

第19回東海北陸理学療法学会大会, 2003.11 (福井)

宝門玲美, 小川智也, 渡辺文子, 有園信一, **加藤智香子**, **猪田邦雄**

表面筋電図による通常歩行と横歩きの比較 (大会誌 p 104, 2003)

第19回東海北陸理学療法学会大会, 2003.11 (福井)

KAWAKAMI Keisuke, TATSUMI Hitoshi, HAYAKAWA Kimihide, KIYOSHIMA Daisuke, SOKABE Masahiro

Endocytosis of integrins is facilitated by mechanical stimuli in endothelial cells. (Jpn J Physiol 53(Suppl.) : S148, 2003)

第80回日本生理学会大会, 2003.3 (福岡)

SOKABE Masahiro, **KAWAKAMI Keisuke**, NARUSE Keiji, TATSUMI Hitoshi

Stretch-induced morphological response in endothelial cells. (Jpn J Physiol 53(Suppl.) : S132, 2003)

第80回日本生理学会大会, 2003.3 (福岡)

河上敬介, 山崎 敦, 白星伸一, **宮津真寿美**, **小林邦彦**

理学療法学・作業療法学教育における人体解剖実習の現状調査 (形態・機能 1(2) : 25, 2003)

第1回コ・メディカル形態機能学研究会学術集会, 2003.3 (福岡)

山崎 敦, 白星伸一, **河上敬介**, **小林邦彦**

理学療法士・作業療法士養成施設における人体解剖実習の現状 (理学療法学 30(Suppl. 2) : 267, 2003)

第38回日本理学療法学会大会, 2003.5 (長野)

KIYOSHIMA Daisuke, **KAWAKAMI Keisuke**, TATSUMI Hitoshi, HAYAKAWA Kimihide, SOKABE Masahiro

Mechanical stimulus facilitates endocytosis of integrins in endothelial cells

7th Membrane Research Forum: 1st International Conference on Single-Molecule Bionanotechnology for Cell Membrane Biology, 2003.8 (Nagoya)

清島大資, **河上敬介**, 辰巳仁史, 早川公英, 曾我部正博

血管内皮細胞における力学刺激による接着斑崩壊の分子機構 (生物物理 43(Suppl. 1) : S162, 2003)

第41回日本生物物理学会年会, 2003.9 (新潟)

KAWAKAMI Keisuke, TATSUMI Hitoshi, HAYAKAWA Kimihide, KIYOSHIMA Daisuke, SOKABE Masahiro
Molecular mechanism of disappearance of integrin clusters by mechanical stimulation in endothelial cells. (Mol Biol Cell 14(Suppl.) : 213a, 2003)
43rd Annual Meeting of the American Society for Cell Biology, 2003.12 (San Francisco, USA)

木山喬博, 戸田秀彦, 戸田 香, 勝水健吾
カエル筋伸張時の張力緩和と筋紡錘発射頻度の特性 (理学療法学 30(Suppl.2) : 370, 2003)
第38回日本理学療法学術大会, 2003.5 (長野)

戸田秀彦, 鳥居昭久, 加藤真弓, 戸田 香, **木山喬博**
持続的伸張と超音波併用による効果の比較 (理学療法学 30(Suppl.2) : 373, 2003)
第38回日本理学療法学術大会, 2003.5 (長野)

鈴木和代, 小林身哉, 白石洋介, **小林邦彦**, 中野 隆
成熟に伴うマウス胎盤の構築と結合組織線維の立体配置について (解剖学雑誌 78(Suppl.) : 223, 2003)
第108回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2003.4 (福岡)

校條由紀, 小林身哉, 林 厚宏, 中山裕章, **小林邦彦**
鍼灸刺激後の損傷修復過程におけるマウス皮膚の組織化学的变化 (2) (解剖学雑誌 78(Suppl.) : 195, 2003)
第108回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2003.4 (福岡)

佐藤利夫, **小林邦彦**
現行制度下での医療系学部・学科における解剖学実習の法的問題に関する意識調査 (解剖学雑誌 79(2) : 75, 2004)
第49回日本解剖学会東北北海道連合地方会学術集会, 2003.9 (盛岡)

縣 信秀, 小八重明美, **宮津真寿美**, **河上敬介**, 早川公英, **小林邦彦**
持続的伸張刺激と周期的伸張刺激がラットの除神経筋萎縮に及ぼす影響 (理学療法学 30(Suppl.2) : 104, 2003)
第38回日本理学療法学術大会, 2003.5 (長野)

宮津真寿美, 辰巳仁史, 成瀬恵治, 曾我部正博
周期的一軸伸張刺激に対する血管内皮細胞のインテグリンクラスターの場所依存的応答 (生物物理 43(Suppl.1) : S109, 2003)
第41回日本生物物理学会年会, 2003.9 (新潟)

NAKAMURA Mayumi, **SUZUKI Shigeyuki**
Foot pressure distribution of the bare foot and with various shoe shapes
15th IVO Conference, 2003.4 (Tokyo)

永谷元基, 中井英人, 清島大資, 林 満彦, 佐藤幸治, 杉浦一俊, **鈴木重行**
関節可動域, 足圧中心, 関節モーメントから見たしゃがみ込み動作の分析 (理学療法学 30(Suppl.2) : 286, 2003)
第38回日本理学療法学術大会, 2003.5 (長野)

中井英人, 永谷元基, 清島大資, 井上雅之, 林 満彦, **鈴木重行**
高齢者における静的しゃがみ姿勢—若年者との比較において— (理学療法学 30(Suppl.2) : 39, 2003)

第38回日本理学療法学会大会, 2003.5 (長野)

岩田全広, 高木健次, 堀 紀代美, 野々垣 聡, **鈴木重行**

急性炎症における一酸化窒素と酸化ストレス障害 (理学療法学 30(Suppl.2) : 103, 2003)

第38回日本理学療法学会大会, 2003.5 (長野)

鈴木重行

スポーツ障害に対する Individual muscle stretching (予稿集 p 99, 2003)

第76回日本整形外科学会学会集, 2003.5 (金沢)

鈴木重行

筋・筋膜性腰痛に対する運動療法の効果・検証 (理学療法学 30(Suppl.3) : 46, 2003)

第38回日本理学療法士協会全国研修会, 2003.9 (宇都宮)

鈴木重行

腰部周囲組織に対する疼痛抑制と ID ストレッチング (予稿集 p 543, 2003)

第52回東日本整形災害外科学会, 2003.9 (東京)

山田優子, 小羽由佳, 新美佳子, 渡井陽子, 小羽正昭, 木村彰宏, **鈴木重行**

回復期リハビリテーション病棟における移乗移動動作の自立率の検討 (大会誌 p 99, 2003)

第19回東海北陸理学療法学会大会, 2003.11 (福井)

中村真弓, 林 久恵, 石黒正樹, 小羽正昭, 廣瀬和義, 中村菜美, **鈴木重行**

足圧分布による整形靴の有用性に関する検討 (大会誌 p 74, 2003)

第19回東海北陸理学療法学会大会, 2003.11 (福井)

TAMURA Masataka, OMIYA Kazuto, AZUMA Nobuyuki, SUZUKI Kengo, ITOH Kae, SEKI Atsushi, AKASHI Yoshihiro, INOUE Koji, SUZUKI Noriyuki, OSADA Naohiko, MIYAKE Fumihiko, **YAMADA Sumio**, IZAWA Kazuhiro, OKA Koichiro

Development of a measure for disease-specific symptoms in heart failure patients. (Circ J 67(Suppl.1) : 285, 2003)

第67回日本循環器学会学会集, 2003.3 (福岡)

OMIYA Kazuto, ITOH Kae, SUZUKI Kengo, TAMURA Masachika, AZUMA Nobuyuki, SEKI Atsushi, AKASHI Yoshihiro, INOUE Koji, SUZUKI Noriyuki, OSADA Naohiko, UNO Masato, IZAWA Kazuhiro, **YAMADA Sumio**, MIYAKE Fumihiko, ITOH Haruki

Disparate effects of exercise training on exercise tolerance in myocardial infarction patients with and without insulin resistance. (Circ J 67(Suppl.1) : 214, 2003)

第67回日本循環器学会学会集, 2003.3 (福岡)

IZAWA Kazuhiro, **YAMADA Sumio**, OKA Koichiro, HIRANO Yasuyuki, KASAHARA Yusuke, OMIYA Kazuto, OSADA Naohiko, TAMURA Masachika, SUZUKI Noriyuki, MIYAKE Fumihiko, IJIMA Setsu

Improvement in physiologic measures and health-related quality of life following cardiac rehabilitation in patients with acute myocardial infarction. (Circ J 67(Suppl.1) : 625, 2003)

第67回日本循環器学会学会集, 2003.3 (福岡)

SUZUKI Kengo, OMIYA Kazuto, **YAMADA Sumio**, UNO Masato, TAMURA Masachika, ITOH Kae, AZUMA Nobuyuki, SEKI Atsushi, AKASHI Yoshihiro, INOUE Koji, SUZUKI Noriyuki, OSADA Naohiko, MIYAKE Fumihiko, IZAWA Kazuhiro

Relationship between skeletal muscle function and cardiopulmonary exercise testing parameters in heart failure patients. (Circ J 67(Suppl.1) : 214, 2003)

第67回日本循環器学会学術集会, 2003.3 (福岡)

竹谷晋二, **山田純生**, 小林 亨, 大宮一人, 吉田光伸

心拍制御による運動負荷時の仕事量と運動耐容能について (理学療法学 30(Suppl.2) : 361, 2003)

第38回日本理学療法学術大会, 2003.5 (長野)

IZAWA Kazuhiro, OMIYA Kazuto, **YAMADA Sumio**, OSADA Naohiko, TANABE Kazuhiko, MIYAKE Fumihiko
Impairment of chronotropic response to exercise in patients with acute myocardial infarction with type2 diabetes mellitus

14th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 2003.6 (Barcelona, Spain)

IZAWA Kazuhiro, **YAMADA Sumio**, OKA Koichiro, HIRANO Yasuyuki, KASAHARA Yusuke, OMIYA Kazuto, MIYAKE Fumihiko

Improvement in physiologic measures and health-related quality of life following cardiac rehabilitation in patients with acute myocardial infarction in Japan

14th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 2003.6 (Barcelona, Spain)

SUZUKI Kengo, OMIYA Kazuto, OSADA Naohiko, **YAMADA Sumio**, TAMURA Masachika, AZUMA Nobuyuki, KOBAYASHI Toru, MIYAKE Fumihiko

The relationship between isokinetic muscle endurance and exercise capacity in chronic heart failure. (Eur Heart J 24(5, Suppl.1) : 125, 2003)

2003年欧州心臓病学会学術集会, 2003.8 (Vienna, Austria)

井澤和夫, 平野康之, 渡辺 敏, 小林 亨, 笠原美千代, 大宮一人, **山田純生**, 岡 浩一郎, 三宅良彦, 飯島 節
心筋梗塞患者における心機能重症度別の健康関連 QOL の検討 (抄録集 p 101, 2003)

第9回日本心臓リハビリテーション学会総会, 2003.8 (東京)

井澤和夫, 平野康之, 渡辺 敏, 平木孝治, 笠原西輔, 大宮一人, **山田純生**, 岡 浩一郎, 飯島 節, 三宅良彦
心筋梗塞患者における心臓リハビリテーション終了後の運動継続率と健康関連 QOL (抄録集 p 64, 2003)

第9回日本心臓リハビリテーション学会総会, 2003.8 (東京)

[公開講座・講演会]

猪田邦雄

ひざ, 股関節の障害と運動 (健康開発のための運動基礎理論)

平成15年度名古屋大学総合保健体育科学センター公開講座, 2003.7 (名古屋)

石田和人

理学療法の科学性・研究

愛知県理学療法士会新人教育プログラム, 2003.7 (名古屋)

石田和人

脳を鍛えよう (『健やかに過ごすために』 pp 1-8, 2003)

平成15年度名古屋大学医学部保健学科公開講座, 2003.9 (名古屋)

加藤智香子

転ばないようにしよう (『健やかに過ごすために』 pp 33-40, 2003)

平成15年度名古屋大学医学部保健学科公開講座, 2003.9 (名古屋)

加藤智香子

地域保健所における「転倒予防教室」について—参加者特性と介入効果—
第39回東海リハビリテーション懇話会, 2003.10 (名古屋)

河上敬介, 磯貝 香, 鳥居昭久, 青野正宏, 疋田桂子

理学療法に必要な運動器系の解剖と体表解剖—肩周辺の筋・骨を中心に—
平成14年度第3回愛知県理学療法士会研修会, 2003.1 (愛知県清洲町)

河上敬介

運動器を三次元で捉えるための解剖観察

第14回社団法人分県理学療法士協会研修会, 2003.2 (名古屋)

河上敬介

筋の解剖学的特徴と触察法—腰部から大腿部—

第23回社団法人高知県理学療法士協会現職者講習会, 2003.11 (高知)

河村守雄

腰を大事にしていますか—腰痛の原因と予防対策

尾張旭市高齢者教育講演, 2003.5 (尾張旭)

河村守雄

骨粗鬆症の予防

尾張旭市骨粗鬆症検診講演 (1), 2003.12 (尾張旭)

河村守雄

骨粗鬆症の予防

尾張旭市骨粗鬆症検診講演 (2), 2003.12 (尾張旭)

小林邦彦

コ・メディカル教育における解剖学実習 (篤志献体 46:52-53, 2004)

第28回篤志解剖全国連合会団体部会研修会, 2003.3 (久留米)

小林邦彦

理学療法士，作業療法士養成施設における人体解剖実習の実態（解剖学雑誌 78(Suppl.)：128，2003）
第108回日本解剖学会総会・全国学術集会シンポジウム「コメディカル教育における解剖学」，2003.4（福岡）

小林邦彦

PT/OT の人体解剖実習の役割と名古屋での経験
全国理学療法士・作業療法士学校連絡協議会研修会，2003.6（札幌）

鈴木重行

理学療法の専門領域
愛知県理学療法士会研修会，2003.2（名古屋）

鈴木重行

在宅でこそ必要なりハビリテーションのすすめ
平成14年度第2回家族介護教室，2003.2（愛知県幸田町）

鈴木重行

柔軟性を高めよう（『健やかに過ごすために』 pp 25-31，2003）
平成15年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，2003.9（名古屋）

鈴木重行

疼痛抑制とIDストレッチング
第86回北海道理学療法士会技術講習会，2003.10（札幌）

鈴木重行

疼痛抑制とIDストレッチング
理学療法科学学会世界の理学療法テクニック入門講習会，2003.10（埼玉県毛呂山町）

鈴木重行

臨床実習施設に期待する教育指導について～SVに何を期待しているか～
愛知県理学療法士会臨床実習指導者研修会，2003.11（名古屋）

鈴木重行

家庭でできる痛みとの対話法
平成15年度健康リハビリ講演会，2003.11（岐阜県白鳥町）

鈴木重行

筋肉痛の軽減とストレッチング
名古屋市立向陽高等学校出張講義，2003.11（名古屋）

山田純生

急性心筋梗塞患者の運動指導方策
第3回日本理学療法士協会内部障害系専門領域研究会循環器基礎講習会，2003.2（川崎）

山田純生

心疾患患者におけるレジスタンス・トレーニング
第3回熊本心臓リハビリテーション研究会, 2003.4 (熊本)

山田純生
最新式半臥位エルゴメータの紹介とレジスタンス・トレーニング
第4回埼玉心臓リハビリテーションセミナー, 2003.4 (埼玉県毛呂山町)

山田純生
呼吸困難感軽減のための運動療法は可能か？
第31回東海運動医学懇話会, 2003.5 (名古屋)

山田純生
虚血性心疾患における運動指導方策
第38回日本理学療法学会大会セミナーⅢ：内部障害系理学療法研究会, 2003.5 (長野)

山田純生
理学療法臨床における運動負荷
名古屋理学療法研究会, 2003.7 (名古屋)

山田純生
心臓を鍛えよう (『健やかに過ごすために』 pp 9-24, 2003)
平成15年度名古屋大学医学部保健学科公開講座, 2003.9 (名古屋)

山田純生
慢性心不全治療における運動療法の位置づけ
第4回日本理学療法士協会内部障害系専門領域研究会循環器基礎講習会, 2003.10 (相模原)

山田純生
心臓外科手術後回復期の運動療法
第5回日本理学療法士協会内部障害系専門領域研究会循環器基礎講習会, 2003.11 (前橋)

作業療法学専攻

〔著書〕

原 和子

Ⅲ.生活行為別にみたテクニカルエイド | 炊事用具

『テクニカルエイド：福祉用具の選び方・使い方 最新版』(作業療法ジャーナル編集委員会, 松尾清美, 窪田静編集)
三輪書店, 2003. pp 99-102

加賀谷 一

『結核作業療法とその時代：甦る作業療法の原点』

協同医書出版社, 2003. 191p

杉村公也

黄色腫性ニューロパチー 他19項目

『医学書院医学大辞典』(伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨総編集) 医学書院, 2003

鈴木國文

ラカン

『こころの科学の誕生』(酒井明夫編) 日本評論社, 2003. pp 265-280

鈴木國文

臨床：言葉の処方箋—日常語の効用と、病態による治療者・患者の語りの様態 2. 神経症における語り

『語りと聴取 (新世紀の精神科治療；7)』(加藤敏編集) 中山書店, 2003. pp 122-135

鈴木國文

第一部 精神病理とライフサイクル

『精神の病理とわたしたちの人生 (共生の論理をもとめて；2)』(新宮一成, 角谷慶子編) ミネルヴァ書房, 2003.
pp 1-95

鈴木國文

統合失調症の「自然経過」と「人間関係」

『病の自然経過と精神療法 (新世紀の精神科治療；8)』(新宮一成編集) 中山書店, 2003. pp 157-191

〔原著論文〕

原 和子

作業課題の変化におよぼす介助犬の影響と作業療法

作業行動研究 7 : 60-66, 2003

WANG Xiaohong, INUI Koji, QIU Yunhai, **HOSHIYAMA Minoru**, TRAN Tuan Diep, NGUYEN Thi Binh, KAKIGI Ryusuke

Effects of sleep on pain-related somatosensory evoked magnetic fields in humans

Brain Res Cogn Brain Res 17 : 388-399, 2003

GUNJI Atsuko, KAKIGI Ryusuke, **HOSHIYAMA Minoru**

Cortical activities relating to modulation of sound frequency: how to vocalize?

Brain Res Cogn Brain Res 17 : 495-506, 2003

TRAN Tuan Diep, **HOSHIYAMA Minoru**, INUI Koji, KAKIGI Ryusuke

Electrical-induced pain diminishes somatosensory evoked magnetic cortical fields

Clin Neurophysiol 114 : 1704-1714, 2003

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke

Changes in somatosensory evoked responses by repetition of the median nerve stimulation

Clin Neurophysiol 114 : 2251-2257, 2003

WASAKA Toshiaki, **HOSHIYAMA Minoru**, NAKATA Hiroki, NISHIHARA Yoshiaki, KAKIGI Ryusuke

Gating of somatosensory evoked magnetic fields during the preparatory period of self-initiated finger movement

Neuroimage 20 : 1830-1838, 2003

TAMURA Yohei, **HOSHIYAMA Minoru**, INUI Koji, KAKIGI Ryusuke

Central mechanisms for two-point discrimination in humans

Neurosci Lett 342 : 187-190, 2003

KAKIGI Ryusuke, TRAN Tuan Diep, QIU Yunhai, WANG Xiaohong, NGUYEN Thi Binh, INUI Koji, WATANABE Shoko, **HOSHIYAMA Minoru**

Cerebral responses following stimulation of unmyelinated C-fibers in humans: electro- and magneto-encephalographic study

Neurosci Res 45 : 255-275, 2003

WANG Xiaohong, INUI Koji, QIU Yunhai, **HOSHIYAMA Minoru**, TRAN Tuan Diep, KAKIGI Ryusuke

Effects of sleep on pain-related somatosensory evoked potentials in humans

Neurosci Res 45 : 53-57, 2003

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke, WATANABE Shoko, MIKI Kensaku, TAKESHIMA Yasuyuki

Brain responses for the subconscious recognition of faces

Neurosci Res 46 : 435-442, 2003

INUI Koji, TRAN Tuan Diep, QIU Yunhai, WANG Xiaohong, **HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke

A comparative magnetoencephalographic study of cortical activations evoked by noxious and innocuous somatosensory stimulations

Neuroscience 120 : 235-248, 2003

KAKIGI Ryusuke, NAKA Daisuke, OKUSA Tomohiro, WANG Xiaohong, INUI Koji, QIU Yunhai, TRAN Tuan Diep, MIKI Kensaku, TAMURA Yohei, NGUYEN Thi Binh, WATANABE Shoko, **HOSHIYAMA Minoru**

Sensory perception during sleep in humans: a magnetoencephalographic study

Sleep Med 4 : 493-507, 2003

伊藤恵美, 西島直城, 藤森洋一, 小木曾 弘, 増田敏行
股関節全置換術後の作業療法—クリティカルパスの中での介入—
愛知作業療法 11:52-56, 2003

伊藤恵美, 八田武志, 伊藤保弘, 永原直子, 八田武俊, 川口 潤, 唐澤かおり, 豊沢純子
レジャー活動への参加は認知機能に影響を与えるのか?
人間環境学研究 1(2):15-20, 2003

美和千尋, 河原ゆう子, 岩瀬 敏
ジェットバスと渦流浴における体温調節機能の変化
自律神経 40:399-405, 2003

河原ゆう子, 岩瀬 敏, 美和千尋, 片岡由美子, 渡邊順子
頸下ミスト浴および顔面送風が, 腰浴における体温調節機能, 循環動態, 浴後爽快感に及ぼす影響
自律神経 40:43-50, 2003

河原ゆう子, 齋藤輝幸, 久野 覚, 岩瀬 敏, 美和千尋
冬期入浴中の浴室温度と湯温が部位別温冷感・快適感に及ぼす影響
人間と生活環境 10:25-31, 2003

美和千尋, 杉村公也, 清水英樹, 伊藤恵美, 寶珠山 稔, 高田政夫
スモン患者の基本移動動作
総合リハビリテーション 31:977-982, 2003

向 文緒, 美和千尋, 鈴木國文
精神科作業療法に従事する作業療法士の問題意識とプログラム構成
作業療法 22:537-544, 2003

清水英樹, 杉村公也
リハビリテーションにおけるクリニカルパス—その特異性と有用性—
現代医学 50:523-528, 2003

杉村公也, 石田 力, 長江忠男
健常人における C64定量音叉を用いた振動覚閾値の測定
Therapeutic Research 24:2101-2108, 2003

SUWA Mami, **SUZUKI Kunifumi**, HARA Koichi, WATANABE Hisashi, TAKAHASHI Toshihiko
Family features in primary social withdrawal among young adults
Psychiatry Clin Neurosci 57:586-594, 2003

鈴木國文
男の神経症, 女の神経症 (特集 嗜癖・ジェンダー・ナラティブ (第13回日本嗜癖行動学会))
アディクションと家族 20:15-22, 2003

金田しおり, 西岡和郎, 鈴木國文

外来対応に苦慮した境界性人格障害の一例

精神科治療学 18:239-245, 2003

所 達也, 赤堀薫子, 小河原尚泰, 大饗広之, 西岡和郎, 鈴木國文

理由なき犯行を繰り返す症例—コラーゲ療法の経過—

精神科治療学 18:859-864, 2003

鈴木國文

統合失調症の社会機能と「他者」

精神科治療学 18:1063-1070, 2003

〔総説・解説・その他〕

杉村公也

手足のしびれ

愛知県医師会健康教育講座講演集 17:151-177, 2003

杉村公也

訪問リハビリテーションをめぐる現状と問題点

健康文化振興財団紀要 36:30-33, 2003

杉村公也

回復期リハビリテーション

現代医学 51:269, 2003

杉村公也

臨床編 IX.痴呆の治療法 2.非薬物療法 Activity therapy (痴呆症学(1)高齢社会と脳科学の進歩)

日本臨床 61(増刊9):548-552, 2003

鈴木國文

フランスにおけるケースカンファランスの経験から

精神科治療学 18:436-437, 2003

鈴木國文

特集にあたって(特集 社会機能(social function)からみた統合失調症)

精神科治療学 18:1003-1004, 2003

鶴田和美, 小川豊昭, 杉村和美, 山口智子, 赤堀薫子, 船津静代, 鈴木國文

名古屋大学における不登校の現状と対応

名古屋大学学生相談総合センター紀要 2:2-16, 2003

〔科研費・班研究等〕

小菅啓司, 原 和子

介助犬の主人としての役割観が障害者に与える精神的影響について

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）「介助犬の適応障害と導入及び効率的育成に関する調査研究—身体障害者に対する有用性と課題—」 pp 69-85, 2003

野口裕美, 原 和子, 国見ゆみ子, 別府政敏, 野村 進, 安藤徳彦

介助犬希望者に対する事前適性評価—歩行バランスの動作分析から—

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）「介助犬の適応障害と導入及び効率的育成に関する調査研究—身体障害者に対する有用性と課題—」 pp 34-40, 2003

原 和子, 村井敦士, 野口裕美, 加藤清子

脊髄損傷者の介助犬による起き上がり動作の有効性

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）「介助犬の適応障害と導入及び効率的育成に関する調査研究—身体障害者に対する有用性と課題—」 pp 41-51, 2003

杉村公也, 伊藤恵美, 清水英樹, 森 明子, 寶珠山 稔, 美和千尋

スモンにおける訪問リハシステムの確立に関する研究—患者ニーズの調査—

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班総括・分担研究報告書 pp 112-115, 2003

祖父江 元, 服部直樹, 小池春樹, 池田修一, 寺沢捷年, 林 正男, 栗山 勝, 渡辺幸夫, 溝口功一, 鷺見幸彦, 杉村公也, 松本一年, 氏平高敏, 宮田和明, 小長谷正明, 松岡幸彦

平成14年度中部地区スモン患者の実態—スモン障害度と介護認定について—

平成14年度厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班総括・分担研究報告書 pp 40-43, 2003

〔学会発表〕

窪田高志, 高柳友子, 原 和子

介助犬育成における作業療法の役割（作業療法 22(Suppl.) : 639, 2003)

第37回日本作業療法学会, 2003.6（北九州）

原 和子, 寶珠山 稔, 渡辺崇史

着脱可能な乗用車（タクシー）用移乗補助椅子の開発とその有効性（作業療法 22(Suppl.) : 600, 2003)

第37回日本作業療法学会, 2003.6（北九州）

HARA Kazuko, HOSHIYAMA Minoru, WATANABE Takashi

Development and issues related to removable assistance spare chair for passenger car. (Abstract. p 163, 2003)

3rd Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2003.9（Singapore）

高柳友子, 原 和子, 宮尾 克, 高柳泰世

身体障害者補助犬法施行後の介助犬使用者実態調査（日本公衆衛生雑誌 50(10, 特別附録)：499, 2003)
第62回日本公衆衛生学会総会, 2003.10（京都）

高柳泰世, 高柳友子, 宮尾 克, 原 和子

身体障害者補助犬法成立後の盲導犬使用者に対するアンケート調査（日本公衆衛生雑誌 50(10, 特別附録)：499, 2003)

第62回日本公衆衛生学会総会, 2003.10（京都）

森 奈美佳, 原 和子, 渡辺崇史

ALSにおけるスイッチの適応—健常学生による予備実験とALS一症例の障害者用パソコンソフト利用結果より—
（東海北陸作業療法学会誌 3：71, 2003）

第3回東海北陸作業療法学会, 2003.11（名古屋）

寶珠山 稔

時間識別覚閾値の体部位特性

第44日本神経学会総会, 2003.5（横浜）

寶珠山 稔

正中神経刺激による体性感覚誘発電位の Recovery function

第33回日本臨床神経生理学会・学術集会, 2003.10（旭川）

ITO Emi, ITO Yasuhiro, HATTA Takeshi

Life style and verbal fluency performance in healthy aged people. (J Int Neuropsychol Soc 9：525, 2003)

26th Annual International Neuropsychological Society Mid-Year Conference, 2003.7（Berlin, Germany）

ITO Emi, HATTA Takeshi

The effect of leisure activities on cognitive flexibility. (Abstract. p 129, 2003)

3rd Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2003.9（Singapore）

河原ゆう子, 齋藤輝幸, 久野 覚, 美和千尋, 岩瀬 敏

冬期および夏期入浴中の鼓膜温変化の推定（日本建築学会東海支部研究報告集 41：473-476, 2003）

第41回日本建築学会東海支部研究発表会, 2003.2（津）

河原ゆう子, 齋藤輝幸, 久野 覚, 美和千尋, 岩瀬 敏

気泡浴の気泡と水流が体温調節機能に及ぼす影響（論文集 4：133-136, 2003）

第4回空気調和・衛生工学会中部支部学術研究発表会, 2003.3（名古屋）

伊藤正文, 出口 晃, 毛受雅文, 川村直人, 鈴木恵理, 浜口 均, 川村陽一, 美和千尋, 杉村公也

飲泉の脂質に及ぼす影響—胃瘻増設患者での検討—（日本温泉気候物理医学会雑誌 67：21-22, 2003）

第68回日本温泉気候物理医学会総会, 2003.5（群馬県草津町）

出口 晃, 伊藤正文, 毛受雅文, 川村憲市, 浜口 均, 高瀬幸次郎, 川村陽一, 美和千尋, 杉村公也

飲泉の脂質に及ぼす影響—健常人での検討—（日本温泉気候物理医学会雑誌 67：21, 2003）

第68回日本温泉気候物理医学会総会, 2003.5（群馬県草津町）

美和千尋, 杉村公也, 川村陽一, 出口 晃, 毛受雅文, 伊藤正文, 鈴木恵理
小山田記念温泉病院における足浴の効果 (日本温泉気候物理医学会雑誌 67:22, 2003)
第68回日本温泉気候物理医学会総会, 2003.5 (群馬県草津町)

立松麻記子, 美和千尋
精神科病院作業療法のリスクマネジメント (作業療法 22(Suppl.):317, 2003)
第37回日本作業療法学会, 2003.6 (北九州)

林 昌吾, 丹羽千晴, 立松麻記子, 美和千尋
精神障害者の主観による病院生活上の困難性と重要性 (作業療法 22(Suppl.):326, 2003)
第37回日本作業療法学会, 2003.6 (北九州)

中島美奈子, 光松由紀子, 小川祐美子, 美和千尋
福祉ホーム B 型における生活支援活動～作業療法士が施設長をして～ (作業療法 22(Suppl.):300, 2003)
第37回日本作業療法学会, 2003.6 (北九州)

森 明子, 来島修志, 小島恵美, 青山美枝, 三輪紀久子, 梅本充子, 遠藤英俊, 杉村公也
地域高齢者に対する介護予防事業への関わり～回想法を用いて～ (作業療法 22(Suppl.):393, 2003)
第37回日本作業療法学会, 2003.6 (北九州)

向 文緒
広汎性発達障害や知的障害が疑われる幼児の母親の子ども虐待に関する意識と経験 (作業療法 22(Suppl.):351, 2003)
第37回日本作業療法学会, 2003.6 (北九州)

清水英樹
抑うつが特性形容詞の処理に及ぼす影響～事象関連電位による検討～ (作業療法 22(Suppl.):519, 2003)
第37回日本作業療法学会, 2003.6 (北九州)

SHIMIZU Hideki, SUGIMURA Kimiya, MIWA Chihiro, ITO Emi, HOSHIYAMA Minoru
Aging of basic movements for ADL in SMON patients. (Abstract. p 115, 2003)
3rd Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2003.9 (Singapore)

杉村公也, 伊藤恵美, 清水英樹, 森 明子, 寶珠山 稔, 美和千尋
スモンにおける訪問リハシステムの確立に関する研究—患者ニーズの調査— (プログラム・抄録集 p 29, 2003)
平成14年度厚生労働科学研究費補助金(特定疾患対策研究事業)スモンに関する調査研究班研究報告会, 2003.2 (東京)

SUZUKI Kunifumi, SUWA Mami
Differential diagnosis between “primary” social withdrawals and high-functional autism/Asperger's disorder
6th International Congress of International Society for Adolescent Psychiatry, 2003.6 (Rome, Italy)

〔公開講座・講演会〕

原 和子

作業の意味と目的（東海北陸作業療法学会誌 3：21, 2003）
第3回東海北陸作業療法学会, 2003.11（名古屋）

原 和子, 山崎恵子, 水上 言, 高柳泰世, 河西 光

補助犬と作業療法（東海北陸作業療法学会誌 3：39, 2003）
第3回東海北陸作業療法学会, 2003.11（名古屋）

向 文緒

作業療法診療録の書き方

平成15年度岐阜県作業療法士会新人教育プログラム, 2003.10（岐阜）

向 文緒

症例研究2

平成15年度愛知県作業療法士会新人教育プログラム, 2003.11（名古屋）

編集後記

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第7巻を発刊しました。第7巻には平成15年度（2003年度）の各専攻の教育・研究活動の報告と保健学科の公開講座、2003年（1月から12月）の各専攻教官の教育・研究業績を掲載しました。

第1巻から第7巻までの教育・研究業績数は以下の通りです。

	第1巻 (1997年)	第2巻 (1998年)	第3巻 (1999年)	第4巻 (2000年)	第5巻 (2001年)	第6巻 (2002年)	第7巻 (2003年)
著書	17	39	55	56	38	33	74
原著論文	58	123	141	163	137	175	138
総説・解説・その他	64	61	92	106	58	76	81
科研費・班研究等	6	12	10	26	23	19	28
その他の印刷物等	10	14	26	18	13	9	20
学会発表	115	173	252	268	246	287	340
公開講座・講演会	45	73	96	102	70	72	86
計	315	495	672	739	585	671	767

平成15年度に保健学科は大学院修士課程修了者をはじめて送り出しました。また、平成16年度から開設された大学院博士課程（後期課程）の設置準備や国立大学法人化への準備に取り組んだ年でもありました。そのような状況での保健学科の教育・研究業績の記録です。2002年と比べると2003年では原著論文を除いて業績数が増加しました。しかし、原著論文の業績数は前年に比べ21.1%（欧文論文26.7%、邦文論文15.7%）減少し、前々年のレベルになりました。

教育・研究年報第7巻は第6巻と同じスタイルで編集しました。名古屋大学医学部、大学院医学系研究科では国立大学の法人化及び出版環境の変化に鑑み、欧文業績録の冊子発行を止めてインターネットによる公開だけ続けることが決められました。保健学科では以前から年報の冊子体に加えて電子媒体による公開の議論がありましたが、電子媒体のみによる年報の公開についてはもう少し時間が必要のようです。いずれにしても今年度から冊子体に加えインターネットで年報を公開するように関係者にお願いしています。

最後に、保健学科教育・研究年報の編集作業に携わっていただいた保健学情報掛の職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成17年2月21日
年報編集委員長 長瀬文彦

年報編集委員

看護学専攻	池松裕子
放射線技術科学専攻	田伏勝義
検査技術科学専攻	長瀬文彦
理学療法学専攻	加藤智香子
作業療法学専攻	加賀谷一

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第7巻

2005年3月15日 発行

発行 名古屋大学医学部保健学科

〒461-8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

TEL(052)719-1504

印刷 (株)荒川印刷

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目16番38号

TEL(052)262-1006 (代表)
